

会 告 目 次

会告目次	1
IPSJカレンダー	2
研究発表会開催通知	4
第22回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	4
第64回アルゴリズム研究会	4
第112回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	4
第29回グループウェア研究会	4
第51回情報学基礎研究会	} 合同研究会
第127回自然言語処理研究会	
第6回モバイルコンピューティング研究会	5
第88回マルチメディア通信と分散処理研究会	} 合同研究会
第2回コンピュータセキュリティ研究会	
第2回電子化知的財産・社会基盤研究会	7
第123回計算機アーキテクチャ研究会	7
第89回設計自動化研究会	8
第11回分散システム運用技術研究会	8
第14回デジタル・ドキュメント研究会	8
平成11年度研究会等の新設提案について	9
研究発表会参加・発表申込方法・研究報告について	9
「研究グループ」について	10
「科学技術と政策の会シンポジウム」のご案内	10
「オブジェクト指向'98シンポジウム」参加者募集	10
「情報メディアシンポジウム'98」参加者募集	11
「グループウェア'98」シンポジウム参加者募集	12
「利用者指向の情報システムシンポジウム」論文募集	12
「インタラクション'99」論文募集	13
情報処理学会論文誌「画像の認識・理解」特集への論文投稿のご案内	14
新しい情報処理学会論文誌：（研究会論文誌）の編集について（データベース）	14
情報処理学会シンポジウム，講習会等論文集リスト（95，96，97，98年版）	16
支部だより	17
会議案内（協賛・後援）	18
平成11年度会誌表紙デザイン募集（会誌編集委員会）	19
会員の皆様へのお知らせ・お願い	19
第432回理事会	21
採録論文一覧	21
新規入会者の紹介	21
平成10年度各種委員会の委員名簿	22
情報処理学会機関誌原稿執筆案内	27
情報処理学会「行事」申込書	42
平成10年度研究会・研究グループ研究発表会開催予定	43
平成10年度シンポジウム等行事予定一覧	45
研究会発表申込書	46
雑報	18
寄贈図書一覧	20



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp>

本誌共定価 1680円（本体1600円）

IPSJカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
第79回ヒューマンインタフェース研究会	ATR	8月21日(金)	8月14日(金)		39-7 会8p	研
東北支部 平成10年度電気関係学会東北支部連合大会	東北大	8月21日(金) ~22日(土)		6月15日(月)	39-4 会21p	東
音声認識セミナー—基礎からディクテーションまで—	会津大	8月24日(月) ~28日(金)	7月20日(月)		39-6 会15p	研
第91回グラフィクスとCAD研究会	ラフォーレ琵琶湖	8月27日(木) ~28日(金)	当日のみ		39-7 会8p	研
平成10年電気・情報関連学会連合大会	日本学会会議講堂	8月28日(金)			39-6 会16p	事
第15回世界コンピュータ会議	ウィーン・ブダペスト	8月31日(月) ~9月4日(金)	6月12日(金)		39-5 会22p	事
第31回情報科学若手の会	浜名湖	9月3日(木) ~5日(土)	7月31日(金) 必着		39-6 会16p	研
第22回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	富山大	9月4日(金)	当日のみ		39-8 会4p	研
第64回アルゴリズム研究会	京大	9月16日(水)	当日のみ		39-8 会4p	研
科学技術と政策の会シンポジウム	霞ヶ関	9月16日(水)			39-8 会10p	研
関西支部 講演会	阪大	9月16日(水)			39-8 会17p	西
オブジェクト指向'98シンポジウム	東大	9月16日(水) ~18日(金)	9月7日(月)		39-8 会10p	研
秋のプログラミングシンポジウム「日本のプログラミング」	北海道池田町	9月16日(水) ~18日(金)	7月10日(金)		39-5 会12p	事
第112回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	北陸先端大	9月17日(木)	当日のみ		39-8 会4p	研
第29回グループウェア研究会	情報処理学会	9月17日(木)	当日のみ		39-8 会4p	研
第51回情報学基礎研究会	東大	9月17日(木) ~18日(金)	当日のみ		39-8 会5p	研
第127回自然言語処理研究会	東大	9月17日(木) ~18日(金)	当日のみ		39-8 会5p	研
第6回モバイルコンピューティング研究会	静岡大	9月17日(木) ~18日(金)	当日のみ		39-8 会5p	研
第88回マルチメディア通信と分散処理研究会	岩手県立大	9月17日(木) ~18日(金)	当日のみ		39-8 会6p	研
第2回コンピュータセキュリティ研究会	岩手県立大	9月17日(木) ~18日(金)	当日のみ		39-8 会6p	研
第2回電子化知的財産・社会基盤研究会	獨協大	9月19日(土)	当日のみ		39-8 会7p	研
第123回計算機アーキテクチャ研究会	福岡ソフトリサーチ	9月21日(月) ~22日(火)	当日のみ		39-8 会7p	研
第89回設計自動化研究会	福岡ソフトリサーチ	9月21日(月) ~22日(火)	当日のみ		39-8 会8p	研
東海支部 平成10年度電気関係学会東海支部連合大会	三重大	9月21日(月) ~22日(火)			39-8 会18p	海
北陸支部 講演会	福井大	9月22日(火)			39-8 会18p	陸
情報メディアシンポジウム'98	工学院大	9月24日(木) ~25日(金)	9月10日(木)		39-8 会11p	研
第11回分散システム運用技術研究会	麗澤大	9月25日(金)	当日のみ		39-8 会8p	研
第14回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	9月25日(金)	当日のみ		39-8 会8p	研
九州支部 電気関係学会九州支部第51回連合大会	大分大	10月2日(金) ~3日(土)		7月31日(金) 必着	39-7 会17p	九
情報処理学会第57回全国大会	名大	10月5日(月) ~7日(水)	9月18日(金)		39-7 会10p	事
四国支部 平成10年度電気関係学会四国支部連合大会	徳島大	10月16日(金)		8月17日(月)	39-6 会23p	四
北海道支部 平成10年度電気関係学会北海道支部連合大会	北大	10月17日(土) ~18日(日)		8月21日(金)	39-7 会15p	北
北陸支部 平成10年度電気関係学会北陸支部連合大会	福井工大	10月17日(土) ~18日(日)		8月29日(月) 必着	39-7 会16p	陸
連続セミナー—98 インターネットを支える最新の技術基盤	工学院大	10月23日(金)	定員になり次第		39-6 会11p	事
中国支部 平成10年度電気・情報関連学会 中国支部連合大会	岡山県立大	10月24日(土)		8月7日(金) 必着	39-7 会17p	中

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
コンピュータセキュリティ シンポジウム '98 (CSS'98)	センチュリー21 広島	10月29日 (木) ～30日 (金)	8月 3日 (月)	8月 3日 (月)	39-7 会13p	研
関西支部 平成10年度電気関係学会 関西支部連合大会	大阪府立大	11月 6日 (金) ～7日 (土)		8月10日 (月) 必着	39-7 会16p	西
第5回データの組織化に関する国際会議 (FODO 98)	神戸市	11月12日 (木) ～14日 (土)		7月10日 (金)	39-5 本501p	研
マルチメディア通信と分散処理 ワークショップ	東山温泉	11月18日 (水) ～20日 (金)		6月26日 (金)	39-4 会16p	研
コンピュータシステム・シンポジウム	三ヶ日温泉ホテル	11月19日 (木) ～20日 (火)		8月 3日 (月)	39-6 会17p	研
連続セミナー98 モバイルコンピュ ーティングの展望	工学院大	11月26日 (木)	定員になり次第		39-6 会11p	事
グループウェア'98シンポジウム	機械振興会館	11月27日 (金)	11月13日 (金) 定員になり次第		39-8 会12p	研
Asia Pacific Software Engineering Conference (APSEC)	Grand Hyatt Taipei (Taiwan)	12月 1日 (火) ～4日 (金)		5月30日 (土)	39-4 本374p	研
アドバンスド・データベース・ シンポジウム '98	東京周辺	12月 2日 (水) ～4日 (金)		9月11日 (金) 必着	39-7 会26p	研
ゲームとモデル化シンポジウム	農工大	12月10日 (木) ～11日 (金)		8月31日 (月) 必着	39-7 会14p	研
第40回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル小涌園	平成11年 1月12日 (火) ～14日 (木)		8月28日 (金)	39-7 会14p	事
1999年情報学シンポジウム	日本学会会議講堂	1月13日 (水) ～14日 (木)		9月 4日 (金) 必着	39-7 会14p	研
利用者指向の情報システム シンポジウム	東洋大	1月22日 (金)		9月 4日 (金) 必着	39-8 会12p	研
連続セミナー98 エレクトロニック コマースの最新状況と展望	工学院大	1月28日 (木)	定員になり次第		39-6 会11p	事
インタラクシオン'99	東工大	3月 4日 (木) ～ 5日 (金)		10月30日 (金)	39-8 会13p	研
連続セミナー98 進展するヒューマン インタフェース・インタラクシオン	工学院大	3月26日 (金)	定員になり次第		39-6 会11p	事
論文誌特集号 「人文科学とコンピュータ」				8月31日 (月)	39-1 会11p	編
論文誌特集号 「並列処理」				8月31日 (月)	39-5 会12p	編
論文誌特集号 「電子システムの設計技術と設計自動化」				9月18日 (金)	39-4 会17p	編
論文誌特集号 「音声言語情報処理」				9月30日 (水)	39-4 会17p	編
論文誌特集号 「画像の認識・理解」				12月25日 (金)	39-8 会14p	編
論文誌・研究会 「数理モデル化と応用 (MPS-2)」				8月31日 (月)	39-7 会14p	研
論文誌・研究会 「データベース (DBS, FI-1)」				9月20日 (日)	39-8 会14p	研

- 記1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
- 記2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。
- 記3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係,
規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。
- 記4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

研究発表会開催通知

(平成10年9月4日～9月25日)

◆第22回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数:6件)

(主査:一之瀬進, 幹事:児玉 明, 小谷野浩, 松本修一)

日時 平成10年9月4日(金) 13:00~17:30

会場 富山大学 工学部 大会議室(管理棟2F)

[富山市五福3190. JR:富山下車, バス(大学前行き):大学下車(約20分). 当日Tel(0764)45-6759

<http://www.toyama-u.ac.jp/eng/MAP/map.html>]

議題 テーマ:インタラクティブ映像・音声通信, およびマルチメディア一般

- (1) 特別講演:マルチメディアアプリケーション時代を迎えて
安田 浩(東大)
- (2) 白黒静止画像における画質主導型JPEG符号化
吉岡哲二, 堀田裕弘, 村井忠邦(富山大)
- (3) スケーラブル映像配信システムのためのビットストリーム変換に関する検討
石橋 聡, 村木隆浩, 小林直樹, 一之瀬進(NTT)
- (4) 画質の時間的推移による符号化動画像の評価法
稲積泰宏, 堀田裕弘, 村井忠邦(富山大)
- (5) 低レート向け動画像符号化方式 伊藤 隆(富士通研)
- (6) MPP論文のプロファイルと機能実現性に関する検討
高屋和幸, 笠井裕之(早大)
児玉 明(広島大), 富永英義(早大)

●特別寄稿

- (7) DAVICの検討状況と予定(4) 笠原久嗣(NTT)
 - (8) MPEG4の動向(2) 渡辺 裕(NTT)
 - (9) ITU-T SG16の動向(2) 安藤 大, 小谷野浩(NTT)
- *電子情報通信学会(画像工学研究会), IEEE東京支部(BTグループ)協賛.

◆第64回 アルゴリズム研究会

(発表件数:6件)

(主査:加藤直樹, 幹事:田中圭介, 玉木久夫, 松井知巳)

日時 平成10年9月16日(水) 13:30~17:30

会場 京都大学 工学部 建築本館会議室29号室

[京都市左京区吉田本町. JR京都駅, 市営地下鉄今出川駅, 阪急電鉄河原町駅より市バス:百万遍(206, 201, 3系統)下車, 徒歩約7分, または京大農学部前(17, 203系統)下車, 徒歩約3分. 京阪鉄道出町柳駅より徒歩約15分. Tel(075)753-4906(加藤直樹)]

議題

- (1) Polyhedral Structure in Submodular and Posi-modular Systems
Hiroshi Nagamochi
Toshihide Ibaraki(Kyoto Univ.)
- (2) 半正定値計画問題(SDP)に対する主双対内点法の実装と工学的応用について
藤沢克樹(京大)
- (3) 最大リーフ全域木問題の上界値計算について
藤江哲也(神戸商科大)
- (4) 2次元メッシュ上でのランダムラウティング
宮野英次(九州芸工大), 岩間一雄(京大)
- (5) 2部グラフ描画問題に対する近似アルゴリズム
山口敦子, 杉本晃宏(日立)
- (6) Fast Remainder Calculation in Polynomial Multiplication
伊豆哲也, 野呂正行(富士通研)

◆第112回 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

(発表件数:8件)

(主査:長谷川純一, 幹事:塩原守人, 中村裕一, 美濃導彦)

日時 平成10年9月17日(木) 9:45~17:10

会場 北陸先端科学技術大学院大学

情報科学研究科第3棟5F コラボレーションルーム7

[石川県能美郡辰町旭台1-1. JR金沢駅よりJR(北陸本線):西金沢下車, 北陸鉄道(石川線):鶴来駅下車, JAIST shuttle(連絡バス:約11分)を利用. *最寄り駅からの道順・キャンパスマップなどの情報は下記ホームページをご覧ください. Tel(0761)51-1231 Fax(0761)51-1149 E-mail:ikko@jaist.ac.jp(小谷一孔) http://www.jaist.ac.jp/~kouhou/General_info/access/access.html]

議題

[9:45~11:30]

- (1) 映像監視システムにおける差分用背景画像の照度変化追従性向上の検討
伊藤 渡, 山田浩正, 上田博唯(日立電子)
- (2) ジェスチャー動画像データベースの開発
向井理朗(RWCP), 山下浩生(メディアドライブ)
岡 隆一(RWCP)
- (3) A Flexible Feature Matching for Automatic Face and Facial Feature Points Detection
ダデット プラマデイハント, 岩井儀雄, 谷内田正彦(阪大)

[13:00~17:10]

- (4) 消散性に基づく視覚による相対位置姿勢推定について
丸山 章, 阿部 亨, 藤田政之(JAIST)
- (5) ステレオと反復的位置合せを用いた任意形状セグメントの追跡
市村直幸(電総研)
石山 豊(スタンレー電気技術研究所), 富田文明(電総研)
- (6) カラー画像の色分割に関する考察
吉川浩市, 足達義則(中部大), 吉村ミツ(名古屋市立大)
- (7) 局所的平滑化による輪郭線図形の形状変化について
本谷秀堅, 出口光一郎(東大)
- (8) 代数演算による離散多面体の変形
剣持雪子, 小谷一孔(北陸先端大), 井宮 淳(千葉大)
- (9) デモ(16:10~17:10):北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

◆第29回 グループウェア研究会

(発表件数:9件)

(主査:岡田謙一, 幹事:桑名栄二, 星 徹, 宗森 純)

日時 平成10年9月17日(木) 10:00~17:30

会場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR:田町(東口)下車, 徒歩7分. または地下鉄(浅草線, 三田線):三田下車, 徒歩10分. Tel(03)5484-3535]

議題

[10:00~12:00]

- (1) MS-Windows上におけるリアルタイムプレゼンテーションシステムの検討
青柳慶光(日立ソフトウェアエンジニアリング)
- (2) Groupmaxによるイントラネットワークフロー
大場みち子, 渡邊哲也, 小田島孝, 山口能之(日立)
- (3) 異機種混在による分散発想支援環境の実現
杉浦茂樹(東北大), 寺口正義(阪大)
倉本 到(阪大), 由井蘭隆也(鹿児島大)
宗森 純(阪大), 白鳥則郎(東北大)

[13:10~17:30]

- (4) リアルタイムコラボレーション支援環境における電子的な

共同スペースの効果について

渡辺 理, 松倉隆一, 佐々木和雄 (富士通研)

- (5) 奥行きを利用した3次元協調作業空間
塩澤秀和, 野田純也, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)
- (6) 情報・空間・運用の統合による協調作業支援環境評価について
坂巻資浩, 池田文人, 稲餅正幸
永瀬 孝, 青木弘之 (NTTデータ)
- (7) WWWページの読み込み時間によるフィルタリングに関する研究
村瀬茂樹, 北 英彦, 林 照峯 (三重大)
- (8) 技術支援ヘルプデスク向けアフターフォローシステム
桑田喜隆, 谷津正志, 小泉宣夫 (NTTデータ)
- (9) 構造化文書に対する情報組織化の検討 齊藤典明 (NTT)

[合同研究会 (一部NL単独)]

◆第51回情報学基礎研究会 (FI)

◆第127回自然言語処理研究会 (NL)

(発表件数: 26件. 内NL単独: 8件)

FI: (主査: 木本晴夫, 幹事: 上田修一, 太田敏澄, 大山敬三)

NL: (主査: 松本祐治, 幹事: 宇津呂武仁, 武田浩一, 永田昌明)

日 時 平成10年9月17日 (木) 9:00~17:00 (合同)

18日 (金) 9:15~17:00

(11:45まで合同. 12:45よりNL単独)

会 場 東京大学 本郷キャンパス 総合図書館会議室

[地下鉄: (丸の内線) 本郷三丁目または (南北線) 東大前下車, 徒歩8分「正門」入って右手 (「赤門」入って左手) に約100m直進, 北東側 (本郷通りの反対側) の建物.
Tel(03)5803-1697 (建石由佳)]

議 題

9月17日 (木) 9:00~17:00 (合同)

[9:00~10:30] ●情報共有

- (1) WorkWare: WEBを用いた文書の時間順整理の試み
内野寛治, 津田 宏, 松井くにお (富士通研)
- (2) 電子メールを利用したコミュニケーションにおける討議の流れの自動抽出法について
村越広享, 島津 明 (北陸先端大)
- (3) 多変量解析を用いたソーシャル情報フィルタリング
有吉勇介, 市山俊治 (NECヒューマンメディア研)

[10:45~12:15] ●文書情報検索の高度化

- (4) 適応型WWW自動検索手法
塩見隆一, 徳田克己, 青山昇一, 柿ヶ原康二 (松下電器)
- (5) ユーザの情報利用目的に基づく検索システム
全 裕里, 石間 衛, 藤井 敦, 石川徹也 (情報大)
- (6) 語彙的連鎖に基づくパッセージ検索
望月 源 (北陸先端大), 岩山 真 (日立)
奥村 学 (北陸先端大)

[13:15~14:45] ●クロスリンガル情報検索

- (7) Cross-Language Information Access: a case study for English and Japanese
Gareth Jones, Nigel Collier, Tetsuya Sakai
Kazuo Sumita, Hideki Hirakawa (東芝)
- (8) 多言語情報検索のための複合語翻訳
藤井 敦, 石間 衛, 石川徹也 (情報大)
- (9) 多言語分散情報検索アーキテクチャに関する検討
巖寺俊哲, 林 良彦, 菊井玄一郎, 小橋喜嗣 (NTT)
Mun-Kew Leong (KRDL), Key-Sun Choi (KAIST)

[15:00~17:00] ●文書情報の整理・体系化

- (10) 複数マニュアルの自動ハイパーテキスト化における類似度計算手法について
岡村 潤, 田中俊一, 森 辰則, 中川裕志 (横浜国大)

(11) 論文間の参照情報を考慮した学術論文要約システムの開発
難波英嗣, 奥村 学 (北陸先端大)

(12) 格フレームによる自由回答のコーディング自動化システム
高橋和子 (敬愛大)

(13) Web文書に対する言語処理の問題点と言語処理を援助するタグセットについて
渡辺日出雄 (日本IBM)

9月18日 (金) 9:15~17:00 (11:45まで合同. 12:45以降NL単独)

[9:15~11:45] ●情報抽出・知識抽出

- (14) MUC-7, Tipster参加報告
福本淳一 (沖電気), 関根 聡 (NYU)
江里口善生 (NTTデータ)
- (15) IREX: 情報検索, 情報抽出コンテスト
関根 聡 (NYU), 井佐原均 (通信総研)
- (16) 日本語情報抽出システムの開発と評価
野畑 周 (東大), 関根 聡 (NYU)
- (17) 新聞記事からの人物・企業情報の抽出
西野文人, 落谷 亮 (富士通研)
- (18) 型理論に基づいた特定領域テキストからの動的なTaxonomy, Mereology構成
緒方典裕 (日本学術振興会)

[12:45~17:00] ●一般 (NL単独)

- (19) 文字の共起情報のみを利用した文字列抽出
延澤志保, 齊藤博昭, 中西正和 (慶大)
- (20) 文字類似度と統計的言語モデルを用いた日本語文字認識誤り訂正法
永田昌明 (NTT)
- (21) Character 4-grams for Semantic Tagging
STEINER Roland, TSUJII Jun'ichi (東大)
- (22) 日本語形態素・構文解析システムJEMONIの開発と評価について
石間 衛, 藤井 敦, 石川徹也 (図書館情報大)
- (23) HPSGパーサーの為のGUI
今井久夫, 宮尾祐介, 辻井潤一 (東大)
- (24) 「サ変名詞+する」の動詞への言い換え
近藤恵子, 佐藤理史, 奥村 学 (北陸先端大)
- (25) 論文表題を言い換える
佐藤理史 (北陸先端大/さきがけ21)
- (26) 談話表示に基づいたテキストコネクティング
緒方典裕 (日本学術振興会)

*17日 (木) の17:00~18:00に東京大学辻井研究室の見学会を予定.

◆第6回 モバイルコンピューティング研究会

(発表件数: 18件)

(主査: 水野忠則, 幹事: 小橋喜嗣, 寺岡文男, 渡辺 尚)

日 時 平成10年9月17日 (木) 10:00~16:45

18日 (金) 9:20~16:10

会 場 静岡大学 佐鳴会館 (浜松キャンパス)

[浜松市城北3-5-1. JR: 浜松下車, バス (15番乗り場または16番乗り場からのバス (41, 16, 48)): 静岡大学前下車 (約20分), 徒歩5分. Tel(053)478-1464 (渡辺 尚)]

9月17日 (木)

[10:00~11:45]

- (1) Yet another mobility support for the Internet
— the concept of the Unified Access (tm) —
Shin Miyakawa, Satoshi Ono, Takuro Kubo
Kazuyuki Terao, Katsuyuki Hasebe (NTT)
- (2) Congestion Control Scheme for Wide Area Networks
西田佳史, 中村 修, 村井 純 (慶大)
- (3) Measurement and characteristic of QoS for FEC-based Application
宮田輝子, 福田晴元, 小野 諭 (NTT)

[13:00~16:45]

- (4) Thoughts on Internet Games (tentative)
渡辺英樹, 羽田佳啓, 飯田弘之 (静岡大)
- (5) Retrieval of Butterfly from Its Sketched Image on Internet
鈴木華代, 長尾 充 (通信・放送機構)
下平美文 (静岡大), 池田弘明 (通信・放送機構)
- (6) A Supplementary Service with Subscriber-information offering in a Mobile Packet Data Network
太田慎司, 大橋正良 (KDD研)
- (7) A Link Management Architecture for IP over Long Distance and High Seed Fixed Wireless Access
浅見 徹, 石倉雅巳, 片岸一起, 伊藤 篤 (KDD研)
- (8) One-Time Rental of Membership for Server-and-Client Protocol with Private-Key Cipher
松浦幹太 (東大)
- (9) Internet Performance Model using End-to-End Delay Analysis
木村卓巳 (NTT)

9月18日 (金)

[9:20~11:50]

- (10) A Dynamic Assignment Mechanism of Global Network Addresses
富永明宏 (慶大)
寺岡文男 (ソニーCSL), 村井 純 (慶大)
- (11) A Modal Proof System for Mobile Processes
富樫 敦, 金指文明 (静岡大)
- (12) WWW Test Browser for Mobile Computing with English Vocabulary Learning Facility
ワサカ・ヴィスーティヴィセット, 並木美太郎 (農工大)
- (13) Data Transfer Evaluation of Optimistic Data Consistency Model
黒田正博 (静岡大), 桜田 博 (三菱電機)
渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大), 下間芳樹 (三菱電機)

[13:00~16:10]

- (14) Realtime Multicast TV Conference System with Locally Adaptive Packet Flow Control
伊藤嘉浩, 石倉雅巳, 浅見 徹 (KDD研)
- (15) Data Flow Control for efficient WWW access over PDC network
左近 透 (住友電工システムズ), 吉田真一 (住友電工)
- (16) Evaluation of Flexible Security Models on a Mobile Agent Platform
隆 朋也, 松下大輔, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)
- (17) Evaluation of the Network Quality at International ATM testbed. How to Performed the APEC-TELMIN3 Demonstrations.
磯部俊吉, 北村泰一, 小林克志, 塩見 正
村井 純 (慶大), 中川晋一 (通信総研)
- (18) Mobile Info Search : Information Integration for Location Aware Computing
高橋克巳, 三浦信幸, 横路誠司, 島 健一 (NTT)

* 電子情報通信学会 (インターネット研究会), 静岡大学と共催。

[合同研究会]

◆第88回 マルチメディア通信と分散処理研究会 (DPS)

◆第2回 コンピュータセキュリティ研究会 (CSEC)

(発表件数: 24件)

DPS: (主査: 滝沢 誠, 幹事: 齊藤正史, 玉置政一, 東野輝夫)

CSEC: (主査: 土居範久, 幹事: 岡本栄司, 佐々木良一, 林誠一郎)

日 時 平成10年9月17日 (木) 14:00~17:15

18日 (金) 10:00~15:00

会 場 岩手県立大学

[岩手県岩手郡滝沢村滝沢字菓子152-52. 盛岡よりJR (東北本線): 滝沢下車, 徒歩12分. もしくは, 盛岡よりバス (県交通県立大学行き) 30分. Tel (019)694-2542 (柴田義孝)]

議 題

9月17日 (木)

[14:00~16:00] ●コンテンツの保護とアクセス制御 (A会場)

- (1) 静的コンテンツと動的コンテンツとのフィルタリングの相違に関する考察
大塚浩昭
藤原 豊, 岡部恵一, 河田悦生 (NTT)
- (2) マルチメディア通信環境における識閲下伝意の脅威と対策
村山優子 (岩手県立大), 岡本栄司 (北陸先端大)
柴田義孝 (岩手県立大)
- (3) Role-Based Access Control for Information Flow Management
安田昌史, 桧垣博章, 滝沢 誠 (東京電機大)
- (4) 暗号アルゴリズムのコード化
五十嵐育弘

[14:00~16:00] ●マルチメディア処理 (B会場)

- (5) 個人状況適応型キオスク・システムにおけるエージェントモデルの提案
宮崎泰彦, 藤本憲司 (NTT)
- (6) 人間のコミュニケーションモデルに基づいた分散環境グループ学習のモデルとその実現方式
宮本俊光, 白鳥則郎 (東北大), 宮崎正俊 (岩手県立大)
- (7) 利用者に適応する動的構造化メディアの生成アーキテクチャ
菊池一彦 (東北大), 布川博士 (岩手県立大)
白鳥則郎 (東北大), 宮崎正俊 (岩手県立大)
- (8) 連想記憶モデルによる顔の表情認識の研究
戴 莹, 柴田義孝, 橋本浩二 (岩手県立大)

[16:15~17:15]

(9) 招待講演: 21世紀のソフトウェア情報教育

宮崎正俊 (岩手県立大)

9月18日 (金)

[10:00~12:00] ●セキュリティシステム (A会場)

- (10) レイアウト構造を利用したページ記述への電子透かし埋め込み手法
天野富夫, 平山唯樹 (日本IBM)
- (11) 2分ハッシュ木を用いた証明書廃止・更新システム
菊池浩明, 安部謙介, 中西祥八郎 (東海大)
- (12) A Secure Agent-Based Payment System for Mobile Computing on Internet

Xun Yi, Eiji Okamoto (JAIST)

[10:00~12:00] ●マルチメディアシステム (B会場)

- (13) HIS (Home Information Server) の構想と試作システム
畠山 敦, 伊藤文英, 谷口幸治
(デジタル・ビジョン・ラボラトリーズ)
谷 英明 (日本電気)
- (14) HIS (Home Information Server) のストリーム転送機構
谷口幸治 (デジタル・ビジョン・ラボラトリーズ)
谷 英明 (日本電気)
- (15) やわらかいマルチメディア遠隔講義支援システムの設計
高坂幸春 (東洋大), 橋本浩二 (岩手県立大)
勝本道哲 (CRL), 森 秀樹 (東洋大)
柴田義孝 (岩手県立大)
- (16) QoS保証を考慮したエージェント指向マルチメディアシステム
橋本浩二, 柴田義孝 (岩手県立大), 白鳥則郎 (東北大)

[13:00~15:00] ●通信方式 (A会場)

- (17) A Distributed Routing Strategy for Large Scale Networks Using Intelligent Agents
Leonard BAROLLI, Akio KOYAMA
Shoichi YOKOYAMA (山形大)
- (18) 広域ネットワークにおける能動的多重化手法

- 楡垣博章, 森下展光, 滝沢 誠 (東京電機大)
- (19) IP multicastグループを制御するプロトコル
篠田 晃 (NTT)
- (20) Peer to Peer 型 Replication による disconnected operation
山口実靖, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)
- [13:00~15:00] ●通信システム (B会場)
- (21) NetNewsのためのキャッシュシステム
舟阪淳一, 最所圭三, 福田 晃 (奈良先端大)
- (22) コンテンツメタリングサーバを用いた課金システム
川副 博 (日本IBM)
- (23) インターネットのトラフィックを使用した課金体系
串田高幸 (日本IBM)
- (24) 口コミ機構のコスト制御法
南 俊朗, 大谷 武 (富士通研)
- *17日の発表会終了後, 懇親会を開催予定.

◆第2回 電子化知的財産・社会基盤研究会

- (発表件数: 11件 (7.15現在))
- (主査: 森 亮一, 幹事: 工藤育男, 名和小太郎, 松本恒雄)
- 日 時 平成10年9月19日 (土) 10:00~17:00
- 会 場 獨協大学 6-101, 6-201教室
- [草加市学園町1-1. 東武伊勢崎線 (地下鉄日比谷線乗り入れ) : 松原団地下車 (上野から約30分), 徒歩10分. Tel(0489)42-1111 (代表) <http://www.dokkyo.ac.jp/index.htm>]

議 題

- (1) マルチメディア・ネットワークと知的財産法
相澤英孝 (早大)
- (2) (タイトル未定)
苗村憲司 (慶大)
- (3) 企業情報セキュリティポリシーの必要性と策定方法
佐藤慶浩 (日本ヒューレット・パッカー)
- (4) デジタルコンテンツのノンパッケージ流通と著作権の保護
井上 彰 (エム研)
- (5) OS開発における知的財産権と競争法の相克
—マイクロソフト独禁法訴訟を素材として—
山神清和 (情報通信総研)
- (6) 電子透かし技術とその評価基準について
松井甲子雄 (防衛大)
- (7) (タイトル未定)
畑陽一郎 (日本レコード協会)
- (8) マルチメディアの著作権情報の定義と伝達について
喜多村政賢 (情報処理振興事業協会)
- (9) 超流通における課金機構の開発
長谷部高行, 木島裕二, 鳥居直哉 (富士通研)
- (10) 超流通技術開発の現状と展望
河原正治 (筑波技術短大), 大瀧保広 (茨城大)
- (11) コンテンツの複合的権利記述による権利確保と流通支援
星野 寛, 山田 篤, 鎌田浩典 (京都高度技術研)

*7月15日現在のプログラムです。追加プログラムについては、次号本欄、または下記ホームページに掲載、もしくは下記メールアドレスに配信予定。

*EIPメーリングリスト: eip-member@k.tsukuba-tech.ac.jp

(登録方法は下記ホームページを参照ください。)

*EIPホームページ: <http://sda.k.tsukuba-tech.ac.jp/sig-eip/>

◆第123回 計算機アーキテクチャ研究会

- (発表件数: 13件)
- (主査: 中島 浩, 幹事: 児玉祐悦, 中田登志之, 中村 宏)
- デザインガイア'98
- ~VLSI設計の新しい大地を考える研究会~
- 設計自動化研究会: DA (後記参照), および

- 電子情報通信学会 (4研究会) と同時 (一部合同) 開催一
- 日 時 平成10年9月21日 (月) 12:30~18:00
- 共通企画: DAと合同, 電子情報通信学会共催
- 22日 (火) 9:00~12:00

- 一般講演: ARC単独
- 会 場 福岡ソフトリサーチパークセンタービル
- [福岡市早良区百道浜2-1-22. JR博多駅よりバス: 福岡市医師会館前下車. 詳細, その他交通手段は以下参照の事.]
- http://www.fukuoka-srp.co.jp/index_2.html

議 題

- 9月21日 (月)
- 共通企画: 21世紀に向けてのVLSIの研究開発について
- [ARC・DA合同, 電子情報通信学会 (4研究会) 共催]
- [12:30~13:40] ●基調講演 (SRPホール)
- (1) インテリジェント味覚センサが人間の舌を超える!
都甲 潔 (九大)
- [14:00~16:00] ●招待講演 (SRPホール)
- (2) 配置の数理: 多数の矩形を効率良く埋め込む新方法とそのVLSIレイアウトへの応用
梶谷洋司 (東工大)
- (3) 21世紀への提言—MPEG2の設計経験から
石川敏郎 (ソニー)
- (4) VLSIアーキテクチャと設計自動化技術の将来
小栗 清 (NTT)

- [16:30~18:00] ●6研究会共催一般講演 (SRPホール)
- (5) 動画像復号化と3次元グラフィクスで共用可能なメディアプロセッサ向け演算回路の設計
藤嶋秀幸 (阪大/九松)
竹本祐介, 米田友和, 尾上孝雄, 白川 功 (阪大)
- (6) 適応デバイスRHWの概要とマッピング手法
山内 宗, 中谷正吾, 犬尾 武, 梶原信樹 (RWCP)
- (7) Self-Timed Implementation of Boolean Functions
Mart saarepera, 米田友洋 (東工大)

9月22日 (火)

- 一般講演: プロセッサ・アーキテクチャおよび一般
- [9:00~12:00] (視聴覚研修室)
- (8) SIMD型並列処理における分岐支援機構に関する提案
佐野雅彦 (徳島大), 高橋義造 (大工大)
- (9) 分岐先アドレスの性質を利用した2レベル表による分岐先バッファの容量削減
山田祐司, 小林良太郎, 安藤秀樹, 島田俊夫 (名大)
- (10) VLDPアーキテクチャにおける実行バス制御機構
高峰 信, 中村友洋, 吉瀬謙二, 辻 秀典
安島雄一郎, 坂井修一, 田中英彦 (東大)
- (11) 自動応答感度調節機構を備えたビジョンチップシステム
本田 晃, 亀田成司, 八木哲也 (九工大)
- (12) プラスティックセルアーキテクチャにおけるオブジェクト間通信のためのメッセージ 自己ルーティングアルゴリズム
中根良樹, 松田潤一 (京大)
- 永見康一, 小栗 清 (NTT), 中村行宏 (京大)
- (13) プログラマブルデバイスを用いた可変構造シミュレーションシステム
野口 裕, 最所圭三, 福田 晃 (奈良先端大)

*21日の共通企画は, 電子情報通信学会 (コンピュータシステム (CPSY) 研究会, VLSI設計技術 (VLD) 研究会, フォールトトレラントシステム (FTS) 研究会, 集積回路 (ICD) 研究会) と共催。

*21日の夜, 福岡タワーの展望レストランにおいて懇親会 (会費5000円) を予定しています。ぜひご参加ください。懇親会については8月31日 (月) までに下記までE-mailまたはFaxでご連絡ください。

懇親会申込先: 小川公裕 (VLD幹事, ソニー)

〒243-0014 厚木市旭町4-14-1

E-mail: kimihiro@saskg.semicon.sony.co.jp

Tel(0462)30-5352 Fax(0462)30-6225

◆第89回 設計自動化研究会 (発表件数: 17件)

(主査: 今井正治, 幹事: 寺井正幸, 中田恒夫, 若林真一)

デザインガイア'98

～VLSI設計の新しい大地を考える研究会～

一計算機アーキテクチャ研究会: ARC (前記参照), および
電子情報通信学会 (4研究会) と同時 (一部合同) 開催一

日時 平成10年9月21日 (月) 12:30～18:00

●共通企画: ARCと合同, 電子情報通信学会共催
22日 (火) 13:00～18:20

●一般講演: DA, 電子情報通信学会 (CPSY) 共催
会場 福岡ソフトリサーチパークセンタービル (所在地
は前記参照)

議題

9月21日 (月)

●共通企画: 21世紀に向けてのVLSIの研究開発について
[ARC・DA合同, 電子情報通信学会 (4研究会) 共催]
(前記ARC (1)～(7)参照)

9月22日 (火)

●一般講演: システム設計とCAD技術および一般
[13:00～18:20] (視聴覚研修室)

(8) パイプラインストールを除去した遺伝的アルゴリズム専用
ハードウェアの実現 北浦 理, 杉浦弘幸
川合隆光, 安藤秀樹, 島田俊夫 (名大)

(9) A VLSI Architecture for Fractal Image Coding
Shinhaeng Lee, Hiroto Aso (東北大)

(10) フラクタル画像圧縮の再構成可能アーキテクチャによる
実現法 松浦昭洋, 永野秀尚, 名古屋彰 (NTT)

(11) 動的再構成可能回路を用いた新しい電磁粒子シミュレ
ーション回路の設計 上田義勝, 中村行宏 (京大)
塩澤恒道, 須山敬之 (NTT)

(12) 機能メモリを使用したプロセッサを対象とするハードウ
ェア/ソフトウェア協調合成システム
寺島 信, 戸川 望, 柳澤政生, 大附辰夫 (早大)

(13) システムLSIのコンカレントデザイン環境
-1チップMPEG-2 MP@MLエンコーダLSIへの適用-
落合克幸, 岩崎裕江, 長沼次郎, 遠藤 真 (NTT)

(14) DCVSLを使用した非同同期式細粒度パイプライン・デー
タパスの論理合成 今井 雅, 中村 宏, 南谷 崇 (東大)

(15) 変数の重なりのない単純な関数分解を用いた組合せ回路
の改善方法 澤田 宏, 山下 茂, 名古屋彰 (NTT)

(16) 大規模論理回路分割に関する一手法
上土井陽子 (広島市大), 若林真一 (広島大)
吉田典可 (広島市大)

(17) FPGAの配線問題に対する貪欲法とニューラルネットワ
ークを併用した3段階アルゴリズムの提案
江川晋爾, 黒田映史, 北道淳司, 船曳信生 (阪大)

*電子情報通信学会 (21日共通企画: 上記4研究会, 22日: CPSY研
究会) と共催。

*懇親会 (前記ARC参照)

*懇親会 (前記ARC参照)

◆第11回 分散システム運用技術研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 林 英輔, 幹事: 岩原正吉, 篠崎俊春, 箱崎勝也)

日時 平成10年9月25日 (金) 10:00～17:00

会場 麗澤大学 図書館 AVホール

[柏市光ヶ丘2-1-1. JR (常磐線): 南柏 (地下鉄千代田線
直通) 下車, バス (南口乗り場1番): 麗澤大学前 (約5分)
下車. Tel(0471)73-3601]

*学園での会場の案内は当日案内板にてお知らせします。

*車でおいでになる方へ: 国道6号線下り北小金を案内板に従っ
て右折5分。駐車場は学園北側 (大学校舎と反対側のエリア)

の駐車場がご利用になれます。

詳しくは<http://www.reitaku-u.ac.jp/>の交通案内をご覧ください。

議題

(1) アプリケーション層での動的なWWWアクセス経路選択
-移動エージェント支援によるモデルの提案-

富川裕樹, 高井昌彰, 山本 強 (北大)

(2) ユーザ挙動モデルに基づくシミュレーションによる教育用
システムに適したネットワーク構成の検討

石原 進 (名大), 岡田 稔 (名大)

(3) 専用線IP接続による遠隔双方向授業実験
牧野 晋, 大塚秀治 (麗澤大), 窪田浩実 (麗澤高校)

高辻秀興, 高橋三雄 (麗澤大)

(4) NetNewsサーバにおける効率的な記事配送方式の設計と
実装 飯島昭博, 久野 靖 (筑波大)

(5) リモートアクセス環境における認証サーバを用いた電子メ
ールの発信者詐称防止の一手法

石橋勇人 (大阪市立大), 山井成良 (岡山大)

安倍広多, 大西克実, 松浦敏雄 (大阪市立大)

(6) ユーザの視点の基づいたネットワークの性能評価に関する
考察 牧兼 充, 石橋啓一郎 (慶大)

(7) 経路の抽出を用いた地域IX経路制御の実現
中川郁夫 (インテック)

(8) 小規模組織に適した標準ネットワークとその管理支援系の
構築 上田 仁, 木本雅彦, 大野浩之 (東工大)

(9) IPv6の特徴を活用した研究資料管理システムの提案
野田明生, 大野浩之 (東工大)

(10) 一般情報処理教育における大規模分散システムの提案
岩田 晃 (大同工大)

石原 進, 小島英樹, 岡田 稔 (名大)

(11) イントラネットに明日はあるか (II) 大野浩之 (東工大)

*発表順等は現在暫定のため、分散システム運用技術研究会のHome
Pageを参照ください (<http://dsm.slab.ntt.co.jp>)。

◆第14回 デジタル・ドキュメント研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 絹川博之, 空閑茂起, 福島敏高)

日時 平成10年9月25日 (金) 13:30～17:00

会場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (詳細は前記参照)

議題

(1) XLinkを利用したXMLドキュメントブラウザ
後藤正智 (富士通)

(2) SGMLデータカートリッジによる文書管理システムの構築
矢島正樹, 藤津真一, 大野邦夫 (INSエンジニアリング)

(3) 電子化文書の各種規格に関する検討と考察
小林龍生 (ジャストシステム)

大野邦夫 (INSエンジニアリング)

山口 琢 (日立), 鈴木 明 (神鋼電機)

*日本工業技術振興会 (ユーザドキュメント研究部会) と共催。

研究会 論文募集

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発
表者名 (登壇者に○)、略称所属、概要 (50字程度)、発表
申込者連絡先 (住所、氏名、Tel、Fax、E-mail) を明記の
上、各研究会照会先までE-mailまたはFaxで直接お申し込
みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない

研究会は、事務局研究会担当宛 (E-mail: sig@ipsj.or.jp
Fax (03) 5484-3534) に開催日の3ヵ月前までにお申し込み
ください。

E-mail: VFE06210@nifty.ne.jp
Tel (03) 3564-3651 Fax (03) 3562-6298

◆ソフトウェア工学研究会

日 時 平成10年11月5日(木)・6日(金)
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)
発表申込締切 平成10年9月4日(金)

*詳細は、先月号会告、本研究会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/se/>) をご覧ください。

◆自然言語処理研究会

日 程 平成10年11月5日(木)・6日(金)
会 場 九州大学

発表申込締切 平成10年8月31日(月)

照 会 先 宇津呂武仁(奈良先端大)

E-mail: utsuro@is.aist-nara.ac.jp
Tel (0743) 72-5242 Fax (0743) 72-5249

*できるだけE-mailをお願いします。
*E-mailには返信しますので、返信がない場合にはご連絡ください。

◆コンピュータと教育研究会

日 程 平成10年11月13日(金)
会 場 関西学院大学 上が原キャンパス

発表申込締切 平成10年8月31日(月)

照 会 先 雄山真弓(関西学院大)

E-mail: oyama@kwansei.ac.jp

◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

日 時 平成10年11月19日(木)
会 場 広島市立大学

発表申込締切 平成10年8月25日(金)

照 会 先 塩原守人(富士通研)

E-mail: shio@flab.fujitsu.co.jp
Tel (044) 754-2679 Fax (044) 754-2347

*申込受付後に受付済通知をお送りしますので、通知のない場合には
ご連絡ください。

◆分散システム運用技術研究会(改名検討中)

日 程 平成10年11月20日(金)
会 場 富士通大分システムラボラトリ

発表申込締切 平成10年8月24日(月)

照 会 先 笠原義晃(九大)

E-mail: kasahara@nc.kyushu-u.ac.jp
Tel (092) 642-2298 Fax (092) 642-2294

*できるだけE-mailをお願いします。
*E-mailには返信しますので、返信がない場合にはご連絡ください。

◆情報メディア研究会

日 時 平成10年11月26日(木)・27日(金)
会 場 東芝本社(東京都港区)

テ ー マ ことばとグローバリゼーション(その2)

今年度は、「言語は社会インフラ」であることをさらに意識して、平易で磨かれた日本語を獲得することの必要性、そのために技術者が出来ること、した方がいいことを皆で考えていきたいと思っております。前半で日本語を巡る外部社会の研究者の講演を聞き、後半で今年は機械翻訳の事例から日本語平易化の問題を考えてみたいと思っております。

発表申込締切 平成10年9月4日(金)

照 会 先 岡林みどり(ポーラ文化研究所)

◆数理モデル化と問題解決研究会

日 時 平成10年11月27日(金)
会 場 奈良女子大学 理学部情報科学科

発表申込締切 平成10年9月4日(金)

照 会 先 城 和貴(和歌山大)

E-mail: joe@sys.wakayama-u.ac.jp
Tel (0734) 57-8081

*できるだけE-mailをお願いします。連絡を受けましたら、3日以内に返信いたしますので、返信のない場合には御連絡ください。

*数理モデル化と問題解決研究会に関する最新情報

Web: <http://al.ei.tuat.ac.jp/mps/index.html>

ML: 登録御希望の方は下記のアドレスに本文任意の電子メールをお送りください。正常に登録された場合折り返し登録完了のメールをお送りします。

登録用アドレス: sigmps-join@keim.cs.gunma-u.ac.jp

◆情報学基礎研究会

日 程 平成10年11月30日(月)
会 場 図書館情報大学 講堂

発表申込締切 平成10年8月31日(月)

照 会 先 杉本重雄(情報大)

E-mail: sugimoto@ulis.ac.jp, Fax (0298) 59-1093

*できるだけE-mailをお願い致します。
*第13回デジタル図書館ワークショップと共催。



平成11年度研究会等の新設提案について

平成11年度に研究会・調査委員会の新設を希望する会員は、**8月31日(月)**までに所定の書式により、研究会(調査委員会)新設提案書を当該委員会委員長宛に提出してください。書式および当該委員会等の詳細は事務局研究会係までお問い合わせください。



研究発表会参加・発表申込方法・ 研究報告について

◆研究発表会参加

研究発表会には自由に参加できます。開催に関する詳細等は開催月前月号の本欄に掲載します。(長期開催予定は2, 4, 8月号本欄掲載)

一研究発表会当日参加について(発表者、聴講者)一

◇研究会(個人、賛助、準)登録会員の当該登録研究会に参加の場合: 無料

◇研究会登録会員以外で研究発表会に参加の場合:

- ・情報処理学会会員 当日の資料代(1,500円程度)
- ・情報処理学会学生会員 500円
- ・非会員 1,000円+当日の資料代

*共催・協賛の開催の場合や、当日の資料がない場合は上記の限りではありません。

*年間を通して参加の場合には登録をお願いします。

◆研究会登録

研究発表会への年間を通して参加の場合、または研究会が配

布する刊行物（研究報告、研究会論文誌など）を入手希望の場合には登録をお願いします。

*各研究会登録費および配布予定物等の詳細は、研究会登録申込用紙（新規）（本号会告欄掲載）をご参照ください。

*学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして「研究会準登録者」制度を設けております。詳細は事務局研究会係までお問い合わせください。

◆研究発表会発表申込方法

会員は任意の研究会に次の方法で研究発表会の申込みをすることができます。

・発表希望者は、各研究会の会告欄募集内容に従って、発表題目、発表者名（登壇者に○）、略称所属、概要（50字程度）、発表申込者連絡先（住所、氏名、Tel、Fax、E-mail）を明記の上、E-mailまたはFaxで各研究会の照会先へ直接お申し込みください。

特に会告上に募集のない研究会への発表希望は、事務局研究会担当宛に開催日の3カ月前までにお申し込みください。

・原稿執筆等の詳細は発表が決定（開催月の2カ月前の中旬）しだいお知らせします。

・発表者も通常参加基準（上記当日参加参照）が適用されます。

◆研究報告残部購入申込

発表年月（資料番号）、研究会名、希望部数、申込者氏名、送付先、電話番号を明記のうえ、書面にて（E-mail、Fax可）事務局研究会係までお申し込みください。その際にはあらかじめ電話等で残部の確認をお願いします。（当年度、前年度残部のみ頒布可。送料：270円/冊）

残部資料のないもののコピーサービスに関しては、科学技術振興事業団（JST）へお問い合わせください（有料）。国立国会図書館においても閲覧、コピーすることができます。国民的

*国立国会図書館

〒100-0014 千代田区永田町1-10-1 Tel(03)3581-2331

*科学技術振興事業団（JST）

〒100-0014 千代田区永田町2-5-2 Tel(03)3581-6411

◆研究報告の閲覧

閲覧希望者は、あらかじめ電話等でその旨を研究会係までご連絡のうえお越しください。

◆照会先 (社) 情報処理学会 研究会係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535

Fax(03)5484-3534



「研究グループ」について

確立された分野を対象とした研究会とは別に、ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか、新しい研究分野となり得る萌芽的研究など、より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために、研究グループ制度があります。

この制度は会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができます。

設立などの詳細は下記までお問い合わせください。

◆照会先 (社) 情報処理学会 研究会係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535

Fax(03)5484-3534



「科学技術と政策の会シンポジウム」のご案内

開催日 平成10年9月16日（水）15:30～17:00

会場 霞ヶ関ビル33F（東海大学校友会館 阿蘇の間）

[千代田区霞ヶ関3-2-5 Tel(03)3581-0121]

統一テーマ 「科学技術の国民的普及に向けて」

講演者ならびに講演タイトル（予定）

(1) 科学技術評価会議法成立に向けて 中山太郎（衆議院議員）

(2) 科学技術の国民的普及 西澤潤一（岩手県立大学学長）

(3) 構造改革に向けた国民的科学技術振興
内田盛也（日本工学会副会長）

後援 日本工学会、日本学術協力財団

照会先 科学技術と政策の会事務局

(社) 新構想研究会 担当：安藤

Tel(03)3586-8951 Fax(03)3586-4517



行事No.S-0098

「オブジェクト指向'98シンポジウム」 参加者募集

オブジェクト指向技術はソフトウェアやソフトウェア開発の広範な領域に影響をおよぼしており、さらにネットワーク普及にともなう分散オブジェクト技術の世界も急速に拡大しています。こうしたオブジェクト指向の理論から実践にわたる最新の研究・開発・実践成果の交流の場として昨年に引き続き、オブジェクト指向'98シンポジウムを開催します。初心者から上級者までを対象とした幅広いプログラムを企画しました。多数の参加をお待ちしています。

日時 平成10年9月16日（水）10:00～16:45

17日（木）10:00～17:45

18日（金）10:00～17:45

会場 東京大学 駒場キャンパス

*参加申込みの方には詳細を後日送付。

主催 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

協賛（予定） 情報サービス産業協会、日本ソフトウェア科学会

参加費 会員：25,000円、研究会登録会員：20,000円、非会員：30,000円、学生：5,000円（いずれも論文集、チュートリアル／ワークショップ資料を含む）

資料のみ 5,000円（論文集、チュートリアル／ワークショップ資料、送料込）

申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください。

申込締切 平成10年9月7日（月）

申込／照会先 (社) 情報処理学会 シンポジウム係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535

Fax(03)5484-3534 URL-http://www.ipsj.or.jp/

備考 最新のプログラムは下記のソフトウェア工学研究会ホームページでご確認ください。また、プログラムの詳細につきましては学会誌7月号もご参照ください。



プログラム

9月16日(水) <チュートリアル/ワークショップ>

- [10:00~11:45] チュートリアル
- TA1: オブジェクト指向開発入門
~変わるもの, 変わらないもの~
- TA2: オブジェクト指向プログラミング言語への道
- TA3: ビジネスオブジェクトとコンポーネント開発技術
- [13:00~14:45] チュートリアル
- TB1: Rational Objectory Process入門
- TB2: 設計パターンと設計ノウハウの蓄積/活用法
- TB3: CORBA上でのアプリケーション開発技術:
CORBA+COM/OLE+web
- [15:00~16:45] チュートリアル
- TC1: パターンを用いたチーム開発のためのプロジェクト管理
- TC2: 並列/分散環境上でのオブジェクト指向プログラミング技法
- TC3: オブジェクト指向の実際
~モデリングワークショップの題材を使って

9月17日(木) <招待講演/テクニカルセッション/チュートリアル/パネル>

- [10:00~10:15] 開会の挨拶
- [10:15~11:45] 招待講演
・ミームメディアとミームマーケットのアーキテクチャ
~知財の流通メディアと知財マーケットの実現を目指して
田中 譲 (北大)
- [12:45~14:15] テクニカルセッションとチュートリアル
- セッションSD1: 開発技法・ツール・教育
- セッションSD2: プログラムメトリクス
- チュートリアルTD3: OO技術者のための形式的仕様記述入門
- [14:30~16:00] テクニカルセッションとパネル
- セッションSE1: プログラミング・言語
- パネルPE3: ビジネスオブジェクトの将来
- [16:15~17:45] テクニカルセッションとワークショップ
- セッションSF1: 移動エージェント
- ワークショップWF3: モデリングワークショップ

9月18日(金) <基調講演/テクニカルセッション/チュートリアル/パネル>

- [10:00~11:30] 基調講演
・Global Computingへの夢(仮題) 松岡 聡 (東工大)
- [12:30~14:00] テクニカルセッションとチュートリアル
- セッションSG1: 分析設計手法
- セッションSG2: 部品化・再利用・フレームワーク
- チュートリアルTG3: エージェント指向技術
~ネットワークコンピューティングのソフトウェア技術としてのエージェント
- [14:15~15:45] テクニカルセッションとパネル
- セッションSH1: 分散協調
- セッションSH2: ユーザインタフェース・データベース
- パネルPH3: 開発事例に学ぶ
・流通業店舗システムへのオブジェクト指向技術の適用
~店舗システムのアプリケーションフレームワークの観点から
- [16:00~17:30] 全体パネル
・再利用技術の今後
- [17:30~17:45] 閉会の挨拶

行事No.S-IM98

「情報メディアシンポジウム98」参加者募集

情報市場-アトム経済からビット経済へ

情報メディア研究会主催のシンポジウムは、先駆的な問題意識の提起を通して参加者自身が新しい発見をするという主旨で研究会発足以来毎年開催され好評である。今年、「情報市場-アトム経済からビット経済へ」というテーマでシンポジウムを開催する。

インターネットの爆発的な普及とデジタルメディア技術の進展により、デジタルコンテンツが富の源泉となるような社会的な技術基盤は加速度的に進歩してきている。情報・知識が富の源泉となるような技術的な状況が整備されてきているが、肝心の情報・知識の価値交換のための新しい経済、社会制度のあり方に関する議論が総合的に行われてはいない。こうしたデジタル革命の恩恵を真に社会に浸透させるためには、従来のモノを中心とした価値交換の体系(アトム経済)から、情報そのものが独立に価値交換可能な経済体系(ビット経済)の構築が不可欠となる。

以上の観点をベースに本シンポジウムでは次の2つのサブテーマに沿いながら、さらに基調講演と今後のためのパネルディスカッションを通じて議論を深めていく。

- ・ビット経済とデジタルライツ市場
- ・ビットビジネスの問題点と打開策

日 時 平成10年9月24日(木)・25日(金)
*両日も9:30~17:00

会 場 工学院大学 3F 0312教室(東京都新宿区)
*参加申込みの方には詳細を後日送付。

主 催 情報処理学会 情報メディア研究会
協 賛 情報処理学会 電子化知的財産・社会基盤研究会
協 力 マルチメディアコンテンツ振興協会

参 加 費
会員:18,000円(希望により請求書・領収書発行)
会員:12,000円(請求書なし、学会指定郵便振替払込用紙による送金。払込票をもって領収書に代える)
学生:4,000円 非会員:20,000円
(いずれも論文集代を含む)

*7月号でお知らせした参加費予価を変更いたしました。ご注意ください。

論文集のみ 5,000円(送料込)
申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申込みください。

参加申込締切 平成10年9月10日(木)
申込/照会先 (社)情報処理学会 シンポジウム係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535
Fax(03)5484-3534 URL-http://www.ipsj.or.jp

*情報メディア研究会のメーリングリストも開設されています。infomedia-ml@huee.hokudai.ac.jpあてに本文が#guideと1行だけ書いたメールをお送りください。案内文が自動返送されます。
*情報メディア研究会ホームページ
http://infomedia.dj.kit.ac.jp/

プログラム

9月24日(木)

- [9:30~10:30] 基調講演
(1) 知的財産権が21世紀の市場で持つべき役割
苗村憲司(慶大)

- [10:35~11:25] ビット経済とデジタルライツ市場
- (2) デジタルコンテンツの保護と利用—ECMS (電子著作権管理システム) をめぐる技術と法—
上野達弘 (国際高等研究所)

- [12:30~16:20] ビット経済とデジタルライツ市場
- (3) メディアのデジタル化とコンテンツ流通について
三浦文夫 (電通)
- (4) デジタルコンテンツ流通市場
蓑田正彦 (毎日新聞)
- (5) 著作権問題への技術的挑戦
工藤育男 (ジャストシステム)
- (6) インターネット商品開発
橘川幸夫 (デジタルメディア研究所)
- (7) 新聞記事のデジタル著作権
平林次郎 (日経新聞)

- [16:30~17:00] パネルディスカッション
- (8) ラップアップのためのパネルディスカッション
—デジタルライツ市場の課題と展望—

9月25日 (金)

- [9:30~10:30] 基調講演
- (9) 一人勝ちの経済学, あるいは一人勝ち防止の経済学?
林紘一郎 (GLOCOM)
- [10:35~11:25] 電子商取引にいま何が必要か?
- (10) サイバー市場でのベンチャーの意義
田中辰雄 (慶大)
- [12:30~15:50] 電子商取引にいま何が必要か?
- (11) エージェント・マーケットプレースのコンセプトと応用
中村祐一 (日本IBM)
- (12) インターネット少額決済システムと新しいビジネスモデル
郡山 龍 (Aplix社)
- (13) 電子商取引の明と暗—生活者はいま何を求めているか—
粟飯原理咲 (ECを考える女性メーリングリスト
「LIFE」主宰)
- (14) 情報市場の特質と制度設計 (仮題)
出口 弘 (京大)
- (15) オープンソース・ソフトウェアと知的所有権
池田信夫 (GLOCOM)
- [16:00~17:00] パネルディスカッション
- (16) 情報市場の課題と展望



行事No.S-GW98

「グループウェア'98」シンポジウム参加者募集 —サイバースペースとグループウェア—

グループウェア研究会では、1992年度より、グループウェアシンポジウムを毎年開催し、マルチメディアとグループウェア、モバイルとグループウェア、インターネットとグループウェアなど、時々の先端的なテーマについての講演を行うことにより好評を博しております。

今年は、インターネット上での仮想的な社会空間において活発な研究開発が行われている状況を踏まえ、サイバースペースでのコンテンツビジネス、社会経済活動支援、教育支援について、招待講演によって会員の興味に応え広く議論の場を提供するために、「サイバースペースとグループウェア」をテーマといたします。

多数の方の参加をお待ちしております。

日 時 平成10年11月27日 (金) 10:00~17:30
会 場 機械振興会館 地下3F 研修2号室
主 催 情報処理学会 グループウェア研究会
日本VR学会 サバースペースと仮想都市研究会

日本ディスタンスラーニング学会
参 加 費 会員:15,000円, 学生会員:5,000円,
非会員:25,000円 (いずれも論文集代を含む)
論文集のみ 5,000円 (送料, 消費税込)
申込方法 本号会告欄の行事申込書またはホームページにて
お申込みください。
申込締切 平成10年11月13日 (金) (定員になり次第締切)
申 込 先 (社) 情報処理学会シンポジウム係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535
Fax(03)5484-3534 URL-http://www.ipsj.or.jp

プログラム (予定)

- 基調講演
コンテンツビジネス活性化のために 松下 温 (慶大)
- 招待講演
(1) デジタル博物館 坂村 健 (東大)
(2) オンライン新聞 井上実千 (朝日新聞)
- 特別講演
(1) エレクトリックコマース 依頼中 (日立)
(2) デジタルルーブル美術館 西口 (大林組)
(3) ディスタンスラーニング Larry Leifer (Stanford大)
(4) ディスタンスラーニング 依頼中
(5) ディスタンスラーニング 依頼中

なお、プログラムの講演テーマは仮題です。正式な講演テーマ名称、時間割などの詳細は、10月号本欄に掲載いたします。



「利用者指向の情報システムシンポジウム」 論文募集

—2001年の情報システム—
(情報システムを不良債権としないために)

21世紀を目前に控え、情報システムは本格的な分散化・ネットワーク化とそれを支える新たな技術の登場によって、企業・社会・個人を問わず益々加速度的な普及と発展を遂げようとしています。しかし、一方ではこうした新しい技術や新システムがもたらす効率性・利便性と引き替えに、従来は予想もしなかった新たな問題が発生するといった現実を見逃すことはできません。

本シンポジウムでは、ユーザーと直接関連の深いアプリケーションシステム領域を中心に、新技術導入への期待と現状、解決すべき課題やその実現の方向性について考察し、主として利用者の立場から、今後の情報システムの健全な発展のり方を探っていきます。

日 程 平成11年1月22日 (金)
会 場 東洋大学 白山校舎 (東京都文京区)
主 催 情報処理学会 情報システム研究会

論文募集要領

本シンポジウムでは、テーマとして以下のようなキーワードを考えておりますが、関連性の認められるものであれば、これに限定するものではありません。奮ってご応募ください。

キーワード
～「現状問題となっていること」を中心に～

- ・2000年問題（解決のための対策を振り返って）
- ・統合パッケージシステムの導入
（事例による問題点と対応の考察）
- ・部品化システム構築技術の可能性
- ・現有ソフトウェア資産を有効活用するシステムエンジニアリングの実際（その技術、投資対効果算定の方法など）
- ・分散システム環境の維持・管理の問題/TCO

～「将来対応の夢のある技術とその問題」～

- ・電子商取引における諸問題とその対応
- ・障害者から見たネットワークコンピューティングの功罪

応募方法

- (1) 論文タイトル、連絡先（住所、氏名、Tel、Fax、E-mail）を明記の上、内容がよくわかるように記述した概要（A4版用紙1枚、1000字程度）を下記アブストラクト送付先まで提出してください。
- (2) 応募論文は、論文概要をもとに研究会連絡委員会において審査します。採択された場合、最終原稿をカメラレディで提出してください。
- (3) 最終原稿は、和文または英文で、通常の情報処理学会論文誌の様式で8ページ以内です。
- (4) アブストラクト送付先 *できるだけ電子メールをお願いします。
（社）情報処理学会 シンポジウム係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail: sig@ipsj.or.jp
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

スケジュール

概要提出締切 平成10年9月4日（金）必着
採否通知 平成10年9月30日（水）までに連絡
カメラレディ原稿締切 平成10年11月20日（金）

照会先 中嶋聞多（信州大）

E-mail: montana@gipac.shinshu-u.ac.jp
Tel(0263)37-2268 Fax(0263)34-4171

参加費（予定） 会員：6,000円 研究会登録会員：4,500円
学生：1,500円 非会員：10,000円
（いずれも論文集代込）



「インタラクシオン'99」論文募集

コンピュータとネットワーク技術の驚異的な進歩は、情報環境の高度化にとどまらず、人間および社会に大きな影響を与えています。こうした技術進歩の上で展開されるツールやシステムだけでなくその上に構築されるヒューマンシステム（人、組織、コミュニティ、ワークスタイル等）の両方の視点からその相互作用をふくめて、真に社会に、人に、仕事に、生活に価値をもたらすアプローチがますます重要になってきています。「インタラクシオン'99」はそうした目的で、社会システム、グループウェア、情報メディアと情報環境、システムとソフトウェア、ユーザーセンターデザインさらには、社会科学、認知科学などの研究者包括的に集うことのできるCross CulturalでInterdisciplinaryな「インタラクシオンの場」です。質の高い議論が展開され、新たな研究や触発が得られことを期待しています。

前回の「インタラクシオン'98」（<http://www.brl.ntt.jp/interaction98/>参照）には予想を上回る参加者があり、複数の

学会や研究会を横断する活発で有意義な研究交流の場となりました。「インタラクシオン'99」でも前回に引き続き好評であった、優秀な発表に対してベストペーパー賞の授与、システムや作品の発表セッションのインタラクティブ賞も用意しております。ふるってご応募してください。また、今回も情報処理学会論文誌特集号への推薦を行う予定です。皆様のご参加をお待ちしています。

日 程 平成11年3月4日（木）・5日（金）

会 場 東京工業大学（大岡山キャンパス）

主 催 情報処理学会 ヒューマンインタフェース研究会
情報メディア研究会、グループウェア研究会

協賛（予定） 情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 音楽情報科学研究会 音声言語情報処理研究会、電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ、日本バーチャルリアリティ学会 サイバースペースと仮想都市研究会、日本認知科学会、日本ソフトウェア科学会 インタラクティブシステムとソフトウェア研究会、日本社会心理学会

プログラム（予定）

招待講演、パネルディスカッション、一般講演、インタラクティブ発表（ポスター&デモ）

論文応募要項

（詳しくはインタラクシオン'99のホームページ
<http://www.brl.ntt.co.jp/interaction99/>をご覧ください）

対象分野 インタラクティブシステムのデザイン、インタフェースデバイス、音声・マルチモーダル対話インタフェース、マルチユーザインタフェース、ハイパーメディアとビデオインタフェース、福祉インタフェース、情報メディアのデザイン、教育における情報メディア、地域コミュニティにおける情報メディア、コミュニティウェア、言語と情報メディア、アートとしての情報メディア、グループウェア、協調作業支援、ネットワーク環境のユーザインタフェース、エージェント、インターネット、インタフェース評価とデザイン技法

上記のテーマに限定せず、次世代インタラクシオンの方向付けを行う新しい技術、方法等の提案を歓迎します。また、インタラクシオン技術の発展に役立つ、システム構築、メディア情報処理要素技術、実践方法や評価手法などに関する多数の論文の投稿をお待ちしています。

応募方法およびスケジュール

◇一般講演

- (1) 情報処理学会研究会の書式（A4用紙）で8ページ以内の論文（題名、著者名、所属、住所、Tel、Fax、E-mailを記入；図表を含む）を5部提出してください。
- (2) 査読論文の記述を補完するビデオ（VHSフォーマットのみ、一本）の添付も受け付けます（提出は任意です）。
- (3) 採録された論文については、カメラレディ原稿（研究会様式で8ページ）を提出していただきます。
- (4) スケジュール：
論文投稿締切 平成10年10月30日（金）
採否決定通知発送 平成10年12月18日（金）
カメラレディ原稿締切 平成11年1月29日（金）

◇インタラクティブ発表（ポスター+デモ）

- (1) 情報処理学会全国大会の書式（A4用紙）で2ページのアブストラクト（題名、著者名、所属、住所、Tel、Fax、E-mailを記入；図表を含む）を5部提出してください。
- (2) 採録の場合には応募アブストラクトをそのまま論文集に掲載します。インタラクティブ発表では、A1程度のパネル

と机を用意致します。ポスターの掲示およびコンピュータ、ビデオ等によるデモンストレーションが可能です。

(3) スケジュール：

アブストラクト提出締切 平成11年 1月11日 (月)
採否決定通知発送 平成11年 1月22日 (金)

※ビデオプロシーディングス

採録された論文を補足するものとして、ビデオプロシーディングスを制作・発行します。フルペーパー、インタラクティブともに、論文採録決定後にビデオプロシーディングス投稿のご案内をさしあげます。

応募論文は、本シンポジウムプログラム委員会(委員長：間瀬健二/ATR, 副委員長：暦本純一/SONY CSL)で審査し、採否を決定します。なお研究としては未完成であっても、システム構築事例や新しい方向を示唆する提案も採択基準に含めます。また、一般講演の中から最も優秀な論文に対して「ベストペーパー賞」を、インタラクティブ発表の中から最も優秀な発表に対して「ベストインタラクティブ発表賞」をそれぞれ表彰します。

参加費(予定)

会員(含主催・協賛団体)：16,000円 学生：5,000円
非会員：20,000円

*会員および非会員の参加費は、論文集代、ビデオプロシーディングス代、懇親会費を含みます。
*学生の参加費は、論文集代を含みます。

申込/原稿提出/照会先

(社)情報処理学会 シンポジウム係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail:sig@ipsj.or.jp
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534



情報処理学会論文誌
「画像の認識・理解」特集への論文投稿のご案内

論文誌編集委員会

情報処理学会の論文誌において、下記の要領で「画像の認識・理解」をテーマに特集号を企画しております。画像の認識・理解の研究は、2次元画像処理や3次元シーンの理解などの研究に加え、最近では、ビデオ映像の知的編集、視覚を通じた人間の動作・行動理解、複合現実感への利用など、映像メディアに関連する研究も増えていきます。この7月には、この分野の成果を一堂に集めた画像の認識・理解シンポジウムMIRU'98も開かれました。この機に、MIRU'98をはじめ、この分野に関連する当学会の研究会、シンポジウム、ワークショップ、国際会議などで発表された方々、および、これに関連した研究開発者の方々に対して、広く論文を募集いたしますので、奮ってご投稿くださいますようお願いいたします。

なお、今回の論文誌編集には「ゲストエディタ制度」を用い、MIRU'98プログラム委員長をされた池内克史氏をゲストエディタに迎えます。

投稿要領

論文の執筆要領 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内によ

ります。論文投稿規約は「情報処理」本号に掲載されています。

査読手続き 通常の論文誌投稿論文と同一ですが、著者への照会の期間が通常(3ヵ月)よりも短縮される可能性がありますのでご了承下さい。

投稿締切 1998年12月25日(金)

投稿論文には、「画像の認識・理解」特集と朱書して下さい。

特集号予定 1999年8月号

特集号編集委員

編集委員長：池内克史(東大)

編集委員：角所 考(京大)、喜多伸之(電総研)、久野義徳(阪大)、佐藤洋一(東大)、塩原守人(富士通研)、全 炳東(東京商船大)、谷口倫一郎(九大)、中村裕一(筑波大)、長谷川純一(中京大)、美濃導彦(京大)、森島繁生(成蹊大)、安田孝美(名大)、山本和彦(岐阜大)



新しい情報処理学会論文誌：
(研究会論文誌)の編集について

社会の情報化が急速に進展するなか、本学会は情報処理の学術、技術に関わる専門分野から学際分野までの研究・開発・調査を支援する重要な役割を担っています。今日の情報学術、技術の急速な進歩や分野の拡大に対処するため、迅速に新しい分野をカバーする研究会や研究グループ活動の強化、新しい多様な価値観の導入など、本学会に対する期待も急速に変化・拡大しており、速やかな対応が求められています。

このような状況に対応するため、本学会では、新しい論文採録規定の創成に向けてまず論文誌に、メタレビューア制度、ゲストエディタ制度、研究会推薦論文制度というような改革を行ってきました。

さらに、急速に拡大、多様化する各種研究分野での価値ある研究をタイムリーに公表するため、現行の論文誌に加えて、研究・開発・調査の最前線において活動を展開している研究会、研究グループが主体となって複数の新たな論文誌(研究会論文誌)を編集することになりました。詳細については、会誌2月号をご参照ください。

会員の皆様には各研究会論文誌に明記されている研究分野、査読方針などをご参照のうえ、現行の論文誌、または適切な研究会論文誌にご投稿いただくこととなります。会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、現行の論文誌の和名、英名、投稿要領などに変更はありません。

[研究会論文誌の概要]

- (1) 名称は、「情報処理学会論文誌：サブタイトル(Information Processing Society of Japan Transactions on サブタイトル)」とします。
- (2) 研究会論文誌ごとに研究会論文誌編集委員会を設置します。複数の研究会が合同で研究会論文誌編集委員会を構成する場合もあります。
- (3) 研究会論文誌ごとに研究会論文誌編集委員会委員名簿、編集方針(研究分野、論文の形式、査読基準、査読方法、投稿方法など)、具体的な編集方法などを公表します。
- (4) 情報処理学会の会員以外の投稿も認めます。
- (5) 研究会論文誌は著者が用意した原稿から直接写真製版して印刷します。研究会論文誌編集委員会が指定する書式にしたがって原稿を作成してください。

- (6) 掲載された論文の著者は、それらの別刷を100部以上購入しなければなりません。
- (7) 研究会論文誌の購読を希望する場合には、研究会登録申込書により、当該研究会論文誌を編集する研究会論文誌編集委員会の母体研究会にご登録ください。研究会論文誌編集委員会を構成する母体研究会が複数の場合にはその内のいずれかの研究会にご登録ください。
- (8) 掲載された論文は、情報処理学会論文賞の対象となります。論文の著作権は本学会に帰属します。

今回、「情報処理学会論文誌：データベース」が編集されることになりました。編集のあらましは以下の通りです。

なお、この他の研究会論文誌に関しても、体制の整い次第、順次会告に掲載していきます。

■「情報処理学会論文誌：データベース」の編集について

編集責任：データベース研究会論文誌編集委員会
 (委員会構成母体：データベースシステム研究会、
 情報学基礎研究会)

1. 対象とする分野

「情報処理学会論文誌：データベース」は情報の本質や特徴、利用の効果といった基礎的な分野と、情報のデータ化や蓄積およびアクセス方法、各種応用システムの構築といった処理技術に関する分野の論文を専門に扱う論文誌です。例えば、ACM Trans.Information Systems, ACM Trans.Database Systems, IEEE Multimediaで扱う範囲を統合したような分野を想定しており、上記分野に興味をお持ちの会員の皆様に対して、最新の研究論文やサーベイ論文をまとまった形でお届けできることとなります。

この新しい論文誌の創刊は、一連の学会改革の方向に沿ったもので、本論文誌を研究会活動の一環として発行し、これにより、時代に即した新しい価値を創造し、研究会の活性化に資することを目的にしたものです。特に、本論文誌の刊行は、

- (1) データベース、情報検索、情報コンテンツに関する基礎、情報形成・処理・利用の方法を中心とする論文誌の実現
- (2) 研究会等の研究会活動と連動し、研究会活動の活性化を目的とした、会員ニーズ/社会動向に機動的に対応する論文誌の実現
- (3) サーベイ論文、事例・実践論文、作品・デザイン論文などの掲載を通じた、論文誌としての新しい価値の創出を狙いとしております。主なテーマは次の通りです。

□情報の表現、分類、利用

生成・発見、表現・識別、分類・組織化、流通および利用の効果 など

□モデリング・言語

データモデル、データベース設計、構造化言語 など

□情報システム技術

データベース管理システム、動画像検索、コンテンツ流通・管理、webとデータベース統合、検索エンジン など

□高度応用

地理情報システム、空間データベース、電子図書館、科学データベース など

2. 編集方針

- (1) 各号毎に、論文投稿締切、採択結果通知日、論文誌発行日を公開いたします。これにより、論文投稿者の皆様には、論文投稿計画が立て易くなるというメリットをご提供でき

ると考えております。

- ・1号(平成11年1月発行)
投稿締切(9月20日)
1回目査読による採択論文・条件付採録論文通知(10月31日)
条件付採録論文再投稿締切(12月5日)
2回目査読採択論文通知(12月27日)
- ・2号(平成11年4月発行)
投稿締切(12月20日)
1回目査読による採択論文・条件付採録論文通知(1月30日)
条件付採録論文再投稿締切(3月5日)
2回目査読採択論文通知(3月27日)
- ・3号(平成11年7月発行)
投稿締切(3月20日)
1回目査読による採択論文・条件付採録論文通知(4月28日)
条件付採録論文再投稿締切(6月5日)
2回目査読採択論文通知(6月27日)
- ・4号(平成11年10月発行)
投稿締切(6月20日)
1回目査読による採択論文・条件付採録論文通知(7月31日)
条件付採録論文再投稿締切(9月5日)
2回目査読採択論文通知(9月27日)
- (2) 従来の研究報告は継続します。本論文誌に投稿する場合は別途、本編集委員会が定める形式に従って本論文誌用の原稿を作成してください。
- (3) 毎号、「編集にあたって」という巻頭言形式で、共同編集委員長名で、編集の主旨を掲載します。
- (4) 論文形態につきましては、研究論文、サーベイ論文、最新技術の応用事例やソフトウェア・データベースの実装などに係わる「事例・実践論文」、データベースに係わる作品を論文の形式で表現した「作品・デザイン論文」といたします。どの区分とするかは、基本的には著者が指定します。
- (5) 論文はその種類を問わず査読を経て「採録」となったものを掲載いたします。査読結果は、採録、条件付採録、不採録の3種とします。条件付採録の場合には、その条件が満足されるように修正された原稿が指定の期限までに再提出された場合には採録とします。
- (6) 本研究会論文誌と、本研究会の活動との連動につきましては、研究会開催後に、本論文誌の「採録レベル」または「条件付採録レベル」に達していると判断できる論文を、編集委員会側が推薦することとし、「条件付採録」論文として推薦された論文は原則的に1回の査読プロセスで終了させるという方針で査読を行います。
- (7) 本研究会論文誌に投稿された論文に対して、担当編集委員が決定すると、その担当編集委員名は投稿者に開示されます。さらに、投稿論文が採択された場合、論文掲載時に担当編集委員名を明記します。
- (8) 論文の言語は日本語または英語とします。いずれの言語の場合も、要旨は日英両方必要です。論文の長さには、特に制限は設けません。論文のカラー化も積極的に行います。
- (9) 本編集委員会の活動に関して勧告・提言を行うアドバイザー委員会を併設します。この委員会の監視により、本論文誌の客観性や中立性を維持し、常に論文の質の向上をはかる体制の実現を目指します。

3. 査読基準

査読基準につきましては、基幹論文誌編集委員会の「論文査読の手引き」(1998年5月改訂版)に原則的に従ったものとしませんが、以下の視点をより重視することで、本論文誌の狙いを達成します。

- (1) 研究論文

多様化する価値観、および、急激に変化する時代ニーズに即応するため、アイデアに独創性の認められる萌芽的な論文やデータベース技術の新たな応用分野、情報コンテンツに関わる斬新な技術や表現を開拓する論文は、体裁や定量評価不足等の議論に終始することなく、その技術の将来性(社会生活、文化、産業界へのインパクト)を勘案し積極的に採用します。

- (2) サーベイ論文
著者独自の整理・分類・展望がはいた形で書かれたサーベイや解説は、技術アーカイブとして学会や産業界へのインパクトも強く、また、新たな方向性の提示による研究分野のリードの効果も有するため、その価値を積極的に認めて論文として採用します。

- (3) 事例・実践論文
最新技術の応用事例やソフトウェア・データベースの実装などについて述べた論文、特に、最新技術を大規模または実践的システムに適用したことにより得られた知見等を有する論文は、その産業界や社会生活へのインパクトを勘案し論文として採用します。

- (4) 作品・デザイン論文
学会論文誌としての新たな時代の価値観の創造への挑戦として、データベースに係わる作品的なシステムやコンテンツのデザインを論文として表現したものを積極的に採用します。

この種の論文は、情報の概覧(ブラウジング)・探索・検索や情報空間の視覚表現を目的とする作品やデザインを論文として表現したものであり、新規性や有効性の高いものを積極的に採用します。例えば、デジタルライブラリや電子モール等の作品・デザインがこれに該当します。

評価基準については研究会や研究会ホームページ、メーリングリスト等を通じて公開された議論を行い、固めて行く予定です。

4. 投稿手続き

- (1) 論文募集は原則として年4回行う予定です。投稿者は、上記、論文投稿締切に従っていずれかの共同編集委員長宛にご投稿ください。論文投稿者は、投稿に際して、投稿論文の種別(研究論文、サーベイ論文、事例・実践論文、作品・デザイン論文)を明記してください。(ただし、平成10年度は初年度のため、論文募集は2回とします)
- (2) 論文投稿者は、研究会主催のシンポジウムへの論文投稿時に、同一原稿をもって論文誌へ同時に投稿することができます。このとき編集委員会は論文を最寄りの号への投稿として受け付けます。アドバンスト・データベース・シンポジウムや情報学シンポジウムの場合は、第1号に対して投稿されたものとして扱います。
- (3) 採録判定は、全て公開したスケジュールに基づいて行われます。投稿が受け付けられた論文は、担当の編集委員により、投稿論文に対する査読者(通常2名)の決定、査読者への査読依頼、査読結果のメタレビューおよび採否の決定、採否通知まで行われます。
- (4) 採録決定後は、本論文誌の指定する締切日までに、指定されたカメラレディ原稿を提出してください。

5. その他

データベースシステム研究会および情報学基礎研究会の平成10年度の今後の計画は次の通りです。各研究会のホームページと併せてご覧ください。

【データベースシステム研究会(DBS)】
平成10年度計画

12月2・3・4日(予定)

アドバンスト・データベース・シンポジウム'98

平成11年1月中旬

ホームページ：<http://www.ipsj.or.jp/sig/dbs/>

【情報学基礎研究会(FI)】

平成10年度計画

9月17・18日

11月中旬

平成11年1月13・14日 1999年情報学シンポジウム

ホームページ：<http://www.ipsj.or.jp/sig/fi/>

研究会ホームページには、発表会の予定や発表申込に関する情報が含まれています。また、投稿に関する規定類やスタイルファイルなども、ここから取り出すことができます。

6. データベース研究会論文誌編集委員会構成

編集委員長：田中克己(神戸大)、中谷多哉子(Sラグーン)

編集委員：安達 淳(学情センター)、有川正俊(広島市立大)、有澤 博(横浜国立大)、石川 博(富士通研)、小川泰嗣(リコー)、片岡良治(NTT)、加藤和彦(筑波大)、加藤俊一(中央大/電総研)、河野浩之(京大)、清水康(慶大)、黒川恒雄(國學院大)、柴田正啓(NHK)、仲尾由雄(富士通)、中川 優(和歌山大)、中渡瀬秀一(NTT)、藤原 譲(神奈川大)、細野公男(慶大)、宝珍輝尚(福井大)、牧之内顕文(九大)、増永良文(情報大)、村田 真(富士ゼロックス情報システム)、吉川正俊(奈良先端大)、横田一正(岡山県立大)

アドバイザリー委員会：石塚英弘(情報大)、植村俊亮(奈良先端大)、上林弥彦(京大)



書籍

情報処理学会シンポジウム、講習会等 論文集リスト(95, 96, 97, 98年版)

コード名、論文集名、開催年月、値段(消費税、送料込)
[シンポジウム]

S-FI95	★1995情報学	95・1	¥8,000
S-IM95-1	★情報メディア	95・2	¥3,000
S-ARC95	★並列処理'95	95・5	¥5,000
S-AVM-95	★MPEG-4とバーチャルリアリティ オブジェクト符合化	95・7	¥5,000
S-PS95-2	★モバイル&ユービキタスコンピューティング	95・7	¥5,000
S-NL95	★自然言語処理の応用に関するシンポジウム	95・10	¥4,000
S-OS95	★コンピュータ・システム	95・11	¥5,000
S-IM95-2	★情報メディア	95・11	¥5,000
S-DBS95	★アドバンスト・データベースシステム	95・12	¥9,000
S-GW95	★グループウェア'95	95・12	¥5,000
S-FI96	1996情報学	96・1	¥8,000
S-PS96-2	コンピューティングの歴史	96・7	¥5,000
S-ED96	情報処理教育と数理系カリキュラム	96・3	¥5,000
S-ARC96	並列処理'96	96・6	¥5,000

S-DA96	DAシンポジウム '96	96・8	¥5,000
S-IM96	情報メディア	96・9	¥5,000
SE2-96	ソフトウェア開発のためのドメイン分析 モデリング技術	96・9	¥5,000
S-ED96	産業構造の転換と情報処理教育	96・11	¥5,000
S-OS96	コンピュータ・システム	96・11	¥5,000
S-GW96	グループウェア '96	96・11	¥5,000
S-DBS96	アドバンスド・データベースシステム	96・12	¥9,000
MPS2-96	問題発見とモデル化—現場の実例—	96・12	¥4,000
S-PS97	第38回プログラミング・シンポジウム	97・1	¥5,000
S-FI97	1997情報学	97・1	¥8,000
S-DSM97	分散システム運用技術シンポジウム '97	97・2	¥5,000
S-ARC97	並列処理 '97	97・5	¥5,000
DiCoMo	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DiCoMo) ワークショップ	97・7	¥10,000
DA97	DAシンポジウム '97	97・7	¥5,000
S-AVM97	次世代ボーダレスメディア '97シンポジウム	97・7	¥10,000
S-HPCS97	ハイパフォーマンスコンピューティング・ シンポジウム	97・8	¥1,000
S-MBL97	モバイルコンピューティング '97シンポジウム	97・9	¥3,000
S-OS97	コンピュータシステムシンポジウム	97・11	¥5,000
S-IM97	情報メディアシンポジウム '97	97・12	¥5,000
S-MPS97	人工生命とその応用シンポジウム	97・12	¥4,000
S-DBS97	アドバンスド・データベース・シンポジウム '97	97・12	¥9,000
S-IS98	利用者指向の情報システム	98・1	¥5,000
S-DD98	デジタル・ドキュメント・シンポジウム	98・1	¥3,000
S-PS98	第39回プログラミング	98・1	¥5,250
S-HI98	インタラクション'98シンポジウム (本)	98・3	¥5,000
(S-HI98)	★インタラクション'98シンポジウム (ビデオ)	98・3	¥3,000
S-MPS98	アルゴリズム特許の現状とその問題点シンポジウム	98・3	¥4,000
S-ARC98	並列処理'98	98・6	¥5,000
S-DSM98	分散システム運用技術シンポジウム'98	98・2	¥5,000
[講習会]			
Z52	第52回全国大会シンポジウム・ インダストリアルセッション	95・3	¥2,500
W-SE95	★サマーワークショップ・イン・立山	95・7	¥3,000
W-DPS95	★マルチメディア通信と分散処理 ワークショップ	95・10	¥3,000
T-IS95	★企業活動の電子化の最新動向チュートリアル	95・11	¥4,000
W-DPS96	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	96・10	¥5,000

申込方法 「書籍申込書」(学会誌/奇数号会告掲載)の書式により, Fax, 郵便, E-mail, または学会ホームページ

を利用してお申し込みください。なお, 書籍名には上記コード名を必ずお書きください。

★在庫5冊以内です。

*月刊誌(「情報処理」「情報処理学会論文誌」の平成6年度(Vol.35)より), 学会誌別冊, 全国大会(平成7年, 第51回より), 連続セミナー, 連合大会(平成9年)のバックナンバーもあります。

照会/申込先 社団法人 情報処理学会 図書係

E-mail:tosh@ipsj.or.jp

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

http://www.ipsj.or.jp/tosh.html



支部だより

情報処理学会支部連絡先

北海道支部: 北海道大学工学部情報工学科内

〒060-0813 北海道札幌市北区北13条西8丁目

E-mail:saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819

Fax(011)706-6819

東北支部: 東北大学大学院情報科学研究科内

〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉05

E-mail:hanyu@kameyama.ecei.tohoku.ac.jp

Tel(022)217-7153 (直通) Fax(022)263-9401 (直通)

東海支部: NTT DATA東銀ビル NTTデータ通信(株)東海支社内

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-17-21

E-mail:t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517

Fax(052)204-4521

北陸支部: 金沢工業大学内

〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1

E-mail:abe@infor.kanazawa-it.ac.jp Tel(076)294-6708

Fax(076)294-6709

関西支部: (財)関西情報センター内

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F

Tel(06)346-2543 Fax(06)346-2443

中国支部: NTTコミュニケーションウェア(株)中国支社事業推進担当内

〒733-8645 広島県広島市西区商工センター2-6-1

E-mail:kamura@chugoku.nttcom.co.jp Tel(082)276-8702

Fax(082)501-0472

四国支部: 高知工科大学情報システム工学科内

〒782-8502 高知県香美郡土佐山田町宮ノ口185

E-mail:iwata@info.kochi-tech.ac.jp Tel(08875)7-2217

Fax(08875)7-2220

九州支部: NTT DATA博多駅前ビル NTTデータ通信(株)九州支社総務担当内

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21

E-mail:arigam@kyr.nttdata.co.jp Tel(092)475-5123

Fax(092)475-5185

*各支部の最新情報は<http://www.ipsj.or.jp>からリンクしています。

関西支部 講演会「仮想現実画像の医療応用および病院情報システムの現状と将来展望」

日時 平成10年9月16日(水) 14:00~18:00(予定)

会場 大阪大学 医学部

[(A)千里中央(北大阪急行終点)から阪大本部前行バス:

医学部病院前下車。(B)阪急北千里から徒歩20分]

集合場所 大阪大学銀杏会館 三和・阪急ホール

*13:50までに集合ください。

講師

○田村教授(バイオメディカル教育研究センター生体情報部門機能画像診断学研究室): 仮想現実, 増強現実技術を用いた股関節, および乳ガン手術支援システムや, オリエンテーション空間による血管等の抽出, MRIの体動補正, 低線量X線画像撮影・処理手法などの画像処理手法について紹介

する。
○武田教授(附属病院医療情報部): 医師による発生源入力
を特徴とする病院情報システムは画像データを含む電子カル
テ、データマイニングなどデータベースからの知識獲得や
遠隔医療へと変貌しつつあり、その状況をデモンストレー
ションする。

参加人数 30名程度
懇親会 大阪大学銀杏会館2F「ミネルバ」 18:00頃～
*懇親会参加希望者は見学会の後に集ってください。
照会先 参加希望者は下記宛にご連絡ください。
E-mail: yanagihara@info.eng.osaka-cu.ac.jp
Tel(06)605-2773 (Fax可)
関西支部ホームページ
http://isw3.aist-nara.ac.jp/IS/Shikano-lab/ipsj/

浅田勝彦 E-mail: asada@fantasy.fuis.fukui-u.ac.jp
Tel(0776)27-8577

○中山隼雄科学技術文化財団「研究助成」募集

本財団では、遊びの視点から科学技術の振興を図り、ゆとりあ
り豊かで活力ある社会の発展への寄与を目的に、「人間と遊び」と
いう視点に立った科学技術に関する研究開発、学会・研究会、国
際交流などに対し、200万円～500万円/1件(総額5300万円)の
助成を行っています。詳細は下記照会先にお問合せください。
応募資格 国内の大学、研究所等の非営利の研究機関に所属す
る研究者、または研究者のグループ
応募締切 平成10年10月15日(木)
照会先 〒108-0072 東京都港区白金2-7-41 白金ハウス503
中山隼雄科学技術文化財団 担当: 米本、横尾
Tel(03)5420-7179 Fax(03)5420-7178
URL-http://www.sega.co.jp/zaidan/

東海支部 平成10年度電気関係学会東海支部連合
大会

日程 平成10年9月21日(月)・22日(火)
会場 三重大学(津市上浜町1515)
主催 電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、照
明学会、映像情報メディア学会、日本音響学会 各東海支
部、電気設備学会 中部支部

特別講演 9月21日(月)16:00～17:30 三重大学大講堂
「御装束神宝の式年遷宮における技術伝承について」

采野武朗(神宮司庁)

シンポジウム

- S1. 「超高压絶縁システムの最近の諸問題」 澤 五郎(三重大)
S2. 「放電研究の現状と新しい展開～新放電ハンドブック出版
記念～」 松村年郎(名大)
S3. 「高密度記録と符号理論」 鎌部 浩(岐阜大)
S4. 「21世紀における移動体通信システムの開発現状と将来動
向」 小林英雄(三重大)
S5. 「インターネット/イントラネットにおける知能ソフトウ
ェアとその応用」 新谷虎松(名工大)
S6. 「ヒューマンインタフェースの基盤技術」

木村文隆(三重大)

懇親会 21日18:00～19:30 三重大学三翠小ホール
参加希望者は、当日大会受付で参加費を添えて申込むこと。
参加費 一般:4,000円、学生:2,000円

照会先 電気関係学会東海支部連合大会事務局
〒464-8603 名古屋市中種区不老町 名古屋大学工学部
電気系教室内 電気学会東海支部 Tel(052)789-2792

北陸支部 講演会

日時 平成10年9月22日(火)15:00～17:00
会場 福井大学地域共同研究センター研修室
演題 最近の画像処理の動向

～産業応用からヒューマン・インタフェースへ～

講師 大阪大学 産業科学研究所 北橋忠宏教授

参加費 無料(参加資格は問いません)

照会先

○〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1

金沢工業大学人間情報経営系内

情報処理学会北陸支部事務局

Tel(076)294-6708(担当:阿部)

○〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学工学部情報工学科



会議案内(協賛・後援)

◆: 本会協賛・後援 1. 開催日 2. 会場 3. 照会先 4. その他

【国内会議】

◆平成10年度秋季生涯教育講座

1. 平成10年9月26日(土)～12月5日(土)(毎土曜)
2. 機械振興会館(都内港区)
3. (社)電子情報通信学会 Tel(03)3433-6691 Fax3433-6659
E-mail:office@ieice.or.jp

◆カラーフォーラムJAPAN'98

1. 平成10年11月10日(火)～12日(木)
2. 工学院大(都内新宿区)
3. 事務局 Tel(03)3433-2543 Fax5403-7216
E-mail:ren.associates@ma3.justnet.ne.jp

◆セミナー「システム設計におけるユーザビリティとその評価」

1. 平成10年11月17日(火)～18日(水)
2. 住友電設大阪本社(大阪市西区)、東京本社(都内港区)
3. システム制御情報学会 Tel(075)751-6413 Fax751-6037
http://www.iscie.or.jp

◆マイクロエレクトロニクス研究開発機構10周年記念講演会

1. 平成10年11月20日(金) 2. 京王プラザホテル(都内新宿区)
3. 事務局(電機大内) Tel, Fax(03)5280-3307
E-mail:micro@cck.dendai.ac.jp
http://www.tlab.e.dendai.ac.jp/~Micro/micro_1.htm

◆第13回流体制御シンポジウム

1. 平成10年12月3日(木)～4日(金) 2. 埼玉大(浦和市)
3. (社)計測自動制御学会 Tel(03)3814-4121 Fax3814-4699

◆第15回誘導制御シンポジウム

1. 平成10年12月3日(木)～4日(金)
2. 国立教育会館(都内千代田区)
3. (社)計測自動制御学会 Tel(03)3814-4121 Fax3814-4699

【国際会議】

◆Content Creation+NICOGRAPH98

1. 1998年11月25日(水)～27日(金) 2. 幕張メッセ(千葉市)
3. 柴(日経新聞社内) Tel(03)5255-2847 Fax5255-2860

◆The 1st International Workshop on Active Networks
(IWAN99)

1. 1999年5月24日(月)～26日(水) 2. ドイツ ベルリン
3. E-mail:iwan99@fokus.gmd.de
http://www.fokus.gmd.de/ima/iwan99/

1999 IEEE International Conference on Systems, Man and
Cybernetics

1. 1999年10月12日(火)～15日(金) 2. 東京
3. 事務局 Tel(03)3479-6004 Fax3423-1600
E-mail:secret-2@tokyo.intergroup.co.jp
http://www.intergroup.co.jp/smc99/

「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」または「DF・ジョウシヨカイヒ」と印字されます。

2. 郵便局

(1) お近くの郵便局に通帳、印鑑をご持参いただき郵便局備付けの「自動振込利用申込書」に必要事項（下記参照）をご記入のうえ窓口へ提出してください。

(2) 必要事項

- ・振込先口座番号：00150-4-83484
- ・振込先加入者名：社団法人 情報処理学会
- ・振込開始月：3月または7月
- ・払込日：27日
- ・払込金の種類：会費 33
- ・料金等支払人：会員の住所、氏名、電話番号
(口座名義人と同一の場合省略可)
- ・備考：会員番号

(3) 通帳への記載事項

「会費 ジョウシヨガツカイ」と印字されます。

*口座変更や口座自動振替中止の場合はすみやかに、下記照会先までご連絡ください。なお、口座変更は新規登録と同様の手続きとなります。

●会員登録データの変更連絡について

4月以降、送付先不明等での機関誌返戻者が増えています。会員登録データ（含む機関誌等送付先）に変更が生じた場合には「変更連絡届」（偶数月号会告、ホームページ各種申込書）で変更内容をご連絡ください（E-mail, Fax可）。

機関誌、事務局発送物等が転居先不明、転送期間経過等の理由で事務局に返送された場合には、既登録会員データによりお問い合わせしておりますが、連絡がとれずに返戻、滞納、除名扱いになってしまう場合がございます。お近くに最近機関誌等が届かないという方がおられましたら早急に下記照会先までご連絡くださいますようお願いください。また、会員の皆様へのお問合せ等は、主にE-mailを利用することが多くなりましたので、連絡先E-mailアドレスの登録にご協力ください。

なお、会員資格は自動継続になっております。退会を希望される会員の方はその旨を上記用紙にご記入いただきご連絡ください（E-mail, Fax可）。事務局へのご連絡の際には必ず会員番号と氏名を明記願います。変更受付は毎月20日に締切、翌月号から変更いたします。

また、一括扱いから個人扱いへご変更された方は、今後の郵送物はすべて個人宛に送付されますのでご注意ください。

●銀行送金のご利用について

本会への会費、購読費、参加費等のご送金を銀行でされます場合には、別途送金詳細（金融機関、内訳、金額、送金日など）を事務局にご連絡ください（E-mail, Fax可）。入金処理を迅速かつ正確に行うためにも会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●申込/照会先 (社) 情報処理学会 会員係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail: mem@ipsj.or.jp
Tel (03) 5484-3535 Fax (03) 5484-3534

寄贈図書一覧

- (98-47) マーチン・ファウラー (著), 堀内 一 (監訳), 児玉公信, 友野晶夫 (訳) : “アナリシスパターン”, 360p, アジソン・ウェスレイ・パブリッシャーズ・ジャパン (株), (1998-6) : 4,500円+税
- (98-48) チャールズ・カルバート (著), 郡司芳昭 (訳), 三田典玄 (監訳) : “C++Builderプログラミング技法 Vol.2”, 569p, (株) プレティスホール出版, (1998-6) : 5,400円+税
- (98-49) 赤羽豊和 (著) : “クライアント/サーバ・システムのテスト技法”, 291p, (株) ソフト・リサーチ・センター, (1998-6) : 3,400円+税
- (98-50) H・M・ダイテル, P・J・ダイテル (著), 小嶋隆一 (訳) : “C++プログラミング [第2版]”, 214p, (株) プレティスホール出版, (1998-6) : 2,000円+税
- (98-51) 石井 孝 (監訳), 仲谷 元 (編著) : “3層クライアント/サーバ設計技法”, 160p, 共立出版 (株), (1998-6) : 3,000円+税

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書評 過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格 原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き 原稿は、本会所定の原稿用紙か、ワープロ等を用いる場合はA4判の用紙に24×90行の字詰めで書いて、応募先へてにお送りください（電子メールの場合も同じ字詰め）。
 - 1) 表題 一書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
 - 2) 評者名 (会議レポートの場合は筆名) ・所属・評者連絡先 (住所、E-mail, Faxなど) の記載を忘れずに。
 - 3) 本文 一書評、会議レポートとも2100字前後で書く。
 - 4) (必要であれば) 参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「情報処理学会機関誌原稿執筆案内」(1998年7月号会告掲載)を参照してください。
4. 原稿の取扱い 投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。
5. 照会/応募先 原稿用紙の購入先、原稿の送付先、および照会先は次のとおりです。
(社) 情報処理学会 会誌編集係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
E-mail: editj@ipsj.or.jp
Tel (03) 5484-3535 Fax (03) 5484-3534

第432回理事会

日時 平成10年6月25日(水) 17:30~20:20
会場 情報処理学会 会議室
出席者 戸田会長, 堀越, 松下各副会長, 片岡, 坂井, 阪田,
鈴木, 東田, 水野, 宮原, 富田, 西尾, 吉澤, 大河内,
釜江, 宮西, 江原, 大森各理事
(委任状による出席) 河田理事, 林, 増永各監事
(欠席) 鮫重理事
(事務局) 柳川事務局長ほか4名

議題

1. 承認事項

- 承-1 平成10年6月22日(現在)の会員数の現況
正会員 25,977(名)
学生会員 1,255 } 27,237(名)
海外会員 5
賛助会員 424(社) 555(口)
- 承-2 4月/5月分一般会計収支状況(総務)
承-3 国内会議協賛・後援等依頼
承-4 「オブジェクト指向最前線情報処理学会O'98シンポジウム」(仮題)出版提案書(出版・電子化)
シンポジウム等の開催願い(5件)
承-6 情報規格調査委員会委員の変更
承-7 国際会議協賛・後援等依頼(国際)
承-8 企画検討会規程(案)(総務)

2. 審議事項

- 審-1 平成10年度活動方針(総務)
審-2 国際会議開催申請(国際)

3. 報告事項

- 総-1 平成10年5月期開催会議
総-2 広告受付進捗状況
総-3 平成10年度第1回支部長会議の開催について
機-1 第9回会誌編集委員会議事録(抜粋)
機-2 第230回論文誌編集委員会議事録(抜粋)
事-1 「連続セミナー'98」申込状況
事-2 第57回全国大会プログラム概要
事-3 平成10年電気・情報関連学会連合大会委員会(第3回)議事録
出-1 電気系6学会共通ホームページWG委員会
調-1 第14回調査研究運営委員会議事録抜粋
規-1 第129回規格役員会議事録抜粋
国-1 IFIP-GA議題の日本の提案
国-2 インターネットに関する国際学会新設の件
国-3 Web SiteについてのACMからのメール
他-1 情報規格調査会の活動
他-2 日本学術会議情報工学研究連絡委員会の報告

- ◇小熊 寿, 海江田 章裕, 森本 浩通, 田村 友彦, 鈴木 貢, 中山 泰一: SMP型計算機を活用する軽量プロセス・ライブラリ (97.10.31)
◇岩切 宗利, 松井 甲子雄: 共役構造代数符号励振線形予測による音声符号へのテキスト情報の埋込み (97.11.4)
◇宮崎 正路, 深町 修一, 竹田 正幸, 篠原 武: 圧縮テキストに対するパターン照合機械の高速化 (97.11.5)
◇森田 和宏, 望月 久稔, 山川 善弘, 青江 順一: トライ構造を用いた共起情報の効率検索アルゴリズム (97.11.13)
◇柏野 和佳子, 本多 啓: IPAL 名詞辞書における多義構造の記述 (97.11.14)
◇萩川 友宏, 添野 元秀, 山下 義行, 中田 育男: スライドウィンドウを考慮したレジスタ割付 (97.11.19)
◇岩切 宗利, 松井 甲子雄: スペクトル拡散と変形離散コサイン変換による高品質デジタル音声のための電子透かし法 (98.1.5)
◇吉本 富士市, 森山 真光: スプライン関数を用いたデータあてはめ一連伝的アルゴリズムによる節点の自動的な決定 (98.1.8)
◇麻生川 稔: ホップフィールド型ニューラルネットワークを用いたタンパク質 β シート予測 (98.1.16)
◇佐藤 ひろし: 情報教育における打鍵技術教授のある試み(98.3.30)



新規入会者

平成10年7月の理事会で入会を承認された方々は次のとおりです(会員番号, 敬称略)。

【正会員】 青山 茂義, 足立 隆弘, 足立 貴行, 井口 裕夫, 石川 仁, 石崎 利巳, 岩田 紘一良, 岩田 真琴, 浦野 明裕, 江川 治朗, 小澤 賢司, 小野 孝男, 榎林 繁之, 粕川 雄也, 粕谷 正明, 上條 昇, 上谷 強輔, 川上 弘昭, 亀田 通, 小谷 健, 後藤 隆, 小柳 光正, 佐藤 洋一, 穴戸 千絵, 島田 英之, 清水 崇弘, 新谷 康之, 杉山 友英, 瀧口 樹良, 田口 篤, 森内万知夫, 谷村 好彦, 田中 裕, 夏谷 実, 西村 憲治, 橋爪 泰夫, 廣部 衣美, 平野砂峰旅, 細野 繁, 松居 寛, 松本雄一郎, 宮下 晴輝, 横田 敏明, 吉長 裕司, 李 相春, 若山 公威, 渡辺 一弥, 渡辺 智, 渡辺 正, 渡邊 雅英, 渡邊 義明, 本田 和幸, 日比野欣也, 大西 淳, 吉川 厚, 八尾里絵子, シン 玉進, 田口 篤範, 辻 秀之, 古戸 健, 町田 正照, 山本 義郎, 河村 謙治, 坂巻 資浩, 太田 英紀, 岡本 進, 川上 憲治, 田巻 明, 中川 重和, 馬越 英尚, 宝崎 隆祐, 三上 範賢, 武田 英明, 吉田 陽一, 小金丸兼明, 寺川佳代子, 松井 淳一, 柴田みゆき, 田中 岩沢 透。(以上80名)

【学生会員】 浅井 浩司, 石倉 正人, 泉 信人, 伊藤 大介, 板橋 信昭, 稲垣 裕伸, 井上 公人, 岩村 拓哉, 鶴飼 規子, 宇治 務, 梅田 賢司, 浦野 雅弘, 海老名 拓, 大滝 真也, 及川 典泰, 大野 徹雄, 大橋 一範, 大平 峰子, 岡崎 正紀, 小鹿 明德, 小野 尚人, 賀澤 一朗, 片山 恭介, 加藤 秋久, 加藤 彰良, 片川 健一, 金久保正明, 金山 智一, 金子 郁夫, 浦原 諫司, 河田 義人, 北洞 大資, 北村 純子, 北村 嘉彦, 木股 洋, 久保田吉彦, 小池 竜也, 古崎 晃司, 越川 康則, 近藤 大輔, 齋藤 敏樹, 齋藤真希子, 阪口 仁史, 櫻井 敦史, 匂坂 智子, 佐々木貴弘, 崎山 直樹, 佐藤 孝昭, 島崎 要爾, 下岡 健一, 朱 木蘭, 白井 賢司, 菅田 裕紀, 杉本香代子, 杉本 朋成, 鈴木 一茂, 関野 雅弘, 高野 一樹, 高橋 正道, 高橋 裕, 高林 裕一, 竹島 直樹, 武田 一真, 谷内 謙一, 段 一為, 都築 祐介, 鶴岡 慶雅, 土井 紀枝, 土井 雅貴, 戸島 康之, 富永 孝, 鳥居 澄世, 長井 歩, 仲田 晋, 仲川こころ, 中川 智規, 永川 成基, 西堀 良久, 玄 明玉, 秤谷 雅史, 長谷川泰史, 八尾 康一, 花澤 健二, 馬場奈津美, 浜 聖一, 平尾 智也, 福田 茂紀, 堀田 高広, 本田 直也, 星倉 勇輝, 松岡 孝, 丸山 浩司, 星野 博一, 三浦 康之, 水口 弘紀, 水原 隆道, 関 天基, 森 慎太郎, 矢崎 友久, 山下 真史, 山田 泰資, 横山 大作, 横山 友崇, 米田 涉, 米村 知美, 李 佳, 力武 真吾, 鷺尾 論, 渡瀬慎一郎, 大場 信乃, 児玉 昭洋, 佐藤 貴之, 清野 貴博, 細川 英, 小山 和広, 古畑 理香, 小林 紀之, 一澤 英樹, 原野谷欣正, 河野 貴憲, 北山 聡, 大森 貴博, 小山 誠, 奥村 穂高, 千田 裕司, 藤本竜之介, 大崎 竜太, 伊名岡健太郎, モハマド リザル ビン サレー。(以上129名)



採録論文

情報処理学会論文誌

- 平成10年7月の論文誌編集委員会で採録された論文は次のとおりです(カッコ内は受付年月日)。
◇加藤 直人, 森元 逞: 統計的手法による局所的対話モデルと談話セグメンテーションへの応用 (97.4.23)
◇堀 敦史, 手塚 宏史, 石川 裕: ネットワークプリエンブションによるギャングスケジューリングの実現 (97.4.25)
◇金子 勇, 島山 正行: プロトタイプベースオブジェクトファイルシステム (97.6.25)
◇加藤 聰彦, 佐藤 友実, 鈴木 健二: 共有メモリ型マルチプロセスを対象としたレイヤ単位の並列処理による通信プロトコルの実装方式 (97.8.21)
◇天野 憲樹, 渡部 卓雄: LEAD: 動的適応可能なソフトウェアを構成する言語の設計と実装 (97.8.26)
◇畑田 稔, 野里 真喜子, 遠藤 裕英: WWWベースの高速データ検索システム (97.8.26)
◇緑川 章一, 友田 俊章, 堀端 孝俊, 村岡 光男: 連続する値が禁止された占有問題の漸化式 (97.9.16)
◇安本 太一, 湯浅 太一: 複数の最上位環境をサポートするLispモジュール機能 (97.10.2)

平成10年度各種委員会の委員名簿

本年度の研究会、委員会の委員は次のとおりです。(査読委員は3月号に掲載されていますので省きます。)

◎委員長・主査, ●副委員長・財務委員, ○幹事,
△担当理事, ※専門委員

1. 理事会

会長 戸田 巖
副会長 堀越 彌 松下 温
監事 林 弘 増永 良文
先任理事 片岡 雅憲 劔重 壽和 坂井 邦夫
阪田 史郎 鈴木 健二 東田 正信
水野 忠則 宮原 秀夫
後任理事 江原 暉将 大河内正明 大蒔 和仁
釜江 尚彦 河田 亨 富田 眞治
西尾章治郎 宮西洋太郎 吉澤 康文
支部長 藤原 祥隆(北海道), 樋口 龍雄(東北)
内川 嘉樹(東海), 服部 進実(北陸)
堂下 修司(関西), 佐々木博司(中国)
坂本 明雄(四国), 河口 英二(九州)

2. 会誌編集委員会

◎石田 晴久 △鈴木 健二 △江原 暉将
青山 幹雄 飯塚 浩司 上林 弥彦 小池 秀幸
塚本 享治 中野 幹生 市川 哲彦 片山 泰尚
浦谷 則好 笠野 章 中野 恵一 萩原 洋一

2.1 専門委員会

(基礎・理論分野)

◎中野 幹生 ●中村 篤祥 阿久津達也 麻生川 稔
伊藤 誠 稲吉 宏明 鶴飼 正人 遠藤 靖典
小柴 健史 白柳 潔 鈴木 克志 住田 一男
相馬 隆郎 高野 明彦 中村 裕一 那須川 哲哉
藤瀬 哲朗 藤田 聡 堀内 靖雄 山崎 浩一
山本 和英

(ソフトウェア分野)

◎市川 哲彦 ●加藤 光機 和泉 秀幸 岩崎 正明
岡本 秀輔 唐島めぐみ 田中 秀樹 千葉 滋
富浦 洋一 中本 幸一 西山 智 浜田 雅樹
深谷 哲司 宝珍 輝尚 緑川 博子 森 健
森本 康彦 和田 英彦

(ハードウェア分野)

◎片山 泰尚 ●小室 浩 東 辰輔 川村 善久
工藤 知宏 児玉 祐悦 清水 尚彦 末吉 敏則
関田 大吾 高田 広章 田宮 豊 花田 恵太郎
松岡 浩司 森川 直人 山岡めぐみ 湯川 高志

(アプリケーション分野)

◎浦谷 則好 ●辻 洋 相澤 彰子 安達 統衛
厚川 美和 石井 裕 小田 利彦 勝本 道哲
河原 正治 木幡 稔 椎尾 一郎 鈴木 卓治
鈴木 雅実 田中 一男 寺野 隆雄 仲谷 善雄
林 良彦 増田 健 宮田 一乘 横塚 志行

(実務分野)

◎笠野 章 ●高木 成彦 青沼 充 赤坂 幸彦
浅井 俊克 穴南 武志 石丸 知之 圓丸 哲朗
小寺 誠 篠原 健 高野みさ子 竹井 和昭
中尾 健治 村山 聡 湯浅 敬 吉光 宏

(書評・ニュース分野)

◎中野 恵一 ●塚田 恭章 秋葉 友良 梅木 秀雄
大喜多秀紀 大久保隆夫 太田 昌克 黄瀬 浩一
酒井 義文 杉山 敬三 田島 玲 田中 淳裕
田村 恭久 難波 康晴 山本 幹雄 吉田 明正

吉田 仙

(コミュニケーション分野)

◎萩原 洋一 ●中川 晋一 岩田 修 岡本 栄司
重野 寛 豊田 学 中村 達 長谷川 亨
松浦 宣彦

3. 論文誌編集委員会

◎宮原 秀夫 ●富田 眞治
(基礎)

◎森下 真一 ○西野 哲朗 浅野 孝夫 伊庭 斉志
大沢 英一 亀山 幸義 佐藤 周行 篠原 歩
土谷 隆 中川 裕志 野寺 隆 長谷川秀彦
眞鍋 義文 元吉 文男

(ソフトウェア)

◎谷口 秀夫 ○木下 俊之 阿草 清滋 鱒坂 恒夫
飯島 正 井上 潮 甲斐 宗徳 加藤 和彦
金田 康正 木下 哲男 佐藤 文明 関 俊文
多田 好克 田村 直良 田村 恭久 塚本 昌彦
橋本 正明 東野 輝夫 深海 悟 福田 晃
横田 一正 米田 友洋

(ハードウェア)

◎中島 克人 ○坂井 修一 小栗 清 小池 汎平
酒井 浩 渋谷 進 庄内 亨 白川 洋充
末吉 敏則 妹尾 義樹 曾和 将容 中島 浩
中村 宏 成瀬 正 本多 弘樹 増田 英司
松永 裕介 村上 和彰 森 眞一郎 山名 早人

(応用)

◎安田 孝美 ○柴田 義孝 有澤 博 井手口 哲夫
岡田 謙一 片寄 晴弘 北橋 忠宏 久野 義徳
桑名 栄二 榭原 康文 菅野 政孝 高木 利久
程 子学 中川 聖一 林 幸雄 速水 治夫
桧垣 博章 平川 秀樹 藤代 一成 星 徹
宮下 和雄 村山 優子 山田 敬嗣 渡辺 豊英

(欧文アドバイザー)

M.J.McDonald F.M.Kish

4. 出版委員会

◎松下 温 ●阪田 史郎 大蒔 和仁

4.1 英文図書委員会

◎齊藤 忠夫 ●阪田 史郎 ●大蒔 和仁 ○近山 隆
奥乃 博 喜連川 優 篠原 歩 滝沢 誠
坂東 忠秋 藤田 友之 松下 温 吉田 裕之

5. 電子化専門委員会

◎堀越 彌 ●阪田 史郎 ○大蒔 和仁 安達 淳
片岡 雅憲 河田 亨 鈴木 健二 塚本 享治
富田 眞治 東田 正信 宮原 秀夫

6. 調査研究運営委員会

◎安西祐一郎 △西尾章治郎 △水野 忠則 △吉澤 康文
加藤 和彦 菅野 政孝 勅使河原可海 富田 眞治
西田 豊明 萩谷 昌己 平田 圭二 松岡 聡
松山 隆司 安村 通晃

6.1 コンピュータサイエンス領域委員会 (CS)

◎安村 通晃 ●萩谷 昌己 △水野 忠則 今井 正治
上田 和紀 加藤 直樹 佐藤 三久 田中 克己
玉井 哲雄 徳田 英幸 中島 浩 中森眞理雄

6.1.1 データベースシステム研究連絡会 (DBS)

◎田中 克己 ○赤間 浩樹 ○有川 正俊 ○河野 浩之
○原嶋 秀次 天野 浩文 石川 徹也 石川 博
石光 輝信 磯部 成二 上島 紳一 大蒔 和仁

大本 英徹 金子 邦彦 北川 博之 木谷 強
 清水 康 窪野 哲光 芥子 育雄 塩谷 勇
 嶋田 茂 関根 徹 高倉 弘喜 田島 敬史
 塚本 昌彦 遠山 元道 波内 みさ 西山 智
 根本 利弘 原山 リリアン 福田 剛志 古瀬 一隆
 寶珍 輝尚 丸山 尚之 宮部 義幸 森田 幸伯
 山谷 茂 行成 敦 横田 治夫 吉川 正俊

6.1.2 ソフトウェア工学研究連絡会 (SE)

◎玉井 哲雄 ○上原 三八 ○岸 知二 ○佐伯 元司
 青山 幹雄 赤間 清 阿部 昭博 荒木啓二郎
 飯田 元 磯田 定宏 上田 佳寛 大須賀昭彦
 大西 淳 落水浩一郎 北山 文彦 楠本 真二
 権藤 克彦 沢田 篤史 島 健一 鈴木 正人
 田中 哲雄 田中 幹夫 田村 直樹 田村 恭久
 中所 武司 津田 道夫 豊川 譲治 永田 守男
 根岸 雅子 深澤 良彰 深海 悟 古川 善吾
 蓬萊 尚幸 松尾谷 徹 宮尾 淳一 森澤 好臣
 山田 茂 山田 宏之 山本晋一郎 山本里枝子

6.1.3 計算機アーキテクチャ研究連絡会 (ARC)

◎中島 浩 ○児玉 祐悦 ○中田登志之 ○宮田 裕行
 相原 玲二 安藤 秀樹 市川 周一 井上 倫夫
 岩田 誠 上田 和紀 岡本 一晃 小野寺秀俊
 笠原 博徳 金井 達徳 北井 克佳 木村 康則
 清原 督三 久我 守弘 日下部 茂 工藤 知宏
 小池 汎平 小林 広明 佐々木 徹 佐野 雅彦
 清水 茂則 高井 昌彰 中條 拓伯 中野美由紀
 中村 宏 長沼 次郎 直樹 平田 博章
 弘中 哲夫 朴 泰祐 松岡 浩司 森 眞一郎
 山名 早人 横田 治夫 吉永 努 和宇慶 康

6.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究連絡会 (OS)

◎徳田 英幸 ○石川 裕 ○柴山 茂樹 ○並木美太郎
 猪原 茂和 岩崎 裕江 梅村 恭司 大久保英嗣
 大津山公平 大野 浩之 大橋 勝之 岡村 英明
 岡本 利夫 緒方 正暢 木下 俊之 清木 康
 新城 靖 高田 広章 高野 陽介 高橋 直久
 多田 好克 谷口 秀夫 中島 達夫 二瓶 勝敏
 早川 栄一 樋地 正浩 福田 晃 藤井 茂樹
 益田 隆司 光澤 敦 山内 長承 和田 英彦

6.1.5 設計自動化研究連絡会 (DA)

◎今井 正治 ○寺井 正幸 ○中田 恒夫 ○若林 真一
 井口 幸洋 池田 誠 石塚 昭夫 伊藤 和人
 伊藤 則之 小川 泰 小栗 清 小野寺秀俊
 梶原 誠司 川村 弘哉 木村 廣隆 小澤 時典
 後藤 謙治 下野 武志 瀧 和男 築山 修治
 中村 行宏 灘岡 満 林 照峯 原田 育生
 氷治 義弘 福井 正博 藤本 徹哉 安浦 寛人
 柳澤 政生 山田 正昭 湯山 恭史 吉田 憲司

6.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究連絡会 (HPC)

◎佐藤 三久 ○須田 礼仁 ○妹尾 義樹 ○朴 泰祐
 安里 彰 今井 仁司 岩澤 京子 梅谷 征雄
 太田 寛 太田 昌孝 岡部 寿男 川端 裕一
 久保田光一 佐藤 周行 寒川 光 高井 昌彰
 武井 利文 建部 修見 長嶋 雲兵 南里 豪志
 西田 晃 野寺 隆 長谷川秀彦 姫野龍太郎
 弘中 哲夫 松沢 照男 村上 和彰 横川三津夫

6.1.7 プログラミング研究連絡会 (PRO)

◎上田 和紀 ○天海 良治 ○石畑 清 ○伊知地 宏
 一杉 裕志 伊藤 貴康 岩崎 英哉 内平 直志
 小川 貴英 小川 瑞史 小野寺民也 加藤 和彦
 鴨 浩靖 久野 靖 柴山 悦哉 館村 純一
 寺島 元章 寺田 実 富樫 敦 中西 正和
 西崎 真也 萩谷 昌己 本多 弘樹 松岡 聡
 松永 均 村上 昌己 安井 裕 八杉 昌宏
 湯浅 太一 渡辺 慎哉 渡部 卓雄

6.1.8 アルゴリズム研究連絡会 (AL)

◎加藤 直樹 ○田中 圭介 ○玉木 久夫 ○松井 知己
 阿久津達也 浅野 孝夫 浅野 哲夫 伊藤 大雄
 今井 桂子 今井 浩 岩田 覚 枝廣 正人
 金子 美博 小柴 健史 塩浦 昭義 杉本 晃宏
 鈴木 均 関川 浩 田村 明久 陳 慰
 徳山 豪 中野 眞一 永持 仁 萩原 兼一
 半田 恵一 平石 邦彦 藤戸 敏弘 増澤 利光
 柳澤 政生 山岸 篤弘 山下 雅史 山本 雅人
 渡辺 治

6.1.9 数理モデル化と問題解決研究連絡会 (MPS)

◎中森眞理雄 ○白石 洋一 ○城 和貴 ○古瀬 慶博
 秋山 泰 岡本 吉晴 川田 重夫 小林 和朝
 島田 孝徳 鈴木 敦夫 鈴木 誠道 鈴木 久敏
 仙石 正和 滝根 哲哉 伊達 博 富田 悦次
 中西 恒夫 西関 隆夫 野呂 正行 福村 聡
 水谷 博之 味園 真司 森戸 晋 矢島 敬二
 山口 敦子 吉田 裕亮

6.2 情報環境領域委員会 (IE)

◎勅使河原可海 ●菅野 政孝 △吉澤 康文 安達 淳
 一之瀬 進 岡田 謙一 上林 憲行 木本 晴夫
 黒川 恒雄 近藤 邦雄 滝沢 誠 竹林 洋一
 土居 範久 林 英輔 水野 忠則

6.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究連絡会 (DPS)

◎滝沢 誠 ○齋藤 正史 ○玉置 政一 ○東野 輝夫
 伊藤 裕康 岡部 寿男 奥村 薫 音川 英之
 小花 貞夫 勝本 道哲 加藤 徹 門林理恵子
 川合 英俊 川邊 恵久 木原 民雄 楠本 博之
 佐藤 文明 重野 寛 柴田 義孝 白石 智
 菅沼 拓夫 関 清隆 関根 徹 瀬崎 薫
 曾谷 俊男 高橋 泰弘 程 子学 勅使河原可海
 寺内 睦博 中嶋 卓雄 畠中 啓 濱崎 陽一
 檜垣 博章 樋口 昌宏 藤田 茂 藤田 尚徳
 BERNADY APDUHAN 前野 和俊 松野 浩嗣
 宮澤 正幸 村田 正幸 村山 優子 吉川 雅昭

6.2.2 ヒューマンインタフェース研究連絡会 (HI)

◎竹林 洋一 ○中内 靖 ○浜田 洋 ○山本 吉伸
 赤池 英夫 安西祐一郎 安地 亮一 安藤 ハル
 浦野 直樹 大月 一弘 大野 健彦 小川 克彦
 小木 哲朗 小作 浩美 葛岡 英明 神場 知成
 来住 伸子 小池 英樹 河野 恭之 齋藤 真里
 酒井 桂一 澤田 秀之 椎尾 一郎 杉山 雅英
 鈴木 栄幸 竹澤 寿幸 竹村 治雄 武谷 一寿
 田中 匡史 辻野 嘉宏 富岡 豊 土肥 浩
 中小路久美代 布川 博士 野田 晴義 藤田 卓志
 増井 俊之 間瀬 健二 松岡 聡 松本 文隆
 美濃 導彦 森 博彦 森島 繁生 安村 通晃
 山下 樹里 曆本 純一

6.2.3 グラフィクスとCAD研究連絡会 (CG)

◎近藤 邦雄 ○青野 雅樹 ○小堀 研一 ○斎藤 隆文
大野 義夫 大平 昌明 岡田 稔 尾崎 暢
加藤 伸子 金田 和文 斉藤 剛 先田 和弘
鈴木 薫 寺沢 幹雄 土井 章男 長島 健次
平野 徹 茅 暁陽 丸家 誠 三ツ峰秀樹
山戸佐知男 山本 強 吉田 典正 依田 育士
渡辺 範人

6.2.4 情報システム研究連絡会 (IS)

◎黒川 恒雄 ○内木 哲也 ○刀川 真 ○辻 秀一
阿部 昭博 魚住 董 魚田 勝臣 宇陀 則彦
内田 和義 小崎 将昭 尾崎 正和 神田 茂
澤田 芳郎 鈴木 実 遠山 元道 中嶋 聞多
藤本 一男 松永 俊雄 村上 浩司 山本太一朗

6.2.5 情報学基礎研究連絡会 (FI)

◎木本 晴夫 ○上田 修一 ○太田 敏澄 ○大山 敬三
芦野 俊宏 出羽 達也 海野 敏 江口 浩二
岡野 弘行 金田 泰 窪野 哲光 杉本 重雄
高木 徹 田村貴代子 徳永 健伸 仲尾 由雄
中川 裕志 中川 優 中谷多哉子 中渡瀬秀一
野美山 浩 廣田 勇二 福島 俊一 藤原 謙
寶珍 輝尚

6.2.6 情報メディア研究連絡会 (IM)

◎上林 憲行 ○小澤 英昭 ○久保田晃弘 ○広瀬 真
有川 正俊 池田 裕治 伊藤 聡 伊藤 淳子
岩城 修 岡田 義広 岡林みどり 川越 敏司
桐山 孝司 楠 房子 須永 剛司 田中 謙
谷 幹也 垂水 浩幸 富樫 雅文 苦米地英人
中小路久美代 野口 孝文 原田 悦子 日高 妙子
平山 智史 牧村 信之 宮沢 篤 森本 英之
横井 俊夫 吉橋 昭夫 曆本 純一

6.2.7 オーディオビジュアル複合情報処理研究連絡会 (AVM)

◎一之瀬 進 ○児玉 明 ○小谷野 浩 ○松本 修一
相澤 清晴 相田 仁 赤桐 健三 伊藤 隆
今泉 浩幸 上垣 俊二 太田 陸 川嶋 稔夫
川島 正久 木本 伊彦 富永 英義 羽田 亨
浜田 高宏 堀田 裕弘 村上 仁己 安田 浩
吉田 邦夫

6.2.8 グループウェア研究連絡会 (GW)

◎岡田 謙一 ○桑名 栄二 ○星 徹 ○宗森 純
井上 智雄 岡本 敏雄 木下 哲男 清末 悌之
倉島 顕尚 黒須 正明 敷田 幹文 清水 則之
関 良明 田中 二郎 田中 俊昭 垂水 浩幸
塚本 昌彦 寺島 美昭 中小路久美代 野村 恭彦
坂内 祐一 福井 美佳 福留 恵子 本多 祐司
三樹 弘之 三末 和男

6.2.9 分散システム運用技術研究連絡会 (DSM)

◎林 英輔 ○岩原 正吉 ○篠崎 俊春 ○箱崎 勝也
相原 玲二 一井 信吾 大塚 秀治 大野 浩之
笠原 義晃 金澤 正憲 川田 圭一 北 英彦
小太刀富雄 齋藤 梅朗 櫻井 義晴 高井 昌彰
勅使河原可海 中川 郁夫 中村 順一 西野 正行
長谷川明生 長谷川就一 樋地 正浩 福村 和悦
藤崎 智宏 星加 修 松浦 敏雄 渡辺 健次

6.2.10 デジタル・ドキュメント研究連絡会 (DD)

◎安達 淳 ○絹川 博之 ○空閑 茂起 ○福島 敏高
荒井 真人 市山 俊治 大野 邦夫 尾崎 正治

菅沼 明 高橋 善文 田中 一男 納富 一宏
村田 碩 山科 幸久 山本 強

6.2.11 モバイルコンピューティング研究連絡会 (MBL)

◎水野 忠則 ○小橋 喜嗣 ○寺岡 文男 ○渡辺 尚
井手口哲夫 井上 真杉 江口 理 大橋 正良
岡田 謙一 岡本 利夫 釜江 常好 北村 泰一
神田 陽治 小林 弘幸 阪田 史郎 下遠野 享
城田 正樹 砂原 秀樹 多賀登喜雄 田川晋一郎
塚本 昌彦 勅使河原可海 中川 晋一 中島 達夫
中村俊一郎 箱守 聰 福田 晃 本多 祐司
松井 進 望月 純夫 森原 一郎 山田 宏之
吉澤 康文

6.2.12 コンピュータセキュリティ研究連絡会 (CSEC)

◎土居 範久 ○岡本 栄司 ○佐々木良一 ○林 誠一郎
浅田 徹 岩野 和生 岩村 恵市 黒川 恒雄
小松 尚久 古村 光夫 才所 敏明 柴田 義孝
白石 高義 多賀谷一照 滝沢 誠 館林 誠
勅使河原可海 寺田 真敏 棟上 昭男 鳥居 悟
中川路哲男 中野 秀男 永瀬 宏 前川 守
宮内 宏 山口 英 山本 博資 和佐野哲男

6.2.13 システム評価研究グループ

◎宮崎 正俊 ○杉野 栄二 ○野瀬 純郎 ○福田 晃

6.3 フロントニア領域委員会 (FR)

◎松山 隆司 ●平田 圭二 △西尾章治郎 武井 恵雄
新田 恒雄 橋田 浩一 長谷川純一 平賀 謙
松本 裕治 森 亮一 山田 奨治

6.3.1 自然言語処理研究連絡会 (NL)

◎松本 裕治 ○宇津呂武仁 ○武田 浩一 ○永田 昌明
荒木 健治 池田 裕治 池原 悟 井佐原 均
伊東 幸宏 乾 健太郎 上田 良寛 浦谷 則好
荻野 紫穂 奥村 学 柏岡 秀紀 亀井真一郎
亀田 雅之 北 研二 北村美穂子 木下 聡
木村 陸子 小暮 潔 佐川 雄二 鈴木 雅実
津高新一郎 富浦 洋一 成田 一 西野 文人
橋本三奈子 森 辰則 山田 篤 吉川 昌隆
吉村 賢治

6.3.2 知能と複雑系研究連絡会 (ICS)

◎橋田 浩一 ○有馬 淳 ○長尾 確 ○山田 誠二
石川 幹人 石田 亨 伊藤 昭 井上 克巳
伊庭 斉志 植田 一博 植田 孝夫 尾口健太郎
小野 哲雄 栗原 聡 高階 知巳 田中 秀俊
津田 和彦 東条 敏 沼尾 正行 服部 雅一
濱 利行 馬場口 登 二方 厚志 三上 貞芳
森田 幸伯 山田 篤

6.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究連絡会 (CVIM)

◎長谷川純一 ○塩原 守人 ○中村 裕一 ○美濃 導彦
池内 克史 内海 章 太田 直哉 大町真一郎
角所 考 金子 俊一 亀井 俊男 喜多 伸之
工藤 博幸 佐藤 洋一 鈴木 幸司 谷口倫一郎
丹沢 勉 出口光一郎 長尾 健司 長橋 宏
橋本 学 藤田 武洋 堀 修 堀川 洋
堀越 力 前田 潤治 宮地 悟史 宮島 耕治
向井 理朗 村上 和人 森 健策 八木 康史
山澤 一誠 李 仕剛 渡辺弥寿夫

6.3.4 コンピュータと教育研究連絡会 (CE)

◎武井 恵雄 ○角 行之 ○河村 一樹 ○小林 修
飯倉 道雄 泉本 利章 香川 修見 神沼 靖子
神村 伸一 君島 浩 工藤 育男 駒谷 昇一
五藤 博義 酒井 創 佐野 洋 鈴木 弘
中川 正樹 中村 直人 前迫 孝憲 美馬のゆり
和田 勉

6.3.5 人文科学とコンピュータ研究連絡会 (CH)

◎山田 奨治 ○加納千恵子 ○北風 晴司 ○坂谷内 勝
赤星 哲也 及川 昭文 門林理恵子 久保 正敏
小島 正美 蔡 東生 斉藤 雅 柴山 守
鈴木 卓治 高橋 淳一 高橋 晴子 田窪 直規
仁科 エミ 八村広三郎 原 正一郎 福島 重廣
峰岸 真琴

6.3.6 音楽情報科学研究連絡会 (MUS)

◎平賀 譲 ○松島 俊明 ○村尾 忠広 ○菜 孝之
荒木 円博 彌富あかね 岩竹 徹 上原 和夫
大矢 健一 小坂 直敏 金森 務 菅野 由弘
久万田 晋 後藤 真孝 澤田 秀之 志村 哲
竹内 好宏 坪井 邦明 富田 淳 中村 滋延
長嶋 洋一 平田 圭二 平野砂峰旅 堀内 靖雄
増井 誠生 森 光彦

6.3.7 音声言語情報処理研究連絡会 (SLP)

◎新田 恒雄 ○小林 哲則 ○嵯峨山茂樹 ○畑岡 信夫
相川 清明 荒木 雅弘 安藤 彰男 伊藤 彰則
井ノ上直己 伊福部 達 大野 澄男 岡田美智男
河原 英紀 小森 康弘 杉山 雅英 高木 一幸
高橋 淳一 竹澤 寿幸 武田 一哉 中川 聖一
中村 哲 永井 明人 西村 雅史 西本 卓也
二矢田勝行 畑崎香一郎 速水 悟 安村 通晃
山本 幹雄

6.3.8 電子化知的財産・社会基盤研究グループ (EIP)

◎森 亮一 ○工藤 育男 ○名和小太郎 ○松本 恒雄
東 孝博 甲斐 宗徳 河原 正治 小向 太郎
三好 和憲 武藤 明宏

7. 情報処理教育委員会

◎都倉 信樹 ○中川 正樹 ○宮下 洋一 △宮原 秀夫
市川 照久 牛島 和夫 大岩 元 大槻 説乎
角 行之 川合 慧 河原 達也 河村 一樹
木村 泉 柴山 潔 管村 昇 曾和 将容
高橋 延匡 武井 恵雄 竹井 大輔 寺田 浩詔
富樫 敦 中島 義司 中田 育男 中森真理雄
一松 信 藤野 喜一 堀内 征治 望月 徹英
山本 昌弘

7.1 アクレディテーション委員会

◎高橋 延匡 ○大岩 元 ○都倉 信樹 △水野 忠則
安達 一彦 市川 照久 稲垣 康善 牛島 和夫
角 行之 上林 彌彦 木村 泉 阪田 史郎
佐藤雄二郎 柴山 潔 諏訪 基 寺田 浩詔
当麻 喜弘 西 和彦 萩原 兼一 益田 隆司
村岡 洋一 安浦 寛人 吉村鉄太郎 米田 英一
和佐野哲男 和田 英一

8. 第57回全国大会組織委員会

◎堀越 彌 ○劔重 壽和 坂井 邦夫 釜江 尚彦
鈴木 健二 江原 暉将 宮原 秀夫 富田 眞治
水野 忠則 西尾章治郎 吉澤 康文 河田 亨

8.1 第57回全国大会プログラム委員会

◎阿草 清滋 劔重 壽和 遠山 元道 伊藤 聡
先田 和弘 山口 義一 太田 昌孝 小山 正弘
加納千恵子 長谷川純一 神沼 靖子 安田 孝美
大西 昇

9. 第58回全国大会組織委員会

◎松下 温 ○河田 亨 坂井 邦夫 釜江 尚彦
鈴木 健二 江原 暉将 宮原 秀夫 富田 眞治
水野 忠則 西尾章治郎 吉澤 康文 劔重 壽和

9.1 第58回全国大会プログラム委員会

◎村岡 洋一 ○和佐野哲男 劔重 壽和 河田 亨
赤間 浩樹 太田 敏澄 絹川 博之 松本 修一
深澤 良彰 萩谷 昌己 谷口 秀夫 城 和貴
井ノ上直己

10. プログラミング・シンポジウム委員会 (運営委員)

◎和田 英一 大駒 誠一 中西 正和 一松 信
萩原 宏 辻 尚史 川合 慧 牛島 和夫

10.1 プログラミング・シンポジウム委員会 (幹事)

◎小川 貴英 中川 正樹 林 祥一 寺田 実
湯浦 克彦 山本 喜一 鈴木 悦子

11. 国際業務委員会

◎片岡 雅憲 ○大河内正明 大岩 元 山田 昭彦
塚本 享治

11.1 IFIP委員会

◎三浦 武雄 田畑 邦晃 吉澤 充博 ○片岡 雅憲
大河内正明 伊藤 貴康 笈 捷彦 高橋 延匡
木村 文彦 齊藤 忠夫 矢島 敬二 内木 哲也
黒川 恒雄 南谷 崇 黒川 恒雄 堂下 修司
黒須 正明

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内など）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします．なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です．

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲載料金（消費税別）
論 文 募 集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集に限る．	1ページ または 1/2ページ	(共催) 1ページ 50,000円 1/2ページ 30,000円
			(協賛) 1ページ 100,000円 1/2ページ 50,000円
人 材 募 集	国公立教育機関，国公立研究機関，企業の人材募集	10行程度	(国公立教育機関，国公立研究機関) 20,000円 (賛助会員（企業）) 30,000円 (賛助会員以外の企業) 50,000円

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください．

3. 原稿の書き方

●行事次第書：原則としてA4判カメラレディとします．

(1ページ) 天地250mm × 左右160mm (1/2ページ) 天地120mm × 左右160mm

* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください．なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシックなど）については，本会会告記載内容をご参照願います．

また，フロッピーディスクまたはE-mailでも受け付けますので，ご相談ください．

●人 材 募 集：次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください．

* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください．

[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]

4. 申込期限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します．

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください．

6. 掲載申込先

社団法人 情報処理学会 有料会告係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

本学会は会誌「情報処理」、論文誌「情報処理学会論文誌」の2種類の機関誌を発行している。会誌「情報処理」は新しい技術動向をはじめとする種々の情報を掲載し、会員の知識の向上をはかるものであり、論文誌は会員の研究発表の場である。

本案内は学会機関誌の原稿執筆要領をまとめたものである。執筆上の手引きとして利用していただきたい。

2. 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内

2.1. 論文誌発行の目的

論文誌は会員の研究成果の発表およびこれに関連する討論の場を提供するために刊行される。

2.2. 論文誌の掲載記事

(1) 論文誌の記事は会員が自発的に執筆し投稿するもので、論文、テクニカルノートおよび誌上討論の3種類がある。

・論文

学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値のあるもの。

・テクニカルノート

新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。

・誌上討論

掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。

(2) 学術雑誌に投稿中または採択された論文と内容が同一の投稿原稿は採録しない。採録後に二重投稿の事実が判明した場合は、採録取消もありえる。ただし、本論文誌に採択されたテクニカルノートをもとに発展、充実させたものはその限りではない。

(3) 投稿者は原則として本学会会員に限る。寄稿者が連名の場合は、少なくとも1名は本学会会員でなければならない。

(4) 掲載記事の内容についての最終責任は著者が負うものとする。

2.3. 投稿手続

(1) 投稿原稿は日本語あるいは英語で、第1表に示す刷上標準ページ数に収まるように記述することが望ましい。

(2) 投稿原稿の形式は、2.6記載の「論文投稿形式」に従わなければならない。ただし、誌上討論に関しては形式は自由とする。

(3) 投稿原稿に対し学会は、受付日と受付番号を付した原稿受領書を発行する。投稿原稿の問合せなどは、以後、この受付番号で行うものとする。

(4) 原稿の送付先および問合せ先は下記の学会事務局とする。

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

(社) 情報処理学会 論文誌係

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

2.4. 投稿原稿の取扱い

(1) 論文誌への掲載は論文誌編集委員会で決定し、その採否を

投稿者に通知する。

(2) 論文とテクニカルノートは、査読委員による審査過程を経る。論文の場合、著者に照会し回答を求めたうえで、改めて審査を行い採否を決定することがある。

(3) 採録が決定した論文、テクニカルノートは、委員会翌月の学会誌上にその旨を発表する。また、論文誌に掲載する際には、末尾に、原稿受付日及び採録決定日を付記する。

(4) 照会は、部分的に論旨が不明な点、あるいは、錯誤と思われる箇所についての問合せを主眼として行う。照会は原則として1回とする。照会への回答は書面で行う。場合によっては質問事項に関連して原稿に手を加えることができる。この場合、変更箇所と変更理由を明示しなければならない。回答期限は3カ月以内で、これを経過した場合は、取り下げたものとみなす。

(5) 不採録と決定した原稿は、不採録理由を付して著者に返却する。

(6) 投稿論文およびテクニカルノートは、次の場合に不採録とする。

a. 本学会で扱う分野と大きくかけはなれている。

b. 本質的な点で誤りがある。

c. 本質的な点が公知・既発表のものに含まれており、新規性が不明確である。

d. 内容に信頼できる根拠が示されていない。

e. 本学会関連の学術や技術の発展のための有効性が不明確である。

f. 書き方、議論の進め方などに不明確な点が多く、内容の把握が困難である。

g. 条件付採録で示した条件が満たされていない。

h. その他編集委員会が不適当と判定したもの。

(7) 著者は投稿原稿を取り下げることができる。この場合、書面で論文誌編集委員会に申し出なければならない。

2.5. 掲載決定通知、別刷等

(1) 投稿原稿の採録が決まると、採録決定通知を投稿者に送付する。この時点で、電子入稿のための案内を同封するので、その指示に従い、最終原稿を提出すること。

(2) 採録原稿の掲載号が決まると、掲載決定通知を投稿者に送付する。

(3) 学会は誤植防止のために著者に校正刷りを送る。校正の際の原稿及び図面の変更は認めない。

(4) 著者から誤謬訂正の申し出があった場合、正誤表を最近号

表-1 論文誌の投稿記事種目

種目	内容	刷上標準ページ数	ワープロによる和文記事原稿枚数	英文記事語数
(1) 論文	学術、技術上の研究あるいは開発成果の記述であり、新規性、有用性などの点から、会員にとって価値のあるもの。	8以内	24	6,000
(2) テクニカルノート	新しい研究開発成果の速報または技術上の新しい提案。	2*	6	1,500
(3) 誌上討論	掲載された論文またはテクニカルノートに対する質問および回答。	1	3	750

原稿枚数、語数はタイトルや図表などすべてを含めた数値
ワープロの場合の原稿用紙 (24×26行=624字)
英文記事は刷上1ページあたり約750語

*上限4p

表-2 論文誌別刷価格表 (単位:円)

ページ数 部数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
100	11,000	22,000	33,000	44,000	55,000	66,000	86,000	106,000	136,000
200	12,000	23,000	34,000	45,000	56,500	67,500	87,500	107,500	137,500
300	13,000	24,000	35,000	46,000	58,000	69,000	89,500	109,500	139,500
400	14,000	25,000	36,000	47,000	59,500	70,500	91,500	111,500	141,500
500	15,000	26,000	37,000	48,000	61,000	72,000	93,500	113,500	143,500

なお、8ページを越えるときは100部の場合で、1ページにつき30,000円加算する。カラーの場合は1ページあたり通常の4ページ分と換算する。消費税は別途請求する。

に掲載する。事情により有料となることがある。

- (5) 掲載された論文、テクニカルノートの著者は、それらの別刷を100部以上買いとらなければならない。価格は第2表による。著者校正の際、同封の別刷申込書に必要事項を記入の上、校正結果とともに返送しなければならない。
- (6) 提出された原稿および媒体は返却しない。
- (7) 掲載論文のタイトル、著者名を会誌に掲載する。アブストラクトは、著者の申し出により、学会のホームページ上 (URL-http://www.ipsj.or.jp) に掲載する。さらに著者のホームページと学会のホームページをリンクし、著者の関連情報も公開する。ただし、著者が当該論文全文を著者ホームページ上に掲載した場合は、リンクをはずす。

2.6. 論文投稿形式

2.6.1 投稿原稿の構成

論文誌への投稿原稿は、次のi.~x.により構成する (i.~x.でオリジナル原稿一式とする)。

- i. 標 題：和英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和文はなくてもよい。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。
- ii. 著者名・所属：氏名、所属を和英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和文はなくてもよい。共著の場合、著者と所属機関の対応を明示すること。また、会員・非会員の別 (会員の場合は会員番号も)、著者連絡先 (住所、電話番号 (内線)、E-mail等。複数著者の場合は連絡担当者に*印を付すこと)、ワープロ等の場合論文作成手段 (機種およびソフト名) を用紙の下部に明記すること (2.6.2参照)。
- iii. 和文アブストラクト：600字 (テクニカルノートは300字) 以内。英文論文の場合は不要。
- iv. 英文アブストラクト：200語 (テクニカルノートは100語) 以内。
- v. 本 文：
- vi. 謝 辞：必要ならば付けてもよいが、できるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。
- vii. 参考文献：研究内容に関連して文献を引用する場合、関連する本文中の箇所の右肩に参考文献番号を書き、末尾にその文献をまとめて記述する (2.6.4参照)。引用文献は、すでに刊行物に掲載されているか、あるいは掲載が確定している文献に限る。
- viii. 付 録：長い数式の誘導の過程や、実験装置などの詳細な説明を本文に挿入すると論旨が不明瞭になる場合、付録を設けてよい。
- ix. 図 (2.6.4参照)
- x. 表 (2.6.4参照)

2.6.2 投稿原稿の様式

情報処理学会論文誌投稿用のスタイルファイル (以下、単にスタイルファイルという) に従ってLaTeXで書式付けされた原稿を基本とする。その他のワープロ等で作成した原稿も受け付

ける。

- i. LaTeXで作成する場合には、スタイルファイルに付属した説明書に従ってi.~x.を記述し、注意事項を守ること。使用できるフォントや組み込むことのできるポストスクリプトファイル (図表等) の形式には制限がある。注意事項が守られていない場合には処理ができずやむを得ず返却することがある。

スタイルファイルの請求方法はanonymous ftpによって、ftp://ftp.ipsj.or.jpまたは電子メールguide@ipsj.or.jpにて案内されている。学会ホームページURL-http://www.ipsj.or.jpにも案内されている。インターネットにアクセスすることができない場合は学会に問い合わせること。

- ii. 原稿をワープロ等で作成する場合は、A4判またはレターサイズ (8.5"×11") の用紙を使用し、片面打ちとする。字詰は以下にすること。

和文：24字×26行

英文：ダブルスペースで、1ページあたり約250語。

大見出しは2行どりとする。

i.~x.は別用紙に、必ず用紙を改めて記述すること。

2.6.3 投稿原稿の提出形式

原稿を投稿する際は、次の(A)~(D)を必要とする。不足がある場合は受け付けない。

- (A) 紙出力の原稿 (オリジナル) 一式 (i.~x.)
- (B) キーワード・チェックリスト2部：情報処理学会所定のもの (4~8頁または8~12頁をコピーして利用のこと)。
- (C) (A) のコピー1部 (i.~x.)
- (D) (A) のコピー2部 (ただし査読用として、ii. 著者名・所属およびvi. 謝辞を除いたもの)。(LaTeXのときはi., ii., iii.-iv., v.-vii.-viii.-ix.-x., vi.がそれぞれ別々に出力される)。

2.6.4 原稿執筆上の一般的注意事項

- (1) 専門用語については、簡単な用語解説を添付することが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず説明をつける。
- (2) 参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順にする。次の例を参照にされたい。
- 4) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法、情報処理、Vol.1, No.1, pp.6~10 (1960)。
- 5) Feldman, J. and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113 (1968)。
- 7) 大山一夫：電子計算機, p.300, 情報出版, 東京 (1991)。
- 8) Wilkes, M. V.: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York (1990)。
- (3) 図 (モノクロ写真およびカラー写真を含む) および表には、図1および表1のような通し番号と名称を和文と英文でつける。ただし、英文論文の場合は和文はなくても良い。英文は

寸法 (mm)	ワープロ原稿の場合の行数 (24字×26行)
A. 50×34	6行
B. 67×50	13行
C. 100×67	26行
D. 134×100	39行

その図や表の内容が本文を参照しなくても理解できるよう配慮する。

LaTeXによる場合、図表は、ポストスクリプトファイル等を組み込むことも可能。組み込むファイルの形式はスタイルファイルの説明を参照のこと。

紙に描いた図表原稿を提出する場合には、図・表は著者の提出したものを、そのまま印刷するので、下記要領により、黒インキでトレースするか、あるいは同等の画質があるものを提出すること。i. 刷上り寸法の2倍大にきれいに書き、文字、記号などは明瞭に記入する。ii. 図・表を入れる場所は、原稿用紙の欄外に明記すること。iii. 表はできる限り簡潔に作成し、長い表は、途中を省略するか、あるいは、直接製版できる原稿にする。iv. 図・表原本には、裏面に鉛筆で著者名と図番を記入すること。

図・表のでき上り寸法と行数または枚数の換算は次のとおりである。

- (4) 数字、ローマ字、ギリシャ文字、記号などは特に明瞭に記載する。大文字・小文字、上つき、下つきの別、× (かける) とX (エックス) の別など。
- (5) 句読点は“.” および“,” を用い、それぞれ1画 (1字分) を用いる。
- (6) 数式は印刷に便利なよう注意する。文中に式を挿入する場合には a/b , $\exp(t/r)$ のような記法を用いる。独立した数式は1行につき原稿用紙の2行または3行のスペースを取って書く。数式も文の一種であるから、原則として末尾に“,” または“.” を付す。ただし、プログラム言語の形式を利用する場合には、この限りではない。
- (7) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。
- (8) 原稿中にとりかき文章、文字などを挿入する時は、挿入する文章や文字を欄外に明瞭にし、かつ挿入する箇所を、 \vee または \wedge (朱書) で示す。
- (9) 脚注は、☆, ☆☆, ☆☆☆などの記号で示し、本文中そのすぐ下に横線ではさんで記入し、脚注と朱書する。
- (10) 文中の記号で太字を使用の場合は、その記号の下に \sim を朱書し、イタリック体 (斜体) 使用の場合はその文字の下に朱書で \sim と指定する。

LaTeXで使用できるフォントの種類はスタイルの説明を参照すること。それ以外のフォントを使用したときには、予期しないできあがりとなることがある。

キーワード (論文誌投稿用)

*1988年 7月改訂
1994年 3月改訂
1995年 1月改訂

[寄稿者用]

(1) あなたが寄稿する原稿の内容に最も関係の深い項目 (1つ) に◎印、関係する項目 (複数個も可) に○印を付けてください。

大項目	中項目	小項目 () は該当項目のないときに分野名を記入
001 基礎理論と基礎技術	01 情報数学	01 形式論理, 02 オートマトン理論, 03 言語理論, 04 計算可能性の理論, 05 計算の複雑さ, 06 グラフ理論, 07 組合せ理論, 08 符号理論, 09 情報処理理論, 10 ベトリネット, 99 その他 ()
	02 非線形力学	01 カオス, 02 フラクタル, 99 その他 ()
	03 アルゴリズム理論	01 離散アルゴリズム, 02 データ構造, 03 並列・分散アルゴリズム, 04 確率アルゴリズム, 05 近似アルゴリズム, 06 計算幾何学, 07 探索アルゴリズム, 08 計算代数学, 09 計算的学習理論, 10 数式処理, 11 浮動小数点処理, 99 その他 ()
	04 オペレーションズリサーチ	01 線形・非線形計画法, 02 動的計画法, 03 整数計画法, 04 ゲーム理論, 05 待ち行列理論, 06 ネットワーク理論, 99 その他 ()
	05 確率・統計	01 推定・検定, 02 確率モデル, 03 統計・確率計算, 04 多変量解析, 05 時系列解析, 99 その他 ()
	06 数値計算	01 誤差解析, 02 関数近似, 03 補間, 04 線形方程式, 05 非線形方程式, 06 固有値問題, 07 数値微分, 08 数値積分, 09 常微分方程式, 10 偏微分方程式, 11 積分方程式, 12 極値問題, 13 特殊関数, 14 乱数, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目 ()は該当項目のないときに分野名を記入
001 基礎理論と基礎技術	07 数値シミュレーション	01 有限要素法, 02 差分法, 03 境界要素法, 04 モンテカルロ法, 05 粒子シミュレーション, 06 可視化, 99 その他 ()
	08 高性能計算	01 並列化, 02 ベクトル化, 03 性能評価, 99 その他 ()
002 人工知能と認知科学	01 知識処理	01 探索, 02 定理自動証明, 03 推論方式, 04 知識表現, 05 知識獲得, 06 知識ベース, 07 非単調論理, 08 ファジイ推論, 09 不確実性処理, 10 学習, 11 理解・識別論, 12 分散・協調AI, 99 その他 ()
	02 人工知能システム	01 エキスパートシステム, 02 エキスパートシステム構築ツール, 03 ゲームプログラム, 04 知能ロボット, 05 知的インタフェース, 99 その他 ()
	03 自然言語処理	01 機械翻訳, 02 形態素解析, 03 構文解析, 04 意味解析, 05 文生成, 06 談話理解, 07 文法, 08 辞書, 09 言語理論, 10 言語行動, 11 言語資料・統計, 12 言語データベース, 13 文脈解析, 14 知識表現, 99 その他 ()
	04 生体情報処理	01 視覚, 02 聴覚, 03 神経モデル, 04 サイバネティクス, 05 自己組織化, 06 ニューラルネット, 07 遺伝的アルゴリズム, 08 人工生命, 99 その他 ()
	05 感性情報処理	01 心理モデル, 02 行動モデル, 03 感情モデル, 04 ヒューマンインタフェース, 05 映像, 06 音楽, 99 その他 ()
003 メディア情報処理	01 音声言語情報処理	01 音声分析・加工, 02 音声インタフェース, 03 音声認識・理解, 04 音声合成・テキスト音声変換, 05 音声対話・翻訳, 06 話し言葉の解析・生成, 07 話者・言語識別, 08 言語モデル・音声言語コーパス, 09 音声応用, 99 その他 ()
	02 画像信号処理	01 画質改善, 02 帯域圧縮, 03 符号化, 04 リモートセンシング, 99 その他 ()
	03 画像・図形認識	01 画像理解, 02 物体認識, 03 文字認識, 04 パターン認識, 05 図面認識, 06 コンピュータビジョン, 07 ロボットビジョン, 08 視覚モデル, 09 3次元形状復元, 10 3次元画像処理, 11 色彩画像処理, 12 画像データベース, 13 ステレオ画像解析, 14 動画画像処理, 99 その他 ()
	04 コンピュータグラフィクス	01 CGシステム, 02 CAD/CAM, 03 形状モデリング, 04 レンダリング, 05 可視化, 06 アニメーション, 07 モーション, 08 ステレオ表示, 09 仮想現実感, 10 デザイン, 11 画像データベース, 99 その他 ()
	05 テキスト処理	01 ワードプロセッシング, 02 日本語入出力, 03 文書処理, 04 卓上出版, 05 フォントデザイン, 06 SGML, 07 パターン照合アルゴリズム, 99 その他 ()
	06 メディア処理装置	01 ディスプレイ装置, 02 ハードコピー装置, 03 文字読取装置, 04 画像入出力装置, 05 画像処理プロセッサ, 06 音声入出力装置, 99 その他 ()
	07 マルチメディア処理	01 マルチメディア, 02 ハイパメディア, 99 その他 ()
004 ソフトウェア	01 基礎理論	01 プログラム理論, 02 オペレーティングシステム理論, 03 形式的意味論, 04 算法論理, 05 検証理論, 06 カテゴリー理論, 07 属性文法, 08 計算パラダイム, 09 プログラム合成・変換, 99 その他 ()
	02 プログラミング言語と仕様記述	01 手続き型言語, 02 論理型言語, 03 関数型言語, 04 オブジェクト指向言語, 05 並列処理言語, 06 システム記述言語, 07 数式処理言語, 08 シミュレーション言語, 09 仕様記述言語, 10 第四世代言語 (4GL), 99 その他 ()
	03 言語処理系	01 構文解析, 02 コード生成, 03 最適化, 04 コンパイラ, 05 インタプリタ, 99 その他 ()
	04 ツール	01 エディタ, 02 デバッガ, 03 ベリファイヤ, 04 コンパイラジェネレータ, 99 その他 ()
	05 ウィンドウシステム	01 ユーザインタフェース管理システム, 99 その他 ()
	06 オペレーティングシステム	01 記憶管理, 02 入出力管理, 03 障害管理, 04 通信管理, 05 ファイル管理, 06 ジョブ・タスク管理, 07 自動運転管理, 08 並列分散処理, 09 システム管理, 10 例外処理, 11 性能評価, 12 リアルタイムOS, 13 マルチメディアOS, 14 分散・並列OS, 99 その他 ()
	07 プログラミング技術	01 データ構造, 02 ガーベージコレクション, 03 ハッシング, 04 ソーティング, 05 サーチング, 06 ベクトル化, 07 並列化, 08 記号処理, 09 計算のモデル, 10 プログラミング工程, 11 支援環境, 12 プログラミングパラダイム, 13 ビジュアルプログラミング, 99 その他 ()
005 データベース	01 データベース	01 データモデル, 02 データベース言語・DBPL, 03 データベース設計, 04 一貫性制約, 05 データベース管理システム, 06 質問処理, 07 トランザクション管理, 08 DB構成 (編成・アクセス法), 09 信頼性・障害管理, 10 並列・超並列DB, 11 OLTP, 12 分散・マルチDB, 13 データベースOS, 14 性能評価, 15 マルチメディアDB, 16 演繹DB, 17 オブジェクト指向DB, 18 オフィスDB, 19 エンジニアリングDB, 20 文書DB, 21 画像DB, 22 音声DB, 23 地理DB, 24 データディクショナリ・リポジトリ, 25 DBアプリケーション (システム, 開発環境), 26 DBシステム技術 (データ分析・設計・構築・運用), 27 ハイパテキスト, 28 ハイパメディア, 29 データベースマシン, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目 ()は該当項目のないときに分野名を記入
005 データベース	02 情報学基礎	01 情報の表現・識別・分類・評価・検索・流通・管理, 02 概念体系, 03 用語, 04 辞書, 05 シソーラス, 06 大量情報の知識化, 07 知識発見, 08 自己組織化, 09 全文DB, 10 文書DB, 11 情報検索システム, 12 情報資源管理, 13 遺伝子情報処理, 14 図書館情報学, 99 その他 ()
006 ソフトウェア工学	01 開発技術	01 要求獲得・分析法, 02 仕様記述法, 03 設計法, 04 プログラミング方法論, 05 プロトタイピング, 06 実行可能仕様, 07 部品化・再利用技術, 08 ドメイン分析・モデリング, 09 プログラム自動合成, 10 COA/OOD, 11 代数的仕様, 12 リバースエンジニアリング, 13 構造化分析/設計, 14 ソフトウェアアーキテクチャ, 99 その他 ()
	02 テスト・保守・管理	01 プログラムのテスト・デバッグ, 02 プログラム検証, 03 仕様検証, 04 レビュー/インスペクション, 05 性能評価, 06 プログラム解析, 07 保守運用管理, 08 メトリクス, 09 版管理, 10 構成管理, 11 プロジェクト管理, 12 見積もり, 13 プログラムの複雑度, 14 リスク管理, 15 コスト管理, 16 ソフトウェア工場, 99 その他 ()
	03 ソフトウェアプロセス	01 プロセスモデル, 02 プロセスプログラミング, 03 工程管理, 04 プロセス成熟度モデル, 05 標準化, 99 その他 ()
	04 開発環境	01 構成法, 02 分散開発環境, 03 文書化支援, 04 リポジトリ, 05 SEDB, 06 グループウェア, 07 CASE, 08 プラットフォーム, 99 その他 ()
	05 ヒューマンファクタ	01 ヒューマンインタフェース, 02 要員教育, 03 プロジェクト管理, 99 その他 ()
	06 ソフトウェア品質	01 品質保証, 02 品質管理, 03 メトリクス, 04 信頼性予測, 05 品質特性, 06 信頼度成長モデル, 99 その他 ()
007 ハードウェア	01 基礎理論	01 組合せ回路理論, 02 順序回路理論, 03 論理設計理論, 04 レイアウトアルゴリズム, 05 ハードウェアアルゴリズム, 99 その他 ()
	02 論理回路	01 記憶回路, 02 演算回路, 03 制御回路, 04 誤り検出・訂正回路, 05 テスト容易化回路, 99 その他 ()
	03 デバイス	01 論理デバイス, 02 記憶デバイス, 03 入出力デバイス, 04 ASIC, 05 PLD, 99 その他 ()
	04 計算機アーキテクチャ	01 汎用計算機, 02 専用計算機, 03 高級言語マシン, 04 スーパーコンピュータ, 05 ワークステーション, 06 マイクロプロセッサ, 07 連想プロセッサ, 08 非ノイマンアーキテクチャ, 09 フォールトトレランス, 10 リアルタイムシステム, 11 DSP, 12 光コンピュータ, 13 記号処理アーキテクチャ, 14 スーバスカラ, 15 命令セットアーキテクチャ, 99 その他 ()
	05 メモリ・I/Oアーキテクチャ	01 キャッシュ, 02 メモリ階層, 03 仮想メモリ, 04 機能メモリ, 05 分散・共有メモリ, 06 ベクトルレジスタ, 07 磁気ディスク, 08 CD-ROM, 09 拡張記憶, 99 その他 ()
	06 設計技術と設計自動化	01 アーキテクチャ設計支援, 02 ハードウェア/ソフトウェア・コデザイン, 03 設計記述言語, 04 機能合成 (ハイレベル・シンセシス), 05 論理合成, 06 レイアウト, 07 テスト診断法 (テスト生成, 故障診断, テスト容易化設計), 08 形式的検証, 09 機能・論理シミュレーション, 10 回路シミュレーションとモデリング, 11 設計環境 (CADフレームワーク, 設計データベース管理), 12 テクノロジー・マイグレーション (論理変換, 設計結果再利用), 13 CAD用ハードウェア・エンジン, 99 その他 ()
008 並列処理	01 並列処理アーキテクチャ	01 超並列マシン, 02 マルチプロセッサ, 03 SIMDマシン, 04 MIMDマシン, 05 データフローマシン, 06 専用並列マシン, 07 ニューロコンピュータ, 08 WSクラスタ, 99 その他 ()
	02 並列処理ハードウェア	01 要素プロセッサ, 02 分散・共有メモリ, 03 プロセッサ間通信・同期, 04 相互結合網, 05 スーバスカラ, 06 VLIW, 07 性能評価, 99 その他 ()
	03 並列処理ソフトウェア	01 並列OS, 02 並列処理言語, 03 並列化コンパイラ, 04 並列デバッガ, 05 並列化支援ツール, 06 スケジューラ, 07 負荷分散, 08 マッピング, 09 性能評価, 99 その他 ()
	04 並列処理応用	99 その他 ()
009 ネットワーク	01 通信技術	01 データ交換方式, 02 通信方式, 03 画像通信, 04 トラヒック理論, 05 ネットワークアーキテクチャ, 06 プロトコル, 07 プロトコル検証, 08 ISDN, 09 マルチメディア通信, 99 その他 ()
	02 ネットワーク管理	01 名前管理, 02 経路管理, 03 障害管理, 99 その他 ()
	03 コンピュータネットワーク	01 WAN, 02 LAN, 03 電子会議, 04 電子掲示板, 05 電子メール, 06 分散処理, 99 その他 ()
010 システム	01 システム技術	01 システムの計画・分析・設計・構築・運用・利用, 02 システムニーズ・情報ニーズの獲得, 03 情報・データの管理, 04 システムとのインタフェース, 99 その他 ()

大項目	中項目	小項目 ()は該当項目のないときに分野名を記入
010 システム	02 グループウェア	01 協調基礎, 02 グループワーク応用, 03 グループワークインフラストラクチャ, 04 分散オフィス, 05 マルチユーザインタフェース, 99 その他 ()
	03 インタフェース	01 インタフェースモデル, 02 ヒューマンインタフェース, 03 計算機システムインタフェース, 04 マルチメディアインタフェース, 05 協調作業のインタフェース, 06 文書処理インタフェース, 99 その他 ()
	04 対話型システム	01 構成理論, 02 方法論, 03 CAE, 04 CAD, 05 CAM, 06 CIM, 07 CAI, 08 管制システム, 09 訓練システム, 10 意志決定システム, 11 オフィスシステム, 99 その他 ()
	05 オンラインリアルタイムシステム	01 予約システム, 02 バイキングシステム, 99 その他 ()
	06 制御システム	01 プロセス制御, 02 数値制御, 03 通信制御, 04 産業用ロボット, 05 FA, 06 知能ロボット, 07 リアクティブシステム, 99 その他 ()
	07 システム評価	01 評価技法, 02 評価指標, 03 評価モデル, 99 その他 ()
011 信頼性と安全性	01 信頼性	01 信頼性理論, 02 保全性理論, 03 信頼性評価, 04 故障解析, 05 二重系, 06 待機系, 99 その他 ()
	02 機密保護	01 暗号理論, 02 認証, 03 鍵管理, 04 鍵配送, 05 セキュリティ, 99 その他 ()
012 教育	01 教育	01 専門技術者・研究者の育成教育法, 02 情報科学・工学の教育, 03 コンピュータリテラシ, 04 カリキュラム, 05 CAI, 06 知的CAI, 07 教育工学, 99 その他 ()
013 応用	01 企業等への応用	01 オフィス, 02 行政, 03 経営, 04 金融, 05 情報サービス, 06 生産管理, 07 計算機センタ運営, 99 その他 ()
	02 工学等への応用	01 航空・宇宙, 02 機械, 03 土木, 04 建築, 05 都市, 06 電気・電子, 07 計測, 08 生物, 09 物理, 10 化学, 11 原子力, 12 輸送・交通, 13 医学・歯学, 99 その他 ()
	03 音楽への応用	01 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 02 電子音楽, 03 音楽信号処理, 04 AIと音楽, 05 音楽の認知・知覚・感性情報, 06 音楽情報処理システム, 99 その他 ()
	04 人文科学への応用	01 人文科学・博物館・美術館への情報処理, 02 人文科学系ユーザ向きインタフェース, 03 情報処理と人文科学系間での学術的協力, 99 その他 ()
	05 障害者補助	
	06 その他への応用	
014 その他	01 社会	01 規格, 標準化, 02 知的所有権, 03 社会問題, 04 倫理, 99 その他 ()
	02 その他	

(2) キーワード表にとらわれず、寄稿内容を表わすキーワードを書いてください。

- (1) (2) (3)
(4) (5)

著者用情報処理学会論文誌 原稿チェックリスト

・必要事項を記入，選択すること

*1998年 8月改訂

投稿記事種目	論文 (一般論文・研究会推薦論文・特集論文：特集号名) テクニカルノート 誌上討論		
希望審査グループ (特集論文の場合， 記入不要)	基礎・ソフトウェア・ハードウェア・応用		
論文の性格		原稿	枚
和文標題		図	枚
英文標題		表	枚
		アブストラクト	枚
		刷上予定枚数	枚
項 目	検討内容 (右の判定欄に自分の判定結果を記入すること)		自己判定欄
標 題 抄 録 等	第3者 (著者以外の人) が目を通してしているか		
	和文標題は内容を適切に表現しているか		
	英文標題は内容を適切に表現し，英語としても適切か		
	アブストラクトは主旨を適切に表現し，英文も適切か		
本 文	在来研究との関連，研究の動機，ねらい等が明確に説明されているか		
	既発表の論文等との間に重複はないか		
	章，節のたて方，全体の構成等は適切か		
	説明に冗長な点，逆に簡単すぎる点はないか		
	説明に飛躍した点はないか，仮説等の説明は十分か		
	記号・略号等は周知のものか，用語は適切か，図・表の説明は適切か (本文中および各図表のキャプション)		
	科学技術論文として不適当な表現や，分かりにくい表現はないか		
	結論が明確に記されており，範囲，限界，問題点などの指摘が適切で，内容にそったものであるか		
図 表	図表自体は十分に明確であるか，誤りはないか		
	十分に鮮明か		
	大きさ，縮尺の指定は適切か		
文 献	適切な文献が引用されており，その数も適切か		
総 合 評 価	創意の程度 (最高を5とした5段階評価)		
	資料価値，読者にとって有益な情報の量 (最高を5とした5段階評価)		
	興味を持つ読者の多少 (非常に多い場合5，ほとんどないとき1)		

Transactions of the IPSJ (Information Processing Society of Japan) : Information for Authors

1. Purpose of the Transactions

The purpose of the Transactions of the IPSJ is to publicize the results of members' research and related discussions.

2. Publishing Articles in the Transactions

(1) The articles in the Transactions are written and contributed voluntarily. They include regular papers, technical notes, and printed discussions.

Regular papers

Regular papers describe the results of research and development in scientific and technical areas. They should be of value to IPSJ members as regards originality and utility.

Technical notes

Technical notes report the results of research and development, or present technical proposals.

Printed discussions

Printed discussions include questions and answers on published regular papers or technical notes.

(2) Articles whose content is the same as that of regular papers in other scientific journals will not be accepted either for publication or for evaluation.

An accepted article may be rejected if double submission becomes evident after it is accepted.

Articles that shed further light on technical notes previously published adopted in the IPSJ Transactions are exceptions to this rule.

(3) In principle, authors should be IPSJ members.

If an article has several authors, at least one person should be an IPSJ member.

(4) The final responsibility for the content of a published article lies with the author(s).

3. Submission Procedure

(1) Manuscripts should be written in Japanese or English. They should preferably be in camera-ready form, with number of pages consistent with the guidelines in Table 1.

(2) The manuscript should follow the guidelines in section 6. on "Regular paper submission format".

The form of the printed discussions is not restricted.

(3) The IPSJ issues manuscript receipts for submitted manuscripts. The receipt contains the date received and a receipt number. Inquiries about submitted manuscripts should specify the receipt number.

(4) Manuscript submissions and related inquiries should be directed to the IPSJ secretariat at the following address:

IPSJ Attention: Transactions
Shibaura Maekawa Bldg. 7F
3-16-20 Shibaura, Minato-ku,
Tokyo 108-0023, JAPAN
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

4. Processing of Submitted Manuscripts

(1) The Transaction Editorial Committee (TEC) decides whether to accept manuscripts submitted to the Transactions. The IPSJ notifies the person who submitted the manuscript whether it has been accepted or rejected.

(2) Regular papers and technical notes are subjected to a refereeing process. In the case of regular papers, the TEC may send inquiries to the author(s) and consider the responses before deciding whether to accept or reject the submission.

(3) The TEC announces the acceptance of regular papers and technical notes in the Proceedings of the IPSJ in the month following a TEC meeting.

When a regular paper is published in the Transactions, the dates on which the manuscript was received and accepted are added at the end.

(4) Inquiries to author(s) mainly concern unclear points in the argument or mistakes in the manuscript.

As a rule, inquiries are made not more than once.

Answers to the inquiries should be sent with the text to which they refer.

The author(s) may correct the manuscript in the response to questions.

In this case, the author(s) should specify the parts to be changed and the reasons for the changes.

Answers should be given within three months of an inquiry.

If three months have passed without an answer, the TEC will regard the submission as canceled.

(5) The TEC returns rejected manuscripts to the authors with the reasons for rejection.

(6) Submitted regular papers and technical notes are rejected in the following cases:

(a) The subject of the paper lies outside the area covered by the IPSJ.

(b) The paper contains one or more fundamental errors.

(c) The paper lacks originality since the results described can be easily derived from published materials and knowledge.

(d) The proofs offered are unconvincing or too weak.

(e) The paper is not expected to make a significant contribution to scientific and/or technical progress.

(f) The description and/or organization is not sufficiently clear to allow readers to understand what has been achieved.

(g) One or more of the conditions for acceptance indicated by reviewers are not properly satisfied.

(h) The TEC finds other reason to reject the paper.

5. Publishing decision notification and reprints

(1) When a submitted manuscript is accepted, the IPSJ sends the author notification of the acceptance, enclosing a guide to electronic submission. The author(s) must submit the final manuscript according to these in-

Table 1

Publishing articles	Contents	Standard pages	English words
(1) Regular papers	Regular papers describe the results of research and development in scientific and technical areas. They should be of value to IPSJ members as regards originality and utility.	8 or less	6,000
(2) Technical notes	Technical notes report the results of research and development, or present technical proposals.	2*	1,500
(3) Printed discussions	Printed discussions include questions and answers on published regular papers or technical notes.	1	750

* upper limit: 4p

Table 2 Prices for reprints (unit: ¥)

Pages Copies	1	2	3	4	5	6	7	8	9
100	11,000	22,000	33,000	44,000	55,000	66,000	86,000	106,000	136,000
200	12,000	23,000	34,000	45,000	56,500	67,500	87,500	107,500	137,500
300	13,000	24,000	35,000	46,000	58,000	69,000	89,500	109,500	139,500
400	14,000	25,000	36,000	47,000	59,500	70,500	91,500	111,500	141,500
500	15,000	26,000	37,000	48,000	61,000	72,000	93,500	113,500	143,500

structions.

- (2) When the title of the published manuscript is decided, the IPSJ sends a notification of the decision to the author(s).
- (3) The IPSJ sends the author(s) proofs of the article to prevent misprints. Substantive changes in the manuscript or drawings during proofreading are not allowed.
- (4) The IPSJ will print a list of errata for a recently published article if the author(s) offer to correct any errors. Changes are likely to be made, according to the circumstances.
- (5) The author of a published regular paper or technical note is required to buy more than 100 reprints. Table 2 shows the prices. The author receives a reprint application form together with the proofreading print. It should be filled in and sent back with the revised proofs.
- (6) The media on which manuscripts are submitted are not returned.
- (7) The titles of accepted papers and the authors' names with their affiliations will appear in the latest issue of the IPSJ Magazine. The author can request his abstract to be included in the IPSJ home page (URL <http://www.ipsj.or.jp/>) at the request of the authors. In addition, the IPSJ will create links between its own home page and the authors' home pages. If the author provide the full paper on his/her own page, the link from the IPSJ home page will be removed.

6. Submission Format

6.1 Structure of a Submitted Manuscript

A manuscript submitted to the Transactions is composed of the following part (1)–(10). ((1)–(10) constitute a complete original manuscript.)

- (1) Title: in both Japanese and English.
A Japanese title is not required for a regular paper in English. Specify the type of manuscript clearly on the left of the title.
- (2) Author's name and affiliation in both Japanese and English.
Japanese descriptions are not required for a regular paper in English.
Specify the affiliations clearly when there are two or more authors. State the following items clearly:
 - Whether the authors are IPSJ members. (Specify member IDs)
 - Address for correspondence (address, phone number, e-mail address) .
 Specify the authors whom the IPSJ should contact with an asterisk next to the name.
 - If a special word processor or other hardware or software is used, specify the name(s) at the bottom of the form. Refer to paragraph 6.2.
- (3) Japanese abstract: 600 characters or less (300 characters or less for a technical note) .
A Japanese abstract is not required for a regular paper in English.
- (4) English abstract: 200 words or less (100 words or less for a technical note) .
- (5) Text:

- (6) Acknowledgment: These are permitted when necessary, but should be simple. Acknowledgment of help in a specific matter should be stated in the text or a footnote.
- (7) References: Give reference numbers to the right of the corresponding text. Details of the references should be summarized at the end of the text (refer to section 6.4) .
References should be to material that is already published or accepted for publication.
- (8) Appendices: Topics may be covered in appendices if the point of an would otherwise become indistinct because of the need for detailed explanations of items such as processes and equipment used in experiments.
- (9) Figures (Refer to section 6.4) .
- (10) Tables (Refer to section 6.4) .

6.2 Layout of manuscripts

The layout of manuscript for the IPSJ Transactions is based on the LaTeX style file. Manuscripts prepared on word processors etc. are acceptable.

- (1) For LaTeX manuscripts, fill in the forms of the style file for items (1)–(10) according to the manual attached to the style file.

There is a limitation on the available font types and on the format of Postscript files (diagrams, etc.) .

Manuscripts that violate the instructions contained in the manual attached to the style file may be returned to the author(s).

The style file can be obtained by anonymous ftp at <ftp://ftp.ipsj.or.jp/>.

It can be obtained also by sending an e-mail to guide@ipsj.or.jp, or by browsing the IPSJ Home Page at <http://www.ipsj.or.jp>.

Inquiries should be directed to the IPSJ if the author(s) do not have access to the Internet.

- (2) When using a word processor, use A4 or letter-size (8.5"×11") paper.
Print on only one side.
Japanese: 24 characters×26 lines.
English: Double-spaced text with about 250 words per page. Use two lines for large headings.
List each of the items (1)–(10) on a separate page.

6.3 Submission Procedure

Submission should include the following items (A)–(D).

The IPSJ will reject a manuscript if any of the items is missing.

- (A) Printout of the complete manuscript (original) containing items (1)–(10) of section 6.1.
- (B) Two sets of Key word of the IPSJ form. Copy pages 13–16.
- (C) One copy of (A).
- (D) Two copies of (A).

For refereeing, remove (2) the author's name and affiliation and (6) acknowledgments.

In LaTeX documents, (1), (2), (3)–(4), (5), (7)–(10), and (6) are output separately.

6.4 General notes on manuscripts

- (1) It is preferable to append a simple glossary of special terms.
Special symbols should be explained.
- (2) Journal references should include the author, title, name of the journal, volume, number, page(s), and year of issue.
Books references should include the author, title, page numbers, publisher, and year of publication, as in the following examples:
- 4) Tarou Yamada: Numerical solution of partial differential equation, Information Processing, Vol.1, No.1, pp.6-10 (1960)
 - 5) Feldman, J. and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113 (1968).
 - 7) Ooyama Kazuo: Computer, p.300, Information Publications, Tokyo (1991).
 - 8) Wilkes, M. V.: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, NewYork (1990).
- (3) For figures and tables, a serial number and English caption should be attached, such as Figure 1 or Table 1. Figures include black-and-white or color photographs. The caption should represent the contents well enough for readers to be able to understand the contents without referring to the text.
For LaTeX documents, it is possible to import diagrams in the form of Postscript files.
Refer to the manual in the style file for a description of the file format.
When submitting printouts or hand-drawn diagrams, endure the picture quality remains high by tracing outline in black ink or the equivalent. This is because the submitted diagrams are used directly for typesetting.
- (1) Draw clearly a diagram of twice the printed size. Clearly print the characters, symbols, etc.
 - (2) Indicate where the diagrams are to be inserted in the margin of the manuscript.
 - (3) Write tables as concisely as possible. For a long table, omit the middle part, or reduce the size to allow it to be typeset on one page.
 - (4) Write the figure numbers and authors' names in pencil on the backs of the original diagrams.
The conversion ratios for the printed diagrams and English words in figures and tables are as follows.

size (mm)	English words by word processor
A. 50×34	58 words
B. 67×50	125 words
C. 100×67	250 words
D. 134×100	375 words

- (5) Numbers, roman characters, Greek characters, symbols, etc. should be written clearly.
Uppercase and lowercase letters, superscripts and subscripts, × and X, etc. should be clearly distinguishable.
- (6) Numerical expressions should be convenient for typesetting.
When fractions are included in sentences, write them in the form "a/b" or "exp(t/r)".
An equation set off from the text should occupy at least 2 or 3 lines. An equation should be punctuated, because it is a kind of sentence or clause.
Programming languages are an exception.
- (7) Text not intended for printings, such as specifications and the notes to the typesetters should be written in red.
- (8) When sentences or characters are to be inserted into the manuscript, specify the sentences and characters for insertion in the margin, and mark the appropriate place in the manuscript with a "∨" or "^" in red.
- (9) Indicate the existence of footnotes by using symbols such as ☆, ☆☆, and ☆☆☆.
Footnotes should be placed under the text in the same page.
The text and footnotes should be separated by a horizontal line.
- (10) Bold-faced type is specified by a wavy line under the text in red.
Italic type is specified by a straight line under the text in red.
Refer to the style file manual for the fonts available with LaTeX.
The typesetting font may be different from that selected by the author(s).

Copyright of published paper

1. Copyright ownership

- (1) In principle, the copyright of the published paper belongs to the IPSJ.
- (2) In special circumstances such as those described below, the authors and the IPSJ may negotiate the copyright.
In the case of a requested paper, when the contents belong the author's affiliated organization, and the copyright of the paper may not admitted be transferred to the IPSJ from the organization.
In the case of a special lecture, when the lecturer does not agree to the transfer of copyright.

2. Benefits of transferring copyright to the IPSJ, and related regulations

- (1) The copyright of a published paper belongs to the IPSJ, while the authorship rights belong to the author(s). The IPSJ will not prevent or object to the reproduction or translation of articles by their respective authors. In this case, the author(s) should describe the source clearly in the reproduced article or book.

- (2) The IPSJ has the right to reproduce printed papers. In this case, the IPSJ will obtain the consent of the author(s) to the reproduction.
 - (3) When a third party requests a reproduction or translation of a printed paper, the IPSJ board of directors will assess the request and accepts it if it is reasonable.
In this case, the IPSJ will obtain the consent of the author(s) to the reproduction.
 - (4) If a payment is made to the IPSJ in the preceding case (3), the IPSJ will notify the author(s) of the payment, and it will be transferred to the IPSJ account.
- ### 3. Notes on copyright piracy, etc.
- (1) Be careful to avoid copyright piracy, slander, and other such problems.
 - (2) An author may quote a paper after it is published.
Specify the source when quoting.
 - (3) The author(s) is responsible for any copyright piracy and for any reparations demanded by a third party.

Keywords (Transactions of Information Processing Society of Japan)

Mark a single circle on keywords that relate to the contents of your paper, mark a double circle on a keyword that you think best describe the contents of your paper. Use others to fill in new keywords if it is difficult to make a reasonable choice from the table.

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
001 Fundamental Theory and Technology	01 Information Mathematics	01 Formal logic, 02 Automata, 03 Formal languages, 04 Theory of computation, 05 Complexity theory, 06 Graph theory, 07 Combinatorics, 08 Coding theory, 09 Information theory, 10 Petri net, 99 Others ()
	02 Nonlinear Dynamics	01 Chaos, 02 Fractal, 99 Others ()
	03 Algorithms	01 Discrete algorithms, 02 Data structures, 03 Parallel/distributed algorithms, 04 Probabilistic/randomized algorithms, 05 Approximation algorithms, 06 Computational geometry, 07 Search algorithms, 08 Computational algebra, 09 Learning theory, 10 Formula manipulation, 11 Floating-point operations, 99 Others ()
	04 Operations Research	01 Linear/nonlinear programming, 02 Dynamic programming, 03 Integer programming, 04 Game theory, 05 Queuing theory, 06 Network theory, 99 Others ()
	05 Probability/Statistics	01 Estimation and testing, 02 Probabilistic model, 03 Computation of statistics/probability, 04 Multivariate analysis, 05 Time series analysis, 99 Others ()
	06 Numerical Computation	01 Error analysis, 02 Function evaluation, 03 Interpolation, 04 Linear algebra, 05 Nonlinear equations, 06 Eigenvalue problem, 07 Numerical differentiation, 08 Numerical integration, 09 Differential equations, 10 Partial differential equations, 11 Integral equations, 12 Extremal problem, 13 Special function, 14 Random numbers, 99 Others ()
	07 Numerical Simulation	01 Finite element method, 02 Finite difference method, 03 Boundary element method, 04 Monte-carlo method, 05 Particle simulation, 06 Visualization, 99 Others ()
	08 High Performance Computing	01 Parallelization, 02 Vectorization, 03 Performance evaluation, 99 Others ()
002 Artificial Intelligence and Cognitive Science	01 Knowledge Processing	01 Search, 02 Automated theorem proving, 03 Inference methods, 04 Knowledge representation, 05 Knowledge acquisition, 06 Knowledge base, 07 Non-monotonic logic, 08 Fuzzy reasoning, 09 Computation with uncertainty, 10 Learning, 11 Understanding and cognitive theory, 12 Distributed and collaborative/cooperative artificial intelligence, 99 Others ()
	02 Artificial Intelligence System	01 Expert system, 02 Expert system development tools, 03 Game program, 04 Intelligent robot, 05 Intelligent interface, 99 Others ()
	03 Natural Language Processing	01 Machine translation, 02 Morphological analysis, 03 Syntactic analysis, 04 Semantic analysis, 05 Sentence generation, 06 Discourse understanding, 07 Grammar, 08 Dictionary, 09 Linguistic theory, 10 Speech act theory, 11 Linguistic data and statistics, 12 Language database, 13 Contextual analysis, 14 Knowledge representation, 99 Others ()
	04 Biological Information Processing	01 Vision, 02 Auditory sense, 03 Neural model, 04 Cybernetics, 05 Self organization, 06 Artificial neural network, 07 Genetic algorithm, 08 Artificial life, 99 Others ()
	05 Kansei Information Processing	01 Psychological model, 02 Behavior model, 03 Emotion model, 04 Human interface, 05 Video image, 06 Music, 99 Others ()
003 Media Information Processing	01 Spoken Language Processing	01 Speech analysis, 02 Interface with spoken language, 03 Speech recognition/understanding, 04 Speech synthesis, text-to-speech, 05 Spoken dialogue/translation, 06 Analysis and generation of spoken language, 07 Speaker/language recognition, 08 Language model, spoken language corpus, 09 Application of speech, 99 Others ()
	02 Image Signal Processing	01 Image quality control, 02 Bandwidth compression, 03 Encoding, 04 Remote sensing, 99 Others ()
	03 Image/Pattern Understanding	01 Scene analysis, 02 Object recognition, 03 Character recognition, 04 Pattern classification, 05 Drawing analysis, 06 Computer vision, 07 Robot vision, 08 Vision model, 09 Shape from X, 10 Range image processing, 11 Color image processing, 12 Image database, 13 Stereo vision, 14 Motion analysis, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
003 Media Information Processing	04 Computer Graphics	01 CG System, 02 CAD/CAM, 03 Modeling, 04 Rendering, 05 Visualization, 06 Animation, 07 Motion, 08 3D vision, 09 Virtual reality, 10 Designing, 11 Image database, 99 Others ()
	05 Document Processing	01 Word processing, 02 Japanese language input/output, 03 Document processing, 04 Desk top publishing, 05 Font design, 06 SGML, 07 Pattern matching algorithm, 99 Others ()
	06 Hardware System	01 Display device, 02 Hard copy device, 03 OCR, 04 Imaging system, 05 Image/video Processor, 06 Speech analyzer/synthesizer, 99 Others ()
	07 Multimedia Processing	01 Multimedia, 02 Hypermedia, 99 Others ()
004 Software	01 Foundation	01 Programming theory, 02 Operating system theory, 03 Formal semantics, 04 Algorithm logic, 05 Verification theory, 06 Category theory, 07 Attribute grammar, 08 Computation paradigm, 09 Program synthesis/transformation, 99 Others ()
	02 Programming Language and Specificatio Language	01 Procedural language, 02 Logic language, 03 Functional language, 04 Object oriented language, 05 Parallel processing language, 06 System description language, 07 Expression manipulation language, 08 Simulation language, 09 Specification language, 10 Fourth generation language (4GL) , 99 Others ()
	03 Language Processing System	01 Syntax analysis, 02 Code generation, 03 Optimization, 04 Compiler, 05 Interpreter, 99 Others ()
	04 Tool	01 Editor, 02 Debugger, 03 Verifier, 04 Compiler generator, 99 Others ()
	05 Window System	01 User interface management system, 99 Others ()
	06 Operating System	01 Memory management, 02 I/O management, 03 Fault/failure management, 04 Communication management, 05 File management, 06 Job/task management, 07 Automatic operation management, 08 Parallel/distributed processing, 09 System management, 10 Exception handling, 11 Performance evaluation, 12 Realtime OS, 13 Multimedia OS, 14 Distributed/parallel OS, 99 Others ()
	07 Programming Method	01 Data structure, 02 Garbage collection, 03 Hashing, 04 Sorting, 05 Searching, 06 Vectorization, 07 Parallelization, 08 Symbol processing, 09 Computational model, 10 Programming process, 11 Programming environment, 12 Programming paradigm, 13 Visual programming, 99 Others ()
005 Database	01 Database	01 Data model, 02 Database language, DBPL, 03 Database design, 04 Integrity constraint, 05 Database management system, 06 Query processing, 07 Transaction management, 08 Database structure (organization, access method) , 09 Reliability, fault management, 10 Parallel database, massively parallel database, 11 OLTP, 12 Distributed database, multi-database, 13 Database operating system, 14 Performance evaluation, 15 Multimedia database, 16 Deductive database, 17 Object-oriented database, 18 Office database, 19 Engineering database, 20 Document database, 21 Image database, 22 Audio database, 23 Spatial database, 24 Data dictionary, repository, 25 Database application (system, development environment) , 26 Database system technology (data analysis, design, construction, and running) , 27 Hypertext, 28 Hypermedia, 29 Database machine, 99 Others ()
	02 Fundamentals of Informatics	01 Representation, identification, classification, retrieval, distribution and management of information, 02 Ontology, 03 Terminology, 04 Dictionary, 05 Thesaurus, 06 Knowledge organization of large amount of information, 07 Knowledge discovery, 08 Self-organization, 09 Full text DB, 10 Document DB, 11 Information retrieval system, 12 Information resource management, 13 Genetic information processing, 14 Library and information science, 99 Others ()
006 Software Engineering	01 Development Methodology	01 Requirements elicitation/analysis, 02 Specification, 03 Design, 04 Programming method, 05 Prototyping, 06 Executable specification, 07 Reuse, 08 Domain analysis/modeling, 09 Program synthesis, 10 OOA/OOD, 11 Algebraic specification, 12 Reverse engineering, 13 Structured analysis/design, 14 Software architecture, 99 Others ()
	02 Test, Maintenance, Management	01 Test/debug, 02 Program verification, 03 Specification verification, 04 Review/inspection, 05 Performance evaluation, 06 Program analysis, 07 Maintenance management, 08 Metrics, 09 Version control, 10 Configuration management, 11 Project management, 12 Estimation, 13 Program complexity, 14 Risk management, 15 Cost management, 16 Software factory, 99 Others ()
	03 Software Process	01 Process model, 02 Process programming, 03 Process management, 04 Process maturity model, 05 Process standardization, 99 Others ()
	04 Development Environment	01 Architecture, 02 Distributed environment, 03 Documentation support, 04 Repository, 05 SEDB, 06 Groupware, 07 CASE, 08 Platform, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
006 Software Engineering	05 Human Factor	01 Human interface, 02 Education/training, 03 Project management, 99 Others ()
	06 Software Quality	01 Quality assurance, 02 Quality control, 03 Metrics, 04 Reliability estimation, 05 Quality parameter, 06 Reliability model, 99 Others ()
007 Hardware	01 Fundamental Theory	01 Combinatorial circuit theory, 02 Sequential circuit theory, 03 Logic design theory, 04 Layout algorithm, 05 Hardware algorithm, 99 Others ()
	02 Logic Circuits	01 Memory circuit, 02 Arithmetic circuit, 03 Controller, 04 Error detection/correction, 05 Testability circuit, 99 Others ()
	03 Devices	01 Logic device, 02 Memory device, 03 Input/output device, 04 ASIC, 05 PLD, 99 Others ()
	04 Computer Architecture	01 General purpose computer, 02 Special purpose computer, 03 High level language machine, 04 Supercomputer, 05 Workstation, 06 Microprocessor, 07 Associative processor, 08 Non von Neumann architecture, 09 Fault tolerance, 10 Real time system, 11 DSP, 12 Optical computer, 13 Symbol processing machine, 14 Superscalar, 15 Instruction set architecture, 99 Others ()
	05 Memory and Peripheral	01 Cache, 02 Memory hierarchy, 03 Virtual memory, 04 Functional memory, 05 Distributed/shared memory, 06 Vector register, 07 Disk, 08 CD-ROM, 09 Extensional storage, 99 Others ()
	06 Design Methodology/Automation	01 Architecture design support, 02 Hardware/software co-design, 03 Hardware description language, 04 High level synthesis, 05 Logic synthesis, 06 Layout, 07 Design and testability (test pattern generation, fault diagnosis, design for testability), 08 Formal verification, 09 Functional and logic simulation, 10 Modeling and circuit simulation, 11 Design environment (CAD framework, design data management), 12 Technology migration (logic transformation, resynthesis), 13 Hardware engine, 99 Others ()
008 Parallel Processing	01 Parallel Computers	01 Massively parallel computer, 02 Multiprocessor, 03 SIMD computer, 04 MIMD computer, 05 Dataflow computer, 06 Special purpose parallel computer, 07 Neuro-computer, 08 Workstation cluster, 99 Others ()
	02 Hardware Architecture	01 Processing element, 02 Distributed/shared memory, 03 Interprocessor communication and synchronization, 04 Network, 05 Superscalar, 06 VLIW, 07 Performance evaluation, 99 Others ()
	03 Software	01 Parallel operating system, 02 Parallel languages, 03 Parallelizing compiler, 04 Parallel debugger, 05 Parallel programming tools, 06 Scheduler, 07 Load balancing, 08 Mapping, 09 Performance evaluation, 99 Others ()
	04 Applications	99 Others ()
009 Network	01 Communication Technologies	01 Data switching, 02 Communication principles, 03 Visual communication, 04 Traffic theory, 05 Network architecture, 06 Protocol, 07 Protocol validation, 08 Integrated services digital network (ISDN), 09 Multimedia communication, 99 Others ()
	02 Network Management	01 Naming, 02 Routing, 03 Failure management, 99 Others ()
	03 Computer Network	01 Wide area network (WAN), 02 Local area network (LAN), 03 Teleconference, 04 Bulletin board system, 05 Electronic mail, 06 Distributed processing, 99 Others ()
010 System	01 System Methodology	01 System planning, analysis, design, implementation, operation, usage, 02 System needs elicitation, 03 Information/data management, 04 System interface, 99 Others ()
	02 Groupware	01 Concurrent engineering, 02 Group work application, 03 Group work infrastructure, 04 Distributed office, 05 Multi-user interface, 99 Others ()
	03 Interface	01 Interface model, 02 Human interface, 03 Machine interface, 04 Multi-media interface, 05 Concurrent engineering interface, 06 Documentation interface, 99 Others ()
	04 Interactive System	01 Architecture, 02 Principle, 03 CAE, 04 CAD, 05 CAM, 06 CIM, 07 CAI, 08 Monitoring system, 09 Training system, 10 Decision support system, 11 Office system, 99 Others ()
	05 Online Realtime System	01 Reservation system, 02 Banking system, 99 Others ()
	06 Control System	01 Process control, 02 Numerical control, 03 Communication control, 04 Industrial robot, 05 FA, 06 Intelligent robot, 07 Reactive system, 99 Others ()
	07 System Evaluation	01 Evaluation method, 02 Metrics, 03 Evaluation model, 99 Others ()

Category	Subcategory	Items (Enter Keywords in () when necessary.)
011 Reliability and Security	01 Reliability	01 Reliability theory, 02 Maintainability, 03 Reliability evaluation, 04 Fault analysis, 05 Dual system, 06 Duplex/stand-by system, 99 Others ()
	01 Information Security	01 Cryptography, 02 Authentication, 03 Key management, 04 Key distribution, 05 Security, 99 Others ()
012 Education	01 Education	01 Training of professional engineers and researchers, 02 Education of computer science and engineering, 03 Computer literacy, 04 Curriculum, 05 CAI, 06 ICAI, 07 Educational technology, 99 Others ()
013 Applications	01 Applications to Enterprises	01 Office, 02 Public administration, 03 Business administration, 04 Finance, 05 Information services, 06 Production control, 07 Administration of computing facilities, 99 Others ()
	02 Applications to Engineering and Science	01 Aviation and aerospace, 02 Mechanical engineering, 03 Civil engineering, 04 Architecture, 05 Urban engineering, 06 Electrical engineering and electronics, 07 Measurement, 08 Biology, 09 Physics, 10 Chemistry, 11 Atomic energy, 12 Transportation, 13 Medicine and dentistry, 99 Others ()
	03 Applications to Music	01 Composition, arrangement, performance and accompaniment, 02 Electronic instruments, 03 Music signal processing, 04 Music and artificial intelligence, 05 Cognitive, perceptive and sensitive information of music, 06 Music information processing system, 99 Others ()
	04 Applications to Humanities	01 Information processing of humanities, museum and art gallery, 02 User interface of humanity applications, 03 Cooperation between humanities and informatics, 99 Others ()
	05 Application to the Disabled	
	06 Other Applications	
014 Others	01 Society	01 Standards and standardization, 02 Intellectual properties, 03 Social problems, 04 Ethics, 99 Others ()
	02 Others	

When appropriate keywords that describe the contents of your paper are not found, or if there are any keywords more suitable, write them below.

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・行事No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・欠席の場合も参加費は徴収させていただきます。
- ・会員の方は必ず会員No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (Aは該当番号に○)			
A: 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生
			(4) 非会員
B: 会員No.		C: ご氏名	
D: 勤務先		E: ご所属	
F: 郵便番号	G: ご住所		
H: Tel		I: Fax	
J: E-mail			

送本先, 照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
K:

申進行事	
L: 行事No.	
M: 参加費	円
N: 懇親会費	円
O-1: 論文集のみ	円
O-2: 論文集のみ	冊

アンケート*宿泊付行事のみ記入 (部屋制参考)	
P: 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q: たばこ	(1) すう (2) すわない
R: 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
S: 通信欄	

T: 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 現金持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合, 記入のこと	
U: 送金名義人		
V-1: 請求書 通	V-2: 見積書 通	V-3: 納品書 通
W: 請求書記載名義		
X: 送金に関する照会先		

<p>申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係</p> <p>〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p>Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 E-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)</p> <p>E-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)</p> <p>*E-mailでの申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと.</p> <p>[例] A: (1), B: 999999, C: 情報太郎, ... T: (1) (1月30日送金予定), U: 情報太郎, V-1: 1, V-2: 1, V-3: 1, W: (株) ××電気, ...</p>
--

平成10年度 研究会・研究グループ研究発表会開催予定

(社) 情報処理学会 URL-<http://www.ipsj.or.jp>

研究会活動の充実、活性化の目的から研究発表会の開催回数を絞り、シンポジウムや国際会議等の活動を計画する研究会もありますので、本欄シンポジウム等の行事予定も併せてご覧ください。

<コンピュータサイエンス領域>

(平成10年7月16日現在)

◆研究会・◇研究グループ名(略称)	開催日	会場 他
◆データベースシステム (DBS)	1月	東京
◆ソフトウェア工学 (SE)	11月5日(木)・6日(金) 3月18日(木)・19日(金)	学会会議室(芝浦) 学会会議室(芝浦)
◆計算機アーキテクチャ (ARC)	3月3日(水)・4日(木)	札幌エレクトロニクスセンターHokke'99- (*HPC, OSと連続)
◆システムソフトウェアと オペレーティング・システム (OS)	3月3日(水)・4日(木)	札幌エレクトロニクスセンターHokke'99- (*ARC, HPCと連続)
◆設計自動化 (DA)	◎12月10日(木)・11日(金) ◎2月4日(木)・5日(金)	広島大 機械振興会館
◆ハイパフォーマンス コンピューティング (HPC)	10月9日(金) 12月11日(金) 3月3日(水)・4日(木)	東北大 NEC(三田) 札幌エレクトロニクスセンターHokke'99- (*ARC, OSと共催)
◆プログラミング (PRO) **	10月30日(金)・31日(土) ◎1月 3月	静岡大(浜松) ※理論 東京 ※並列・分散 東京 ※プログラミング言語一般
◆アルゴリズム (AL)	10月28日(水) 1月27日(水) 3月17日(水)	徳島大 豊橋技科大 日立(基礎研)
◆数理モデル化と問題解決 (MPS)	10月7日(水) 11月27日(金) 2月12日(金)	椙山女学園大学(名古屋) 和歌山 福岡

<情報環境領域>

◆研究会・◇研究グループ名(略称)	開催日	会場 他
◆マルチメディア通信と 分散処理 (DPS)	1月21日(木)・22日(金) 2月25日(木)・26日(金)	山口大 NTTデータ(東京)
◆ヒューマンインタフェース (HI)	10月16日(金)・17日(土) 12月11日(金) 1月29日(金)	静雲荘(箱根) (*SLPと合同) ※小特集: マルチモーダルと音声HI および一般 学会会議室(芝浦) 玉川大
◆グラフィクスとCAD (CG)	10月 12月10日(木) 2月26日(金)	北海道 ※CGアプリケーションおよび一般 学会会議室(芝浦) ※CGアニメーションおよび一般 学会会議室(芝浦) ※CGのためのモデリングおよび一般
◆情報システムと社会環境 (IS) +名称変更(旧:情報システム)	10月8日(木) 3月16日(火)	中部大技術文化専門学校 東京
◆情報学基礎 (FI)	11月	関東
◆情報メディア (IM)	11月19日(木)・20日(金)	京大
◆オーディオビジュアル 複合情報処理 (AVM)	12月4日(金) 3月5日(金)	早大 KDD(沖縄)

◆研究会・◇研究グループ名(略称)	開催日	会場他
◆グループウェア (GW)	11月12日(木) 1月28日(木)・29日(金)	学会会議室(芝浦) 東北大
◆分散システム運用技術 (DSM)	11月20日(金)	大分大
◆デジタル・ドキュメント (DD)	11月27日(金) ◎1月29日(金) 3月12日(金)	関西情報センター 学会会議室(芝浦) 学会会議室(芝浦)
◆モバイル コンピューティング (MBL)	12月4日(金) 2月5日(金)	学会会議室(芝浦) 学会会議室(芝浦)
◆コンピュータセキュリティ (CSEC) *新設	11月27日(金) 3月5日(金)	学会会議室(芝浦) 日立製作所(神奈川)
◇システム評価(研究グループ)	(詳細未定)	

<フロンティア領域>

◆研究会・◇研究グループ名(略称)	開催日	会場他
◆自然言語処理 (NL)	11月5日(木)・6日(金) 1月21日(水)・22日(木) 3月4日(木)・5日(金)	九大 図書館情報大 ATR音声邦訳通信研究所
◆知能と複雑系 (ICS)	10月2日(金) ◎1月	北大 ※知識に関わること一般 九州
◆コンピュータビジョンと イメージメディア (CVIM)	11月19日(木) 1月21日(木) 3月18日(木)	広島市立大 阪大 機械振興会館
◆コンピュータと教育 (CE)	11月13日(金) 2月23日(火)	関西学院大 学会会議室(芝浦)
◆人文科学とコンピュータ (CH)	10月23日(金) 1月22日(金)	函館市 鳥取大
◆音楽情報科学 (MUS)	10月17日(土) 12月11日(金)～13日(火) ◎2月18日(木)・19日(金)	岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー ジーベック・ホール(神戸) NTT厚木研究センター
◆音声言語情報処理 (SLP)	10月16日(金)・17日(土) ◎12月10日(木)・11日(金) 2月5日(金)・6日(土)	箱根静雲荘(*HIと一部合同) ※小特集：マルチモーダルと音声HIおよび一般 東工大 未定 ※音声インタフェース、音声応用
◆電子化知的財産・社会基盤 (EIP) *新設	1月30日(土)頃	工学院大(予定)

※：特集 ※(小)：小特集 ◎：他学会との共催

**：プログラミング研究会は、従来の研究報告の代わりに研究会論文誌を研究会成果物として発行します。

注) 上記開催予定は平成10年7月16日現在のものです、日程、会場等は変更される場合があります。
学会誌最新号会告欄にてご確認ください。

—Hokke '99—：ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価に関する「北海道」ワークショップ

平成10年度 シンポジウム等行事予定一覧

(社) 情報処理学会 URL-<http://www.ipsj.or.jp>

平成10年度の主なシンポジウム等行事予定は以下のとおりです。詳細は順次学会誌会告欄にてお知らせいたします。なお、期日・会場等が変更されることもありますので、ご注意ください。

(平成10年7月16日現在)

名 称	開催日	場所
◇第57回全国大会	H10.10.5(月)～7(水)	名古屋大学
◆コンピュータセキュリティシンポジウム'98 (CSEC)	H10.10.29(木)～30(金)	ホテル・センチュリー21 広島
◆コンピュータ音楽チュートリアル (MUS)	H10.11	東京近郊
◆モバイルコンピューティングシンポジウム (MBL)	H10.11.6(金)	NEC (東京)
◆マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPS)	H10.11.18(水)～20(金)	東山温泉 (会津若松)
◆コンピュータシステムシンポジウム (ARC, OS)	H10.11.19(木)～20(金)	リステル浜名湖
◆グループウェア'98 シンポジウム (GW)	H10.11.27(金)	機械振興会館
◆アドバンスト・データベース・シンポジウム'98 (DBS)	H10.12.2(水)～4(金)	工学院大学 (予定)
◆ゲームとモデル化シンポジウム (MPS)	H10.12.10(木)～11(金)	東京農工大学
◆AVMシンポジウム (AVM)	H10.12.28(火)	東京
◇プログラミング・シンポジウム	H11.1.12(火)～14(木)	箱根ホテル小湧園
◆1999年情報学シンポジウム (FI)	H11.1.13(水)～14(木)	日本学会会議講堂
◆ウインターワークショップ (SE)	H11.1.21(木)～22(金)	和歌山
◆利用者指向の情報システムシンポジウム (IS)	H11.1.28(木)～29(金)	東洋大学
◆分散システム運用技術'99 (DSM)	H11.2.4(木)～5(金)	東京大学
◆インタラクション'99 (HI, IM, GW)	H11.3.5(金)～6(土)	東京工業大学
◇第58回全国大会	H11.3.9(火)～11(木)	早稲田大学

◆：研究会主催 (英略称) ◇：事業主催/プログラミング・シンポジウム ●：総会 ○：国際会議

変 更 連 絡 届

申込日: 年 月 日

● 会員番号		
● 会員種別	<input type="checkbox"/> 正会員	卒業予定年月: 年 月
	<input type="checkbox"/> 学生会員	
● 氏名(漢字)		
● 氏名(カナ)		
● 氏名(ローマ字)		
性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
生年月日	年 月 日	
機関誌発送先	<input type="checkbox"/> 自宅	
	<input type="checkbox"/> 勤務先(個人)	
	<input type="checkbox"/> 勤務先(一括) グループコード:	
○ 連絡先E-mail		
○ 自宅	住所 〒	
	Tel	
	Fax	
○ 勤務先	住所 〒	
○ 在学	Tel (内線)	
	Fax	
	名称	
	所属	
	職種	
関連学協会の案内	<input type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否
○ 卒業学校名		卒業年月 年 月
論文誌(有料) (6,930円)	A. 購読希望 年 月号より 送金方法 年 月 日 <input type="checkbox"/> 現金持参・現金書留 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行 銀行振込 B. 購読中止 年 月号より *過分購読費は会費に振替させていただきます。	
退会希望	年 月号より	
退会理由	*会費および購読費未納の方には、後日退会精算請求をいたします。	

○ 専門分野コード表	
チェックは5つまで、名簿掲載可能(1つ)を○で囲んでください。	
大項目	中項目
<input type="checkbox"/> 01 基礎理論と基礎技術	<input type="checkbox"/> 01 情報数学 <input type="checkbox"/> 02 非線形力学 <input type="checkbox"/> 03 アルゴリズム理論 <input type="checkbox"/> 04 オペレーションズリサーチ <input type="checkbox"/> 05 確率・統計 <input type="checkbox"/> 06 数値計算 <input type="checkbox"/> 07 数値シミュレーション <input type="checkbox"/> 08 高性能計算
<input type="checkbox"/> 02 人工知能と認知科学	<input type="checkbox"/> 01 知識処理 <input type="checkbox"/> 02 人工知能システム <input type="checkbox"/> 03 自然言語処理 <input type="checkbox"/> 04 生体情報処理 <input type="checkbox"/> 05 感性情報処理
<input type="checkbox"/> 03 メディア情報処理	<input type="checkbox"/> 01 音声言語情報処理 <input type="checkbox"/> 02 画像信号処理 <input type="checkbox"/> 03 画像・図形認識 <input type="checkbox"/> 04 コンピュータグラフィクス <input type="checkbox"/> 05 テキスト処理 <input type="checkbox"/> 06 メディア処理装置 <input type="checkbox"/> 07 マルチメディア処理
<input type="checkbox"/> 04 ソフトウェア	<input type="checkbox"/> 01 基礎理論 <input type="checkbox"/> 02 プログラミング言語と仕様記述 <input type="checkbox"/> 03 言語処理系 <input type="checkbox"/> 04 ツール <input type="checkbox"/> 05 ウィンドウシステム <input type="checkbox"/> 06 オペレーティングシステム <input type="checkbox"/> 07 プログラミング技術
<input type="checkbox"/> 05 データベース	<input type="checkbox"/> 01 データベース <input type="checkbox"/> 02 情報学基礎
<input type="checkbox"/> 06 ソフトウェア工学	<input type="checkbox"/> 01 開発技術 <input type="checkbox"/> 02 テスト・保守・管理 <input type="checkbox"/> 03 ソフトウェアプロセス <input type="checkbox"/> 04 開発環境 <input type="checkbox"/> 05 ヒューマンファクタ <input type="checkbox"/> 06 ソフトウェア品質
<input type="checkbox"/> 07 ハードウェア	<input type="checkbox"/> 01 基礎理論 <input type="checkbox"/> 02 論理回路 <input type="checkbox"/> 03 デバイス <input type="checkbox"/> 04 計算機アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 05 メモリ・I/Oアーキテクチャ <input type="checkbox"/> 06 設計技術と設計自動化
<input type="checkbox"/> 08 並列処理	<input type="checkbox"/> 01 並列処理アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 02 並列処理ハードウェア <input type="checkbox"/> 03 並列処理ソフトウェア <input type="checkbox"/> 04 並列処理応用
<input type="checkbox"/> 09 ネットワーク	<input type="checkbox"/> 01 通信技術 <input type="checkbox"/> 02 ネットワーク管理 <input type="checkbox"/> 03 コンピュータネットワーク
<input type="checkbox"/> 10 システム	<input type="checkbox"/> 01 システム技術 <input type="checkbox"/> 02 グループウェア <input type="checkbox"/> 03 インタフェース <input type="checkbox"/> 04 対話型システム <input type="checkbox"/> 05 オンラインリアルタイムシステム <input type="checkbox"/> 06 制御システム <input type="checkbox"/> 07 システム評価
<input type="checkbox"/> 11 信頼性と安全性	<input type="checkbox"/> 01 信頼性 <input type="checkbox"/> 02 機密保護
<input type="checkbox"/> 12 教育	<input type="checkbox"/> 01 教育
<input type="checkbox"/> 13 応用	<input type="checkbox"/> 01 企業等への応用 <input type="checkbox"/> 02 工学等への応用 <input type="checkbox"/> 03 音楽への応用 <input type="checkbox"/> 04 人文科学への応用 <input type="checkbox"/> 05 障害者補助
<input type="checkbox"/> 14 その他	<input type="checkbox"/> 01 社会 <input type="checkbox"/> 02 その他

【記入要領】

1. □欄は該当するものにチェックしてください。
2. 英数字ははっきりわかりやすく記入してください。
難解なものには(フリガナ)等を付けてください。
例. 英文字のO(オー)と数字の0(ぜろ), 英文字のI(アイ)と数字の1(イチ)
3. ○は名簿掲載選択項目ですので、掲載不可の場合は、○の上に×を記入してください。
●は名簿掲載必須項目です。
4. 性別, 生年月日, 卒業学校名・卒業年月については、必須データではありませんが、なるべくご記入ください。

【注意事項】

1. 自宅住所でマンション・アパート名等を省略できる場合には、省略形でご記入ください。
2. 勤務先, 在学学校名は正式名称でご記入いただき, 所属の略称等がございましたら併記願います。
3. 学生会員の方で, 在学期間等を延長された方々は, 卒業(予定)年月を必ずご記入願います。
4. 一括扱い会員の方は, 必ずグループコードをご記入ください。また, 通信区分を自宅または勤務先(個人)へ変更の場合には個人扱いに切り替わりますのでご留意ください。
5. 機関誌発送先を海外へ変更する場合には, 発送は船便となります。航空便をご希望の場合には実費負担となります。



[変更連絡/退会/各種問合せ方法]

各種連絡/問合せには、なるべくE-mail, Fax, 郵便をご利用ください。

- (1) 住所等会員データに変更が生じた場合には、速やかに「変更連絡届」(会誌付録会告, ホームページ各種申込書)にて変更内容を会員係に毎月20日頃までにご連絡ください。
- (2) 退会を希望する場合は、「退会届」(会員番号・氏名・退会年月・退会理由)を必ず会員係に提出してください。
- (3) その他の各種問合せについては、該当する係にご連絡ください。

[論文誌のご購読について]

「情報処理学会論文誌」(月刊)は有料頒布です。まだ購読されていない方はぜひ裏面に購読希望月をご記入いただき、別途購読費6,930円(購読費6,600円+消費税330円)をご送金ください。購読費入金確認後発送となります。

[連絡先電子メールの登録について]

事務局では、会員の皆様へのお問い合わせにE-mailを使用しており、大変好評をいただいております。会員登録データへの連絡先電子メールの登録にご協力をお願いいたします。

[会費等の支払方法]

会費の納入には手続きが簡単便利な「口座自動振替制度」をぜひご利用ください。個人会員(一括扱いを除く)の方で銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、会費および論文誌購読費を毎年3月にご指定の口座から自動振替により納入できます。

[会員資格]

会員資格は、毎年度(4月~翌年3月)自動継続となります。

退会, 死亡, 除名*1等によりその資格を喪失します。

*1.会費の滞納が1ヶ年以上におよぶ時は、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。

[各種掲載月]

本誌掲載: 賛助会員名簿: 4月, 10月

入会申込用紙: 4月, 10月

別冊掲載: 入会申込用紙: 奇数月

変更連絡用紙: 偶数月

「入会のおすすめ」: 3月, 9月

預金口座振替依頼書(銀行・金庫): 3月, 9月

海外からの送金方法(用紙): 6月

[事務局への送金]

郵便振替 00150-4-83484

第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普) 1013945

東京三菱銀行 虎ノ門公務部 (普) 0000608

名義人 社団法人 情報処理学会

*銀行送金の際には別途送金詳細(金融機関名, 送金日, 送金内訳等)を各担当係宛にご連絡ください。

◇各種問合せ先

住所: 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当係	E-mail	項目
会 員	mem@ipsj.or.jp	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明
研究会	sig@ipsj.or.jp	研究会登録, 研究発表会, シンポジウム
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	全国大会, 連続セミナー
図 書	tosho@ipsj.or.jp	出版物購入
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	会誌「情報処理」の掲載内容
論文誌編集	edit@ipsj.or.jp	「情報処理学会論文誌」への投稿
規 格	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp